

世界中で愛されるブランド

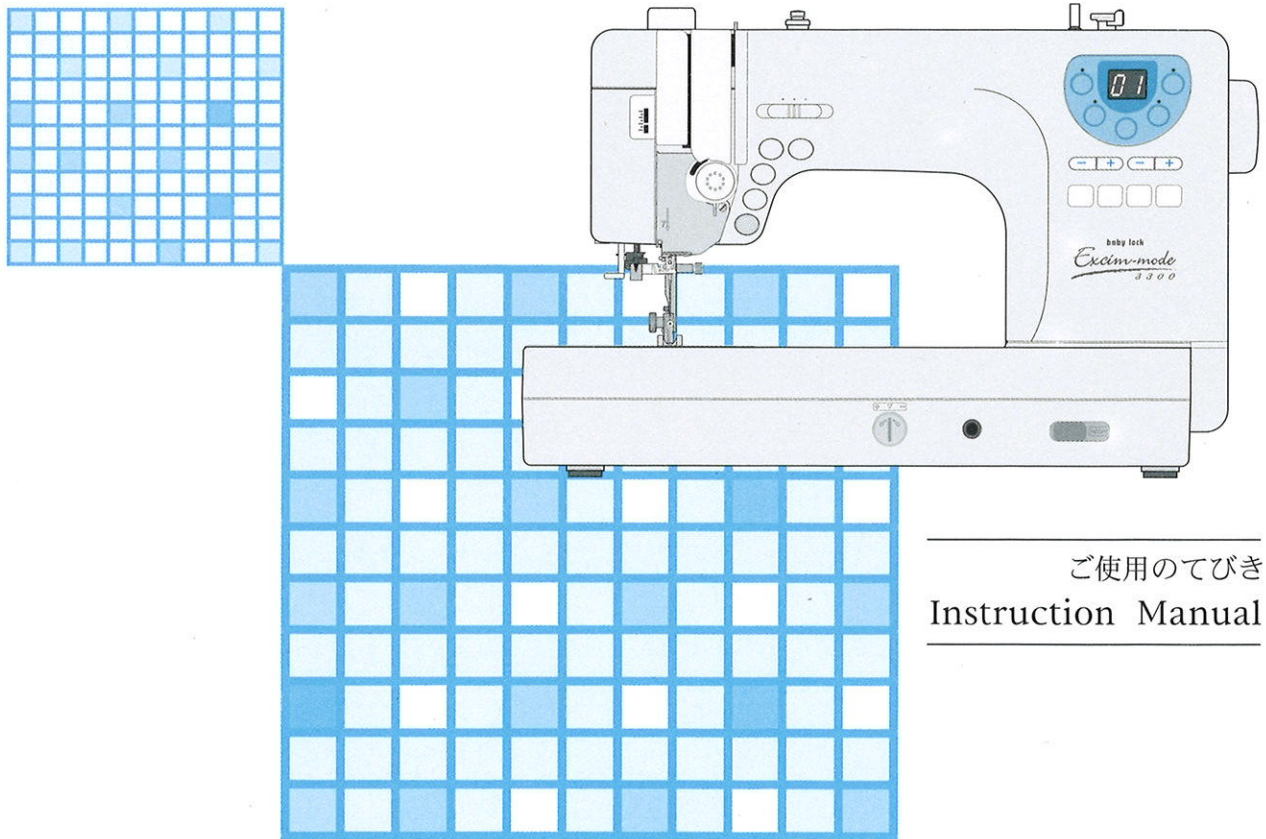
ベビーロック

baby lock

エクシムモード

Excim-mode

3300



ご使用のてびき
Instruction Manual

お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

- ご使用前に、この「ご使用のてびき」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- 保証書はお買い求めの販売店から必ずお受け取りのうえ、この「ご使用のてびき」とともに大切に保管ください。

株式会社 ジューキ




安全上のご注意

- ◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- ◆お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- ◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。 For use in Japan only.



危害・損害の程度を表わす表示

 警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	 注意 この表示の欄は「傷害を負う可能性および物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------














本文中の図記号の意味

	△ 記号は、気を付けていただきたい「注意」の内容です。 図の中には具体的な注意内容を表示しています。(左図の場合は一般的な注意)
	⊘ 記号は、行ってはいけない「禁止」の内容です。 図の中には具体的な禁止内容を表示しています。(左図の場合は分解禁止)
	● 記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。 図の中には具体的な指示内容を表示しています。(左図の場合は一般的な強制)

警告 感電・火災の恐れがあります。

 必ず実行 一般家庭用、交流電源 100 V でご使用ください。	 必ずプラグを抜く 以下のようなときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ミシンのそばを離れるとき ・ミシンを使用したあと ・ミシン使用中に停電したとき
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

注意 感電・火災・けがの原因となります。

 分解禁止 お客様自身での分解はしないでください。 	 必ず実行 針および押さえは、確実に固定してください。 また、押さえは、ぬいに合ったものをご使用ください。 針が押さえにあたり、けがの原因になります。
 接触禁止 ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針・はずみ車・天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。	 必ず実行 以下のことをするときは、電源スイッチを切ってください。 <ul style="list-style-type: none"> ・押さえ、アタッチメントを交換するとき ・上糸、下糸をセットするとき
 禁止 ぬい中に布を無理に引っ張ったり、押ししたりしないでください。針が曲がり、針折れの原因になります。	 必ず実行 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず電源プラグを持って抜いてください。
 禁止 曲がったり、先つぶれた針は、ご使用にならないでください。 	 必ずプラグを抜く 以下のことをするときは、電源スイッチを切って電源プラグを抜いてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・針、針板を交換するとき ・ミシンのお手入れを行うとき ・ランプを交換するとき
 禁止 フットコントローラーの上に物をのせないでください。	 必ずプラグを抜く ミシンに以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店にて点検・修理・調整をお受けください。 <ul style="list-style-type: none"> ・正常に作動しないとき ・水に濡れたとき ・落下などにより破損したとき ・異常な臭い・音がするとき ・電源コード・プラグ類が破損、劣化したとき
 注意 お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全に注意してください。	

目 次

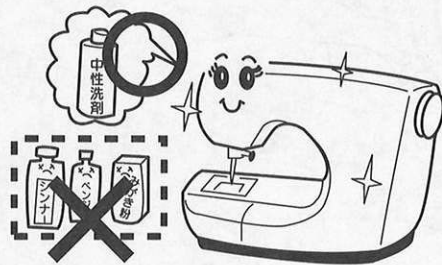
◎お取り扱いについてのお願い	3
◎各部の名まえ	4
◎標準付属品	5
◎操作方法	6～22
●電源のつなぎ方	6
★「スタート/ストップボタン」を使用する場合	6
★フットコントローラーを使用する場合	6
●速さの調節	6
★スピードコントロールつまみ	6
★フットコントローラー	6
●操作ボタンのはたらき1	7
★スタート/ストップボタン	7
★返しぬいボタン	7
★止めぬいボタン	7
★上下停針ボタン	7
★糸切りボタン	7
●操作ボタンのはたらき2	8
●模様の選び方	9
●押さえ上げ	10
●ニーリフトの取り付け	10
●押さえの取りかえ	11
●押さえホルダーの外し方、付け方	11
●各種押さえと用途	12
●下糸の準備をしましょう	13～15
★ボビンを取り出します	13
★糸こまをセットします	13
★ボビンに糸を巻きます	14
★ボビンをセットします	15
●上糸の準備をしましょう	16～19
★上糸をかけます	16～17
★糸通しの使い方	18
★下糸の引きあげ方	19
●針の取りかえ方	20
●布に適した糸や針を選ぶ目安	20
●糸調子の合わせ方	21
●押さえ圧調節ダイヤルの使い方	22
●送り歯のさげ方	22
◎実用ぬい1	23～36
●直線ぬい	23～27
★針板ガイドラインの利用	24
★ウルトラグライド押さえの利用	24
★直線針板の利用	25
★直線模様の針落ち位置とぬい目のあらさをかえるとき	26
★その他の直線状模様	27
●しつけぬい	28
●ジグザグぬい	29
●たち目かがり	30
●トリコットぬい	31
●ニットステッチ	31
●ファスナー付け	32～34
●三つ巻きぬい	35
●シェルタック	35
●くけぬい(まつりぬい)	36

◎実用ぬい 2	37 ~ 50
●ボタンホールの種類と用途	37
●スクエアボタンホール	37 ~ 41
★重ねぬい	39
★芯入りセンサーボタンホール	40
★ボタンホールの幅をかえるとき	41
★ぬい目のあらさをかえるとき	41
●メモリーボタンホール	42 ~ 43
●キーホールボタンホール	44
●ニットボタンホール	44
●セツパぬい	45
●ボタン付け	46
●ダーニング	47 ~ 48
●かんぬき止め	49
●アイレット	50
◎パッチワークキルト	51 ~ 53
●針板角度目盛りの利用	51
●地ぬい	51
●パッチワーク	51
●キルティング	52
●フリーキルティング	52
●とじぬい（ワンサイクルぬいの例）	53
◎飾りぬい	54 ~ 58
●組み合わせ（記憶）連続模様ぬいの例	54
●自動糸切り記憶例	55 ~ 56
●エロンゲータぬい	57
●ファゴティング	58
●スモッキング	58
●アップリケ	59
◎2本針ぬい	60 ~ 61
◎パイピング	62
◎模様の形の整え方	63
◎編集機能 1	64 ~ 65
●組み合わせ（記憶）模様の確認	64
●組み合わせ（記憶）模様の削除	64
●組み合わせ（記憶）模様の挿入	65
●模様のコピー（記憶）	65
◎編集機能 2	66 ~ 67
●統一マニュアル	66
●個別マニュアル	67
◎編集機能 3	68
●ぬい目の幅、ぬい目のあらさオート値変更	68
◎ミシンの手入れ	69 ~ 70
●かまと送り歯、糸切り部の掃除	69
●内がまと針板の組み付け	69
●ランプの取りかえ方	70
◎こんな表示が出た場合	71
◎LED点滅とブザー音の種類	72
◎ミシンの調子が悪いときの直し方	73

◎お取り扱いについてのお願い

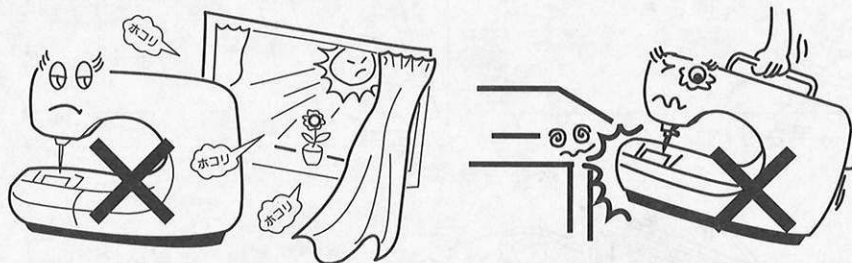
◇ご使用の前に

- ① ほこりや油などで、ぬう布を汚さないように、使う前に乾いたやわらかい布でよく拭いてください。
- ② シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。



◇いつまでもご愛用いただくために

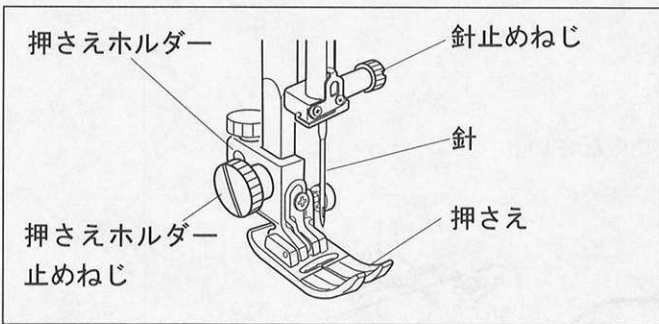
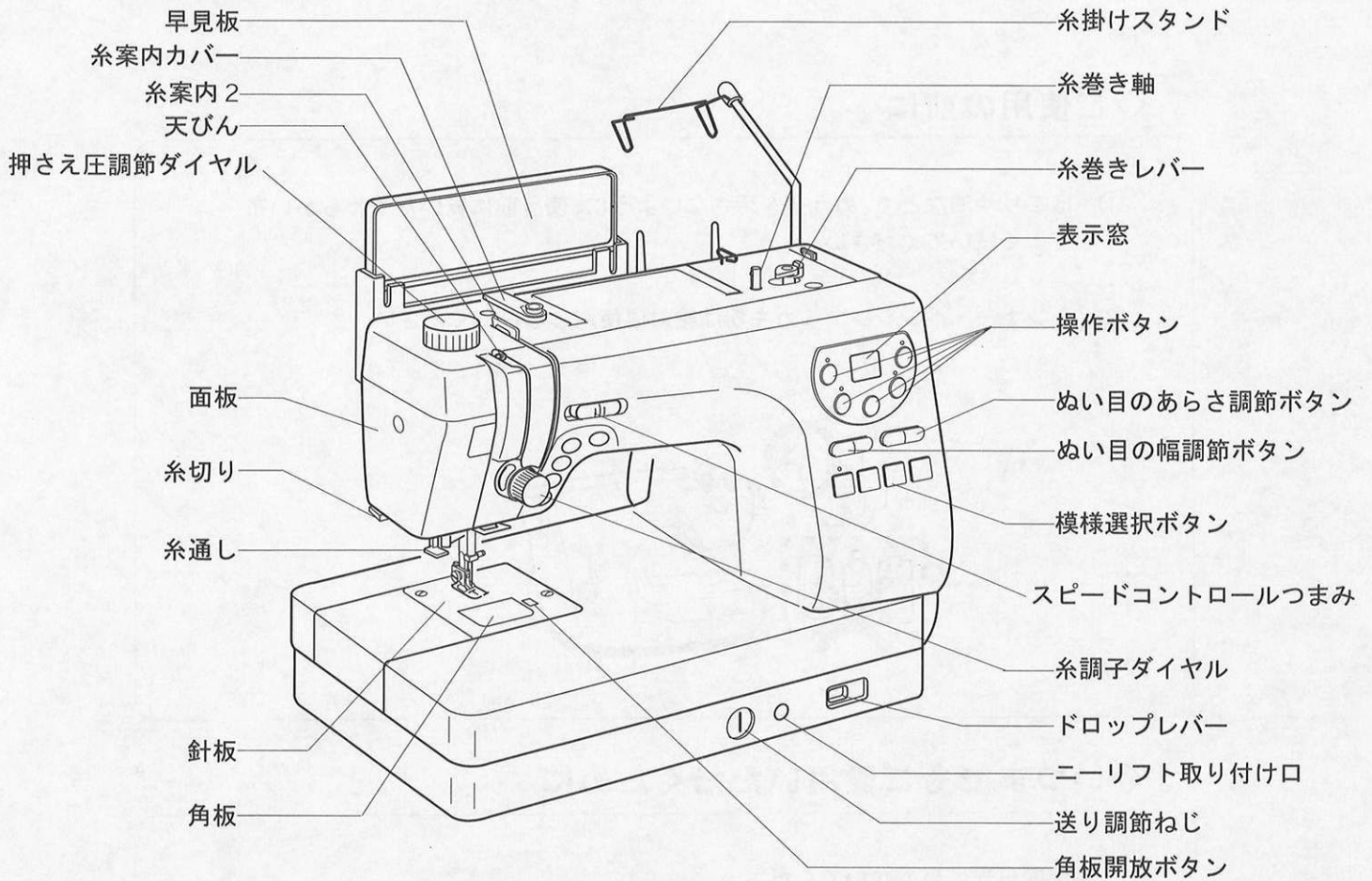
- ① 長時間日光に当てないでください。
- ② 湿気やほこりの多いところは避けてください。
- ③ 落としたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。



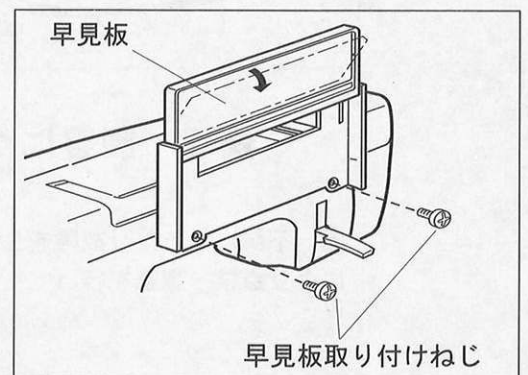
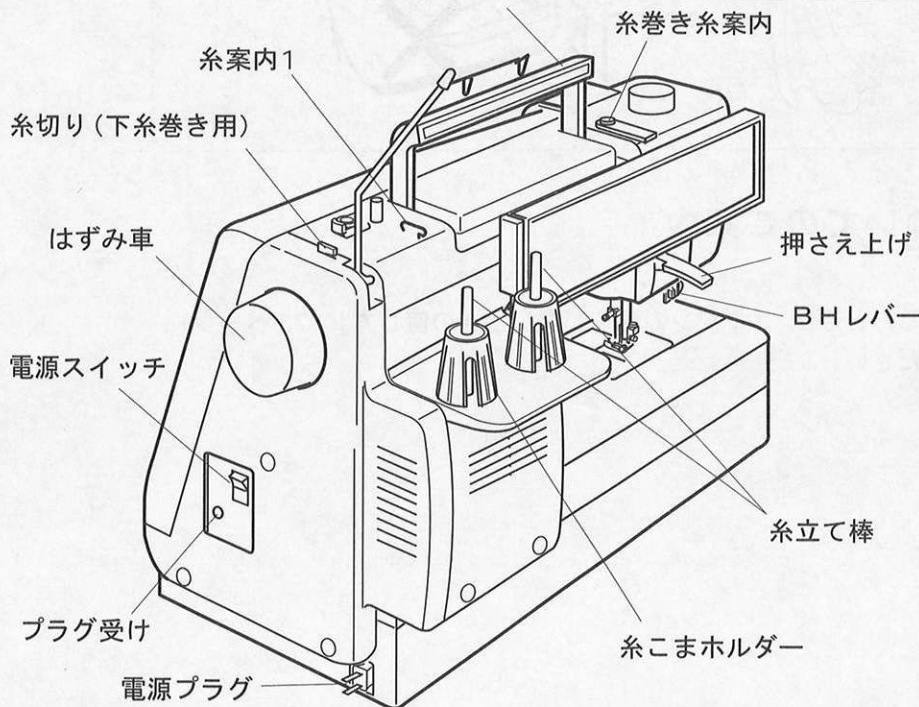
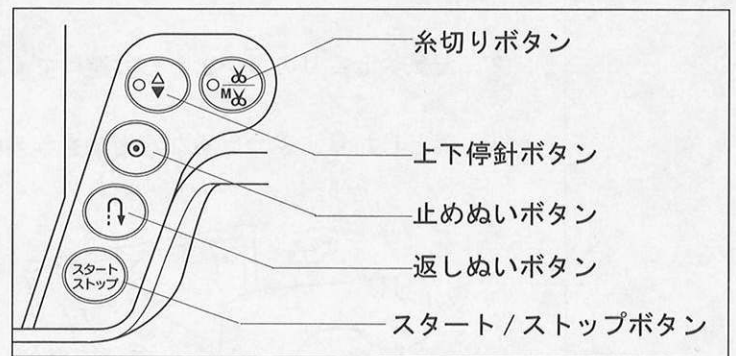
◇修理・調整についてのご案内

万一不調になったり故障を生じたときは、「ミシンの調子が悪いときの直し方」(73 ページ)により点検・調整を行ってください。

◎各部の名まえ



手さげハンドル

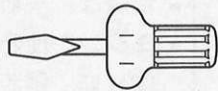


早見板の取り付けは、早見板取り付けねじ(2個)をドライバーでしっかり取り付けてください。
 早見板は回転させてごらんください。

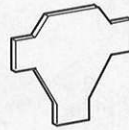
◎標準付属品



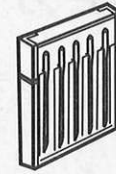
A: 基本押さえ
(ミシン本体に取り付けてあります。)



ねじまわし



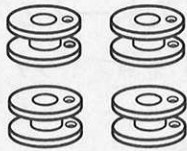
ねじまわし
(針板取り外し用)



針と針ケース組
HAX1 #14 x 2本
(HAX1 #11 x 2本)
ニット針 x 1本



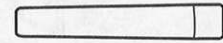
C: たち目かがり押さえ



ボビン



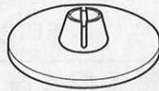
ブラシ



目ほどき



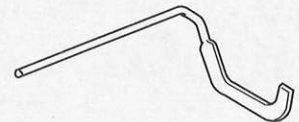
D: 三つ巻き押さえ



糸こま押さえ (大)



糸こま押さえ (小)



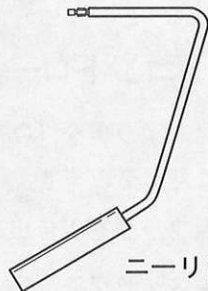
L: キルター (小)



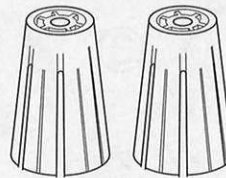
E: ファスナー押さえ



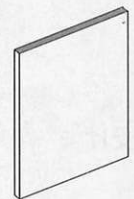
F: サテン押さえ



ニーリフト



糸こまホルダー
(ミシン本体に取り付けて
あります。)



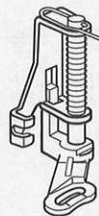
取扱説明書



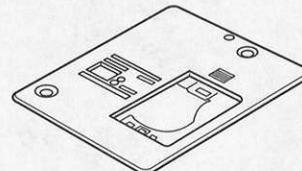
G: くけぬい (まつりぬい)
押さえ



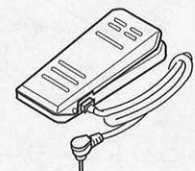
H: 直線押さえ



Q: フリーキルト押さえ



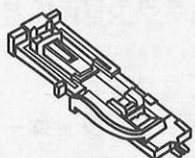
直線針板



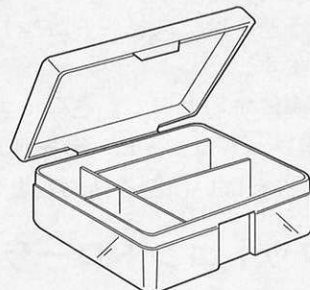
フットコントローラー



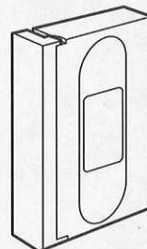
M: 縁かがり押さえ



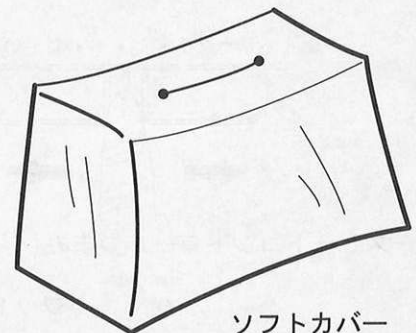
R: オートマチック
ボタンホール押さえ



付属ケース



操作説明ビデオ

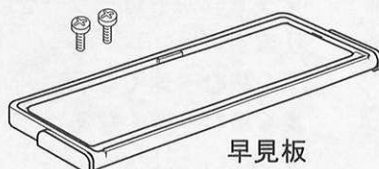


ソフトカバー

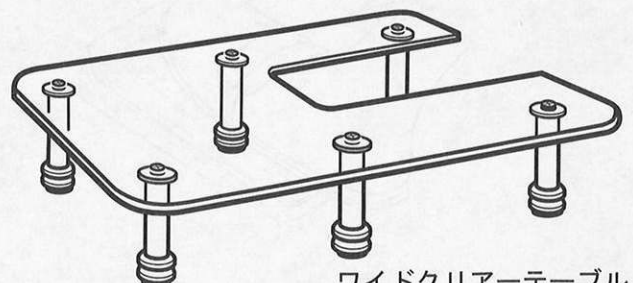


ウルトラグライド押さえ

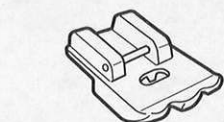
早見板取り付けねじ



早見板



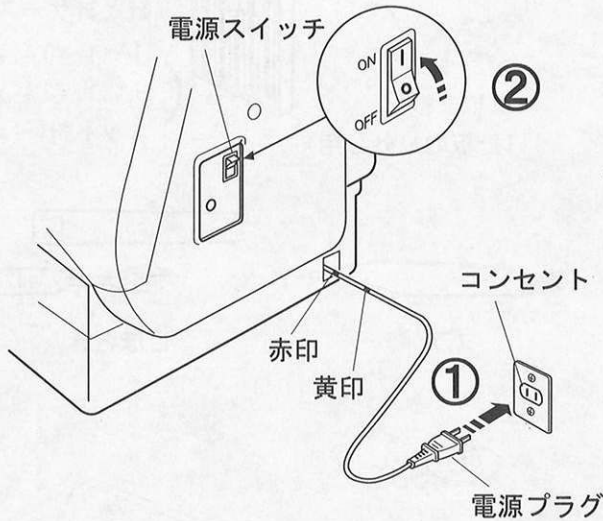
ワイドクリアーテーブル



パイピング押さえ

◎操作方法

●電源のつなぎ方



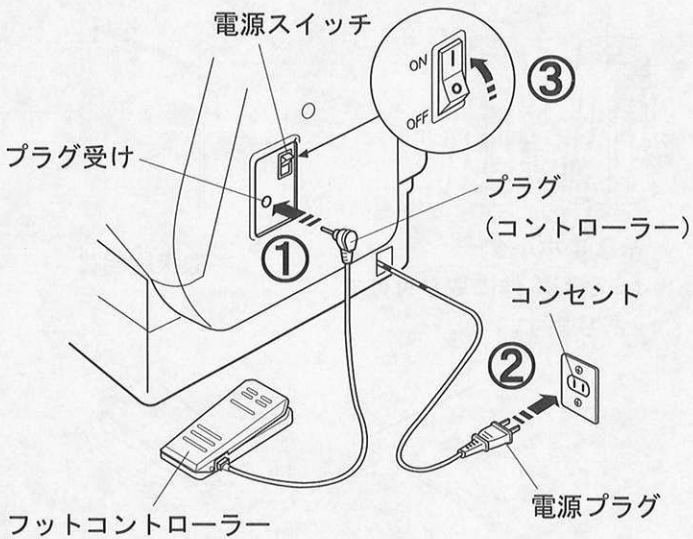
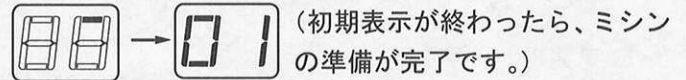
⚠ 警告

- 電源は、一般家庭用交流電源 100V でご使用ください。
- ミシンを使わないときは、電源スイッチを「OFF」(切)にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。**感電・火災の原因になります。**

★「スタート/ストップボタン」を使用する場合

- ① 電源スイッチを「OFF」(切)にして、電源プラグを引き出し、コンセントに差し込みます。
 - ② 電源スイッチを「ON」(入)にします。
- ※ コードを引き出したときに、黄印が出てきたら止めてください。赤印以上は引き出さないでください。

【電源投入時】 1秒間ミシンの設定を行い、直線模様 #01 を表示します。

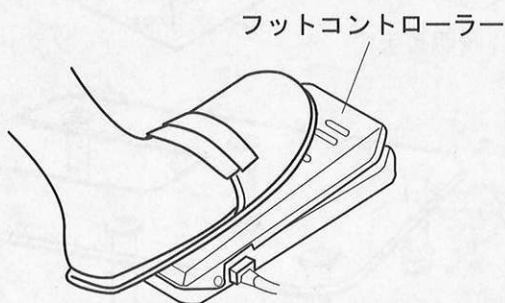
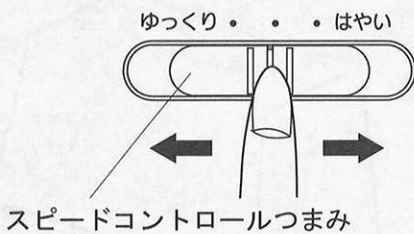


★フットコントローラーを使用する場合

- ① 電源スイッチを「OFF」(切)にして、プラグをプラグ受けに差し込みます。
- ② 電源プラグを引き出し、コンセントに差し込みます。
- ③ 電源スイッチを「ON」(入)にします。

※ フットコントローラーを使用する場合は、「スタート/ストップボタン」は作動しません。

●速さの調節



★スピードコントロールつまみ

ぬう速さは、スピードコントロールつまみで自由にセットできます。

左側にすると遅く、右側にすると速くなります。

※ フットコントローラー使用時は、フットコントローラーをいっぱい踏み込んだときの最高速度を調節できます。

★フットコントローラー

通常はスピードコントロールつまみを「はやい」位置にセットします。フットコントローラーの踏みかげんでぬう速さが調節できます。

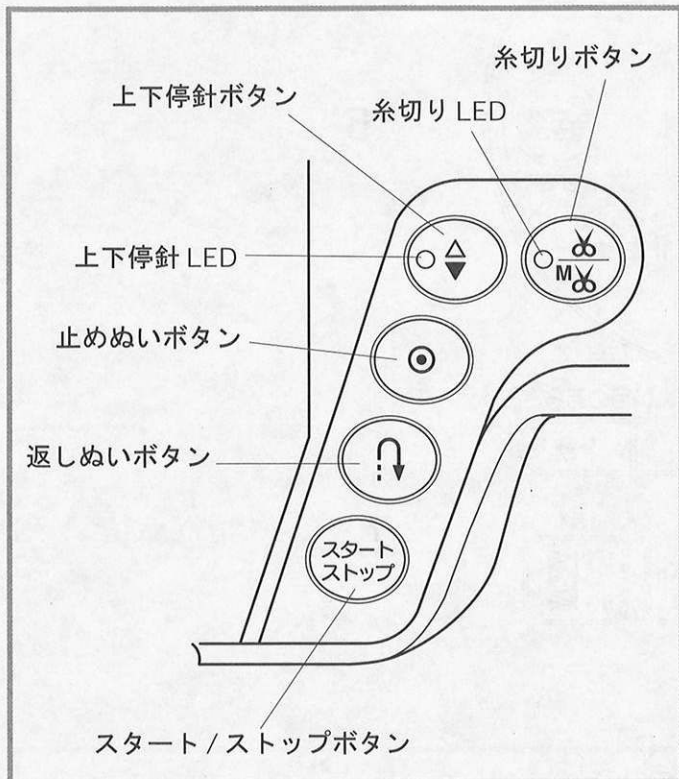
フットコントローラーをはなすと通常、針が上の位置で止まります。

深く踏む→速くなる。

浅く踏む→遅くなる。

※ フットコントローラーの上に物を置かないようにしてください。ケガや故障の原因となります。

●操作ボタンのはたらき 1



★スタート/ストップボタン

ボタンを押すと、ミシンは数針ゆっくりとぬってからスピードコントロールつまみでセットした速さでぬい始めます。もう1度押すとミシンは止まります。

ボタンを押し続けている間はミシンはゆっくり動きます。
※ スタートさせるとボタンが「緑」から「赤」にかわります。

※ 「スタート/ストップボタン」を使用するときは、フットコントローラーの接続は外してください。

※ 押さえ上げをさげないでミシンをスタートしたとき、
(**dn**) 注意表示されます。

押さえ上げをさげてスタートしてください。

★返しぬいボタン

【運転中の返しぬい】

模様 $\begin{matrix} 01 & 02 & 07 & 08 & 09 & 10 \\ \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\ \text{模様の記号} \end{matrix}$ は、ボタンを押している間返しぬいをします。その他の模様有的时候には、ボタンを押すとすぐに止めぬいをして自動的に止まります。

※ 模様 $\begin{matrix} 06 & 21 & 30 \\ \downarrow & \downarrow & \downarrow \\ \text{模様の記号} \end{matrix}$ は除きます。

【停止中の返しぬい】(「スタート/ストップボタン」使用時のみ)

模様 $\begin{matrix} 01 & 02 & 07 & 08 & 09 & 10 \\ \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\ \text{模様の記号} \end{matrix}$ は、ミシンが動いていない状態で返しぬいボタンを押すと、押している間は返しぬいをし、指をはなすと止まります。

※ その他の模様は除きます。

★上下停針ボタン

ミシンが止まっているときボタンを押すと、針の位置が上にあるときは下に切りかえ、LEDが点灯し、下にあるときは上に切りかえ、LEDが消灯します。

※ 上位置に切りかえた状態(LED消灯)でぬうと、ミシンを止めたとき、針は上位置で止まり、下位置に切りかえた状態(LED点灯)でぬうと針は下位置で止まります。

※ 下位置に設定しておいても、糸切り後とボタンホール、セツパぬい、ダーニング、かんぬき止め、アイレットをぬい終わったときは、上位置で止まります。

※ 運転中でも停止位置の切りかえができます。

★止めぬいボタン

模様 $\begin{matrix} 01 & 02 & 07 & 08 & 09 & 10 \\ \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\ \text{模様の記号} \end{matrix}$ は、ボタンを押すと数針止めぬいをし、自動的に止まります。

その他の模様ぬいのときには、模様を完成させたあと、止めぬいをし自動的に止まります。

※ 模様 $\begin{matrix} 06 & 21 & 30 \\ \downarrow & \downarrow & \downarrow \\ \text{模様の記号} \end{matrix}$ は除きます。

★糸切りボタン

ぬい終わったあとに押すと、上糸と下糸を自動的に切ります。糸切り中はLEDが点滅します。

模様を選んで、LEDが点灯するまでボタンを長く押すと、糸切りが記憶設定されます。(使用例は56ページをごらんください。)

【糸切りの注意事項】

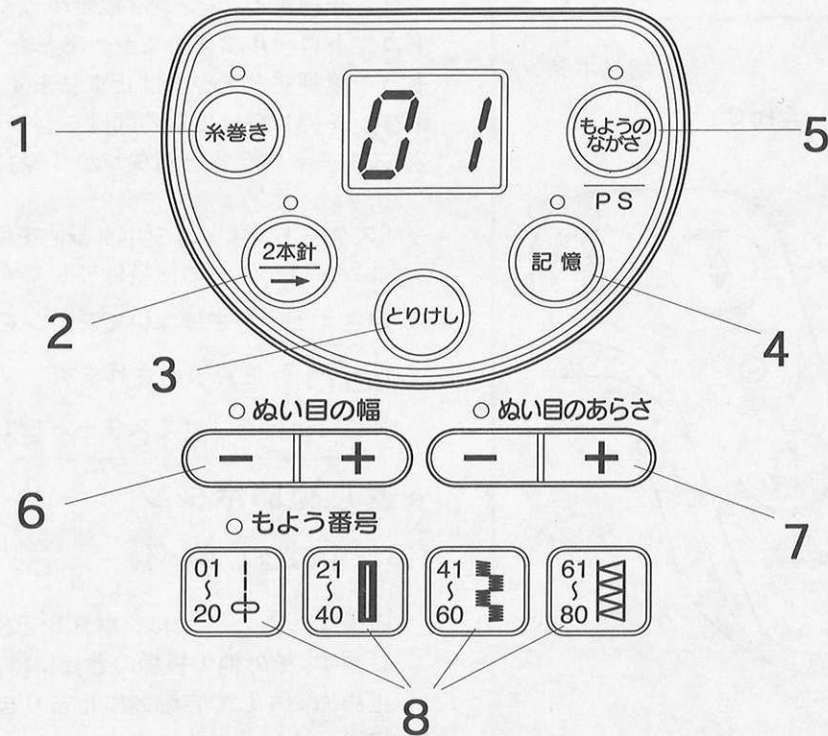
※ 30番および30番より太い糸、または、特殊糸を切るときには面板に付いている糸切りを使用してください。

※ 糸切り後は下糸は引き出さなくてもぬうことができます。

※ 糸切り部に糸くずがたまると故障の原因になりますので、「ミシンの手入れ」を参考に糸くずを取り除いてください。(68ページをごらんください。)

※ 糸こまの糸残りが少ない物は使用しないでください。糸がらみやの原因になります。

●操作ボタンのはたらき 2



1 糸巻きボタン (14 ページ参照)

下糸巻きをするときに使います。
糸巻きレバーを糸巻き側にすると、糸巻きLEDが点灯します。

2 2本針ボタン (61、64～67 ページ参照)

2本針ぬいをするときに使います。
2本針設定すると、2本針LEDが点灯します。
組み合わせぬいの場合、記憶模様の確認に使います。

3 とりけしボタン (64 ページ参照)

記憶した模様を取り消します。ボタンを長く押ししていると、ブザーが長く鳴って記憶した模様がすべて取り消され、模様#01が表示されます。
ぬい始めてから「とりけしボタン」を押すと、記憶した模様がすべて取り消されます。

4 記憶ボタン (53～55、64～68 ページ参照)

模様を選んでからボタンを押すと、ボタンを押した数だけその模様を記憶します。(最大50個)
さらに、他の模様を選んでから「記憶ボタン」を押すと、前の模様が続けて次に選んだ模様を記憶します。
記憶模様入力中は、記憶LEDは点滅します。
記憶模様をぬっているときは、記憶LEDは点灯します。

5 もようのながさボタン

(57、68 ページ参照)
サテン模様の模様長さをかえるときに使います。
模様の長さが2倍以上に設定したとき、もようのながさLEDが点灯します。
また、模様のぬい目の幅、ぬい目のあらしのオート値をかえるときにも使います。

6 ぬい目の幅調節ボタン

(26、29、41 ページ参照)
ぬい目の幅、または基線(針落ち位置)をかえるときに使います。

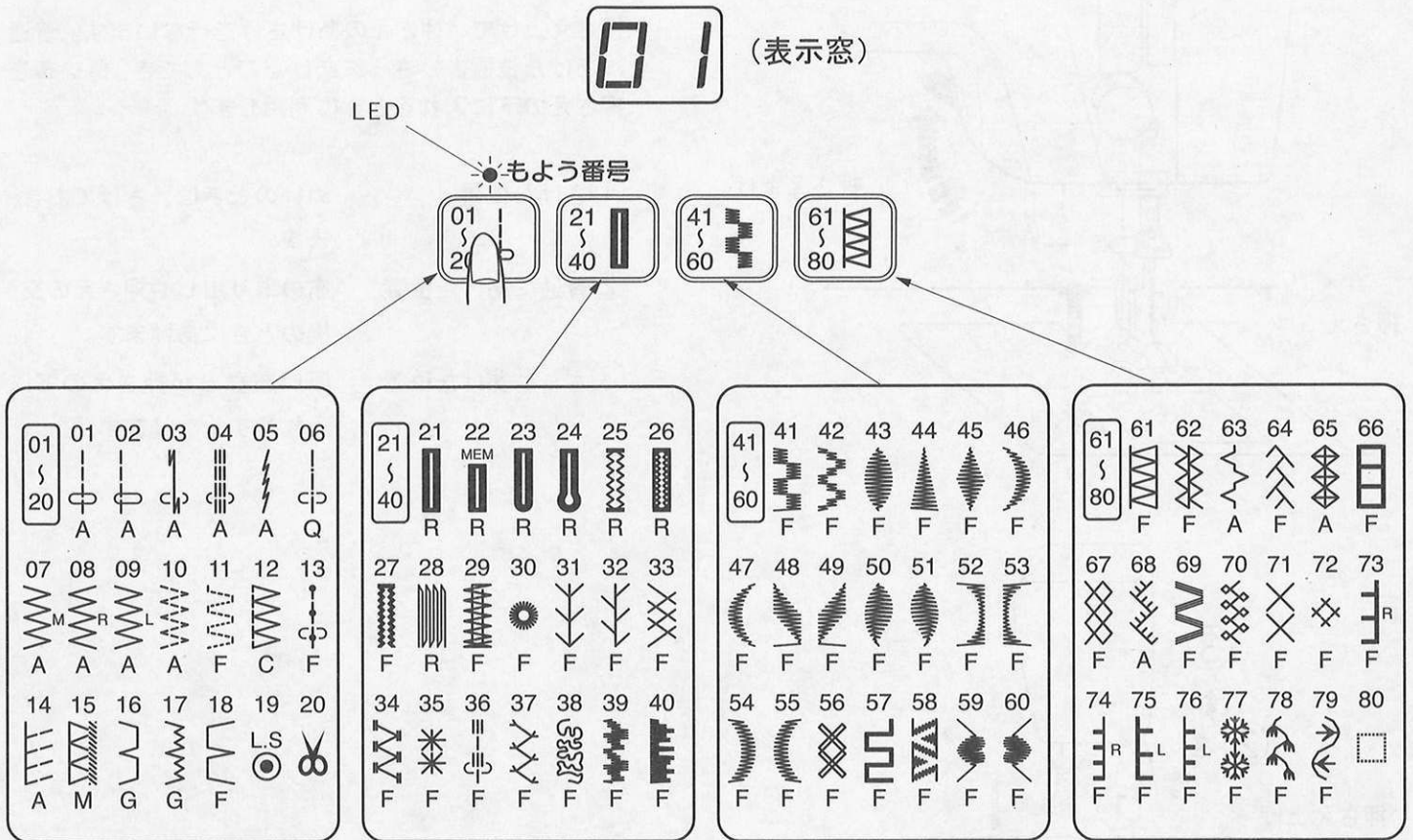
7 ぬい目のあらし調節ボタン

(26、29、41、48、50 ページ参照)
ぬい目のあらしをかえるときに使います。

8 模様選択ボタン (9 ページ参照)

ボタンを押して、選んだもよう番号を表示窓に表示させます。

●模様の選び方



模様選択ボタンを押すと (LED 点灯)、選んだもよう番号が表示されます。

模様選択ボタン 01 ~ 20 を押すと、先頭模様 # 01 が選ばれます。さらに押すと、模様 # 02 ~ 模様 # 20 を選ぶことができます。(模様 # 20 は、他の模様を記憶したあとのみ選択できます。)

模様選択ボタン 21 ~ 40 は、模様 # 21 ~ # 40

模様選択ボタン 41 ~ 60 は、模様 # 41 ~ # 60

模様選択ボタン 61 ~ 80 は、模様 # 61 ~ # 80 の模様を選ぶことができます。(模様 # 80 はスペース模様です。)

※止めぬい記憶模様 # 19 (53 ページ参照)

記憶した模様の最後に模様 # 19 を記憶しておく、ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。

※糸切り記憶模様 # 20 (55 ページ参照)

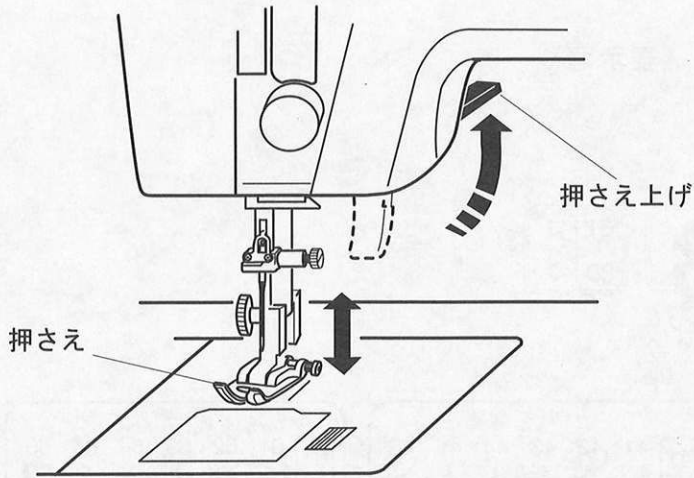
記憶した模様の最後に模様 # 20 を選び記憶します。(模様のはじめには # 20 は記憶できません。)

糸切り LED が点灯して糸切り記憶したことを示します。

ぬい終わると止めぬいをして自動的に糸切りを行います。

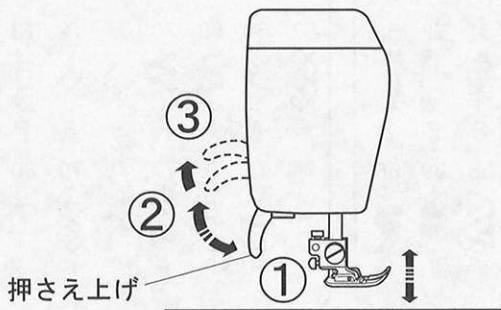
※模様の下にある記号は押さえ記号です。模様にあった基本的な押さえとなっていますので、同じ模様でもぬい方により使用する押さえが異なる場合があります。使用する押さえは、ぬいの項目で確認してください。

●押さえ上げ

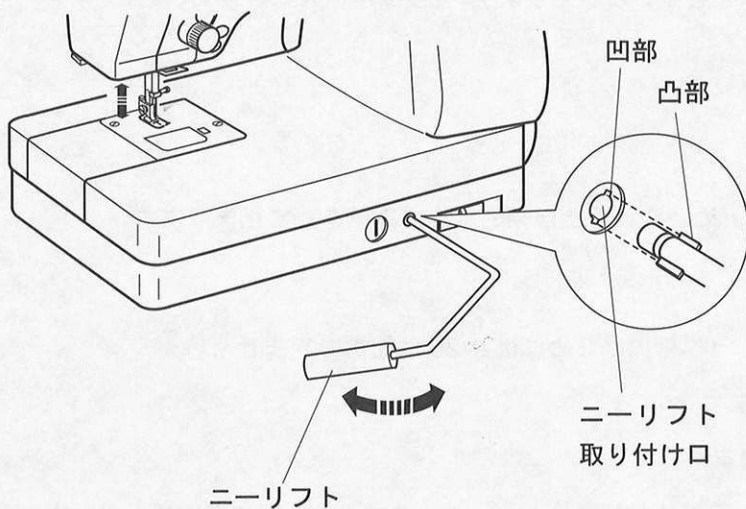


押さえ上げで、押さえのあげ下げを行いません。普通にあげた位置よりさらにあげることもでき、厚い布を押さえの下に入れるときに利用します。

- ①さげた位置 _____ めいのときは、さげておきます。
- ②普通にあげた位置 _____ 布の取り出しや押さえの交換のときにあげます。
- ③さらにあげた位置 _____ 厚い布などが押さえの下に入れやすくなります。



●ニーリフトの取り付け



ニーリフトは手を使わずに押さえのあげ下げができます。キルトなどをぬうときに使うと便利です。

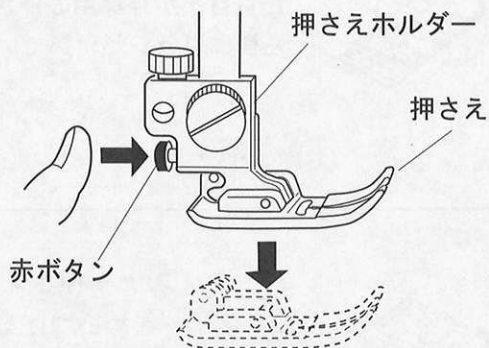
取り付けは、ニーリフトの凸部をニーリフト取り付け口の凹部に合わせ、差し込みます。

ひざを使ってニーリフトを右側に押し、押さえがあがり、もどすと押さえがさがります。

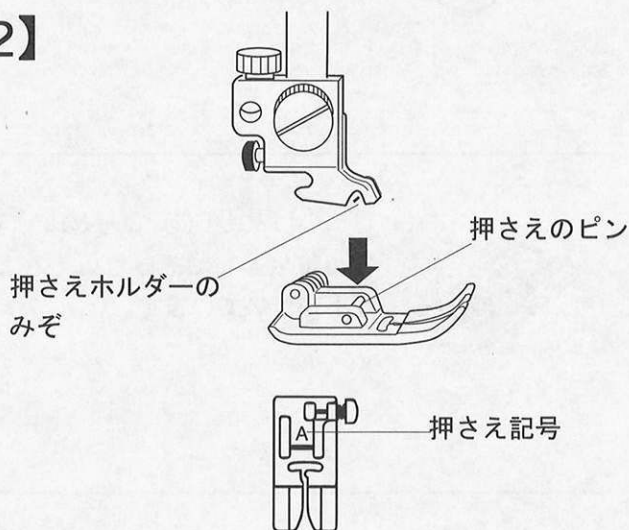
※ めい中は、ニーリフトにふれないようにしてください。

●押さえの取りかえ

【1】



【2】



⚠ 注意

押さえ、押さえホルダーの交換は、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。

ケガの原因になります。

【1】 押さえの外し方

- ① 針をあげ、押さえ上げをあげます。
- ② 押さえホルダーの赤ボタンを押して、押さえを外します。

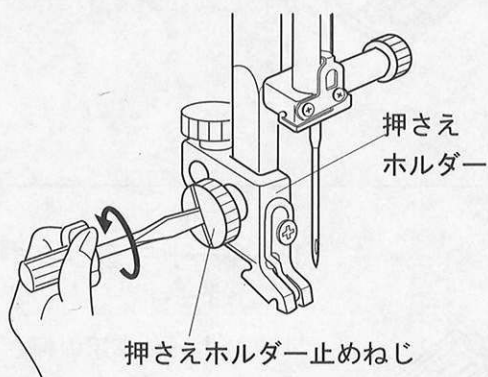
【2】 押さえの付け方

押さえのピンを押さえホルダーのみぞの真下において、押さえ上げをさげます。

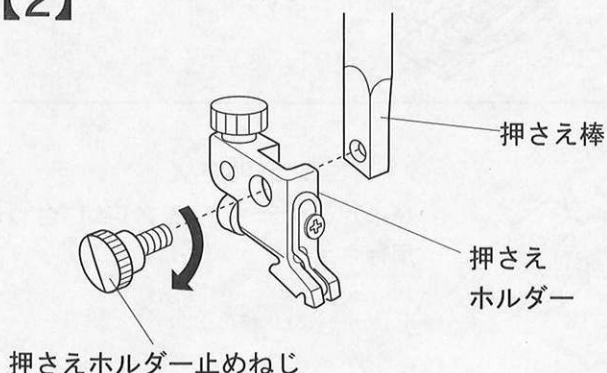
※ 押さえには記号が付いていますので模様にあったものを使用してください。

●押さえホルダーの外し方、付け方

【1】



【2】



【1】 押さえホルダーの外し方

- ① 針をあげ、押さえ上げをあげます。
- ② 押さえホルダー止めねじを左にまわして外し、押さえホルダーを外します。

【2】 押さえホルダーの付け方

押さえ棒の取り付け穴に押さえホルダーの穴を合わせ、押さえホルダー止めねじを右にまわしてしっかり取り付けます。

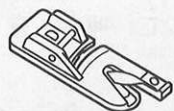
●各種押さえと用途



A：基本押さえ
直線ぬいや、いろいろなぬいに使用できる押さえです。



C：たち目かがり押さえ
たち目かがり専用の押さえで、右針落ち側にブラシが付いています。



D：三つ巻き押さえ
布端を巻き込むためのガイドが付いています。



E：ファスナー押さえ
ファスナーをぬいつけるための特殊な形をしています。



F：サテン押さえ
密着模様ぬい、飾り模様ぬいをするための押さえです。



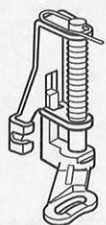
G：くけぬい(まつりぬい)押さえ
布の折り返しにそってぬえるようにガイドが付いています。



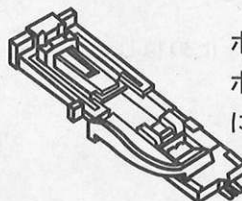
H：直線押さえ
直線ぬい専用の押さえです。
付属の直線針板と一緒に使用します。



M：縁かがり押さえ
縁かがり専用の押さえで、かがった布がねじれないようにピンが付いています。



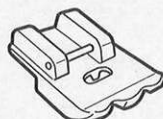
Q：フリーキルト押さえ
針と一緒に動き、フリーキルティングに最適です。
その他、しつけぬいにも利用します。



R：オートマチックボタンホール押さえ
ボタンホール専用の押さえで、全てのボタンホールぬいと、ダーニングぬいに使用します。



ウルトラグライド押さえ
非常に滑りの良い特殊素材でできた押さえなので、滑りの悪い素材、合成皮革などもスムーズにぬうことができます。
一般の布地でも使用できます。

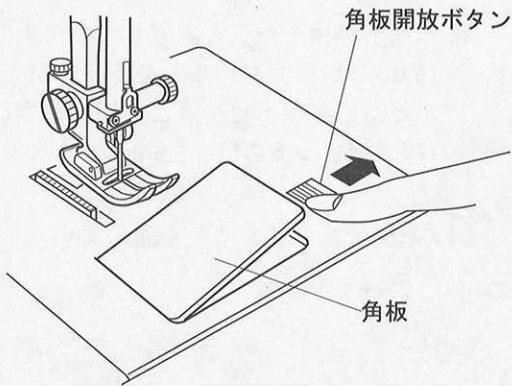


パイピング押さえ
パイピングテープ(玉縁)ぬい合わせ専用押さえです。

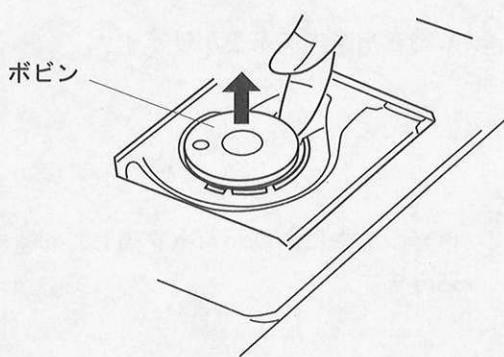
※その他、別売アタッチメントも用意しております。詳しくはお買い上げの販売店にてお訪ねください。

●下糸の準備をしましょう

①



②

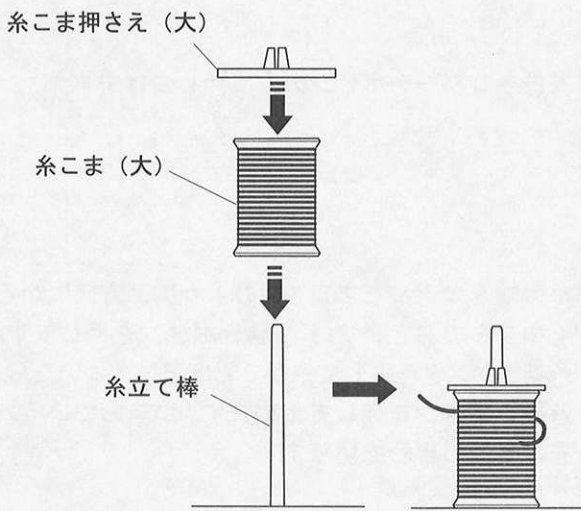


★ボビンを取り出します

① 角板開放ボタンを右へずらして角板を外します。

② ボビンを取り出します。

【1】



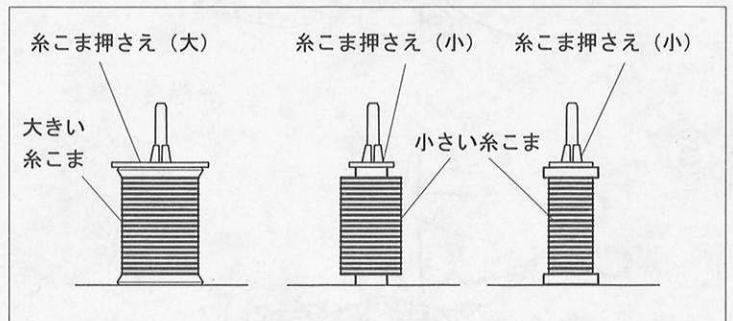
★糸こまをセットします

【1】 こま巻きの場合

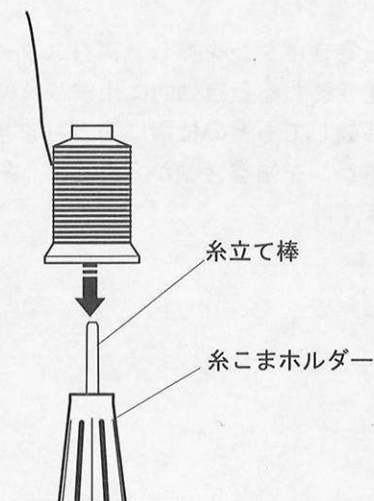
糸こまホルダーを外し、糸の端がうしろ側から左に出るようにして糸立て棒に糸こまを入れ、糸こま押さえで糸こまを押さえます。

※ 糸こまの糸残りが少ない物は使用しないでください。糸がらみの原因になります。

※ 糸こま押さえ(小)は、小さい糸こまに使用します。

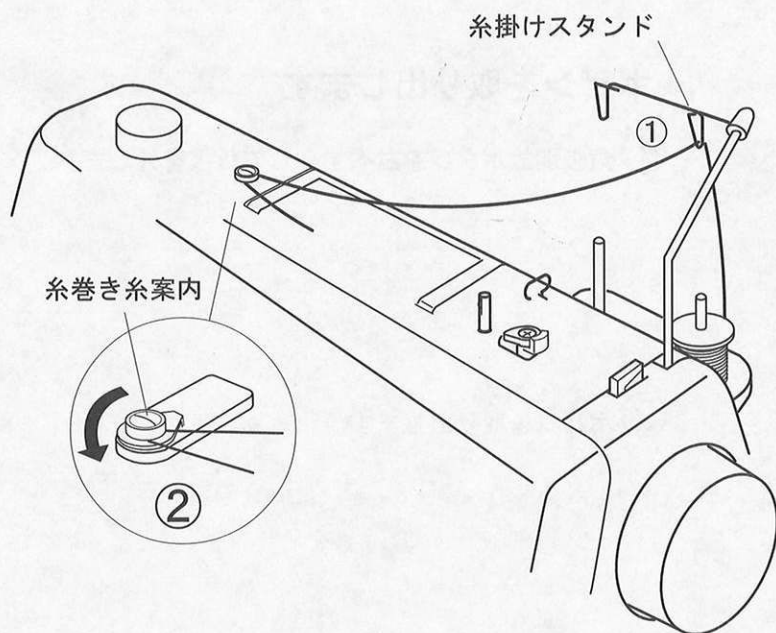


【2】



【2】 チーズ巻きの場合

糸立て棒に糸こまホルダーを差し込み、糸こまをセットします。



★ボビンに糸を巻きます

- ※ 糸巻き専用モータを内蔵していますので、いつでも（ぬいながらでも）糸を巻くことができます。
- ※ ボビンは標準ボビンをご使用ください。（標準ボビン高さは11.5mmです。）

① 糸掛けスタンドに糸を通します。

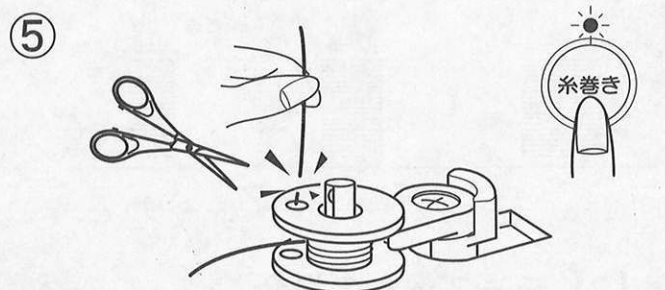
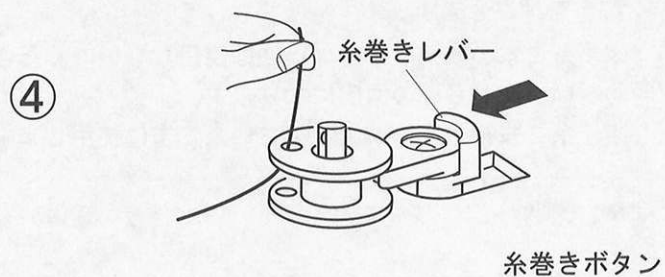
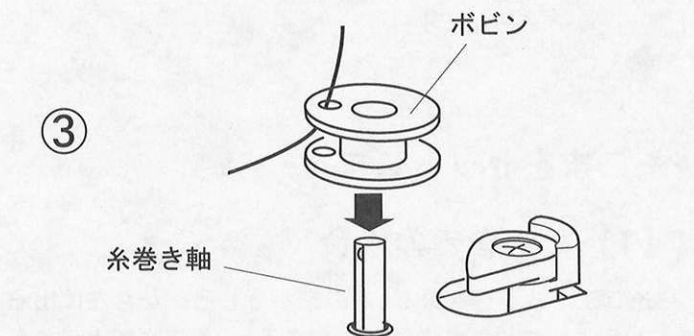
② 糸巻き糸案内に糸をかけます。

③ ボビンの穴に内側から糸を通し、糸巻き軸に差し込みます。

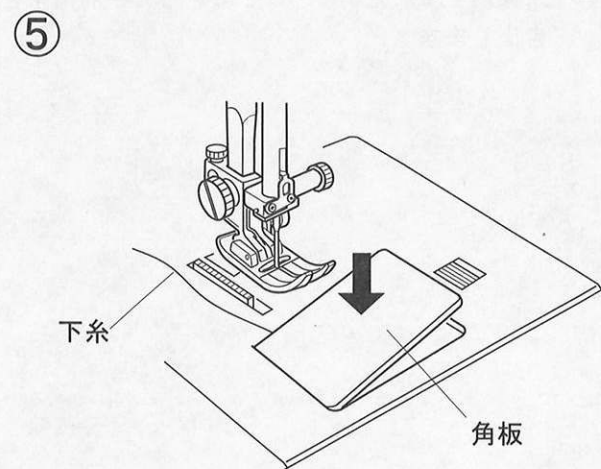
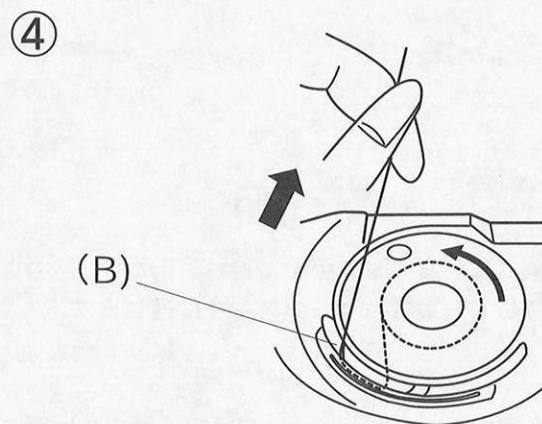
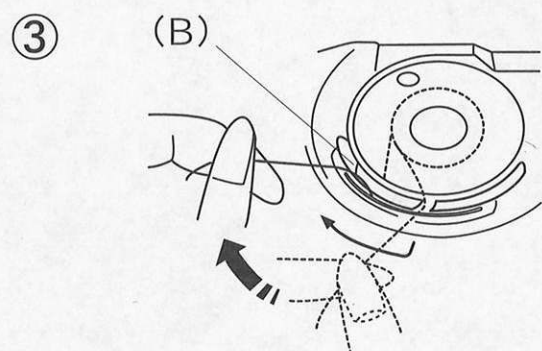
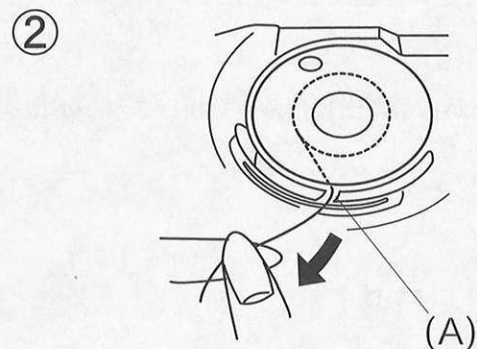
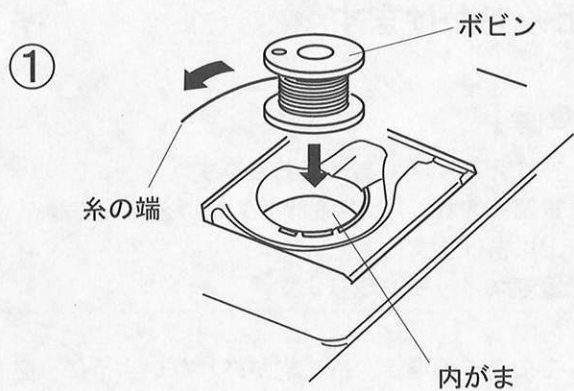
④ 糸巻きレバーをボビンの方に押しつけます。

⑤ 糸の端をつまんだまま（図のように上方向にからくつまんでおきます。）糸巻きボタンを押します。糸巻きがスタートして糸が3重ほど巻きついたら、糸巻きボタンを押して止めます。つまんでいる糸をボビンのきわで切ります。

⑥ 糸巻きボタンを押し、再びスタートします。巻き終わると自動的に止まり糸巻きレバーが右に移動してもとの位置にもどります。ボビンを糸巻き軸から外して、糸切りで糸を切ります。

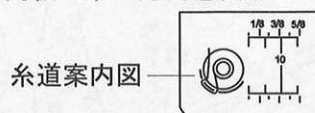


★ポビンをセットします



① 糸の端を矢印方向に出し、ポビンを内がまに入れます。

※ 角板に糸の方向を表示しています。



※ ポビンの巻き量が少ないものは、使用しないでください。糸がらみの原因になります。

② 糸の端を引きながら、手前のみぞ (A) にかけます。

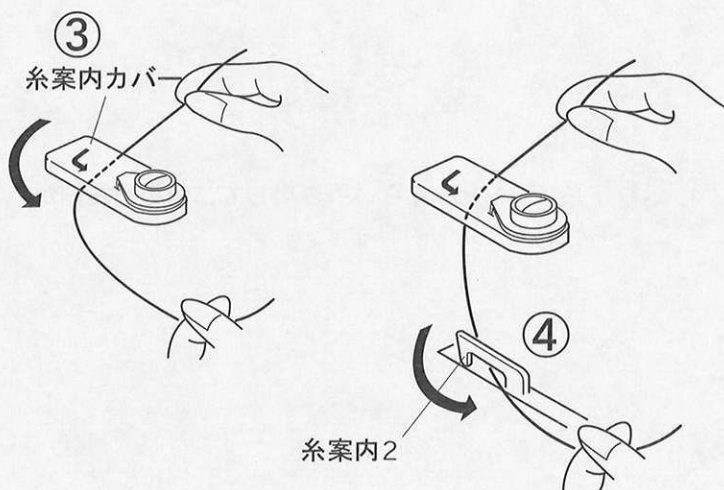
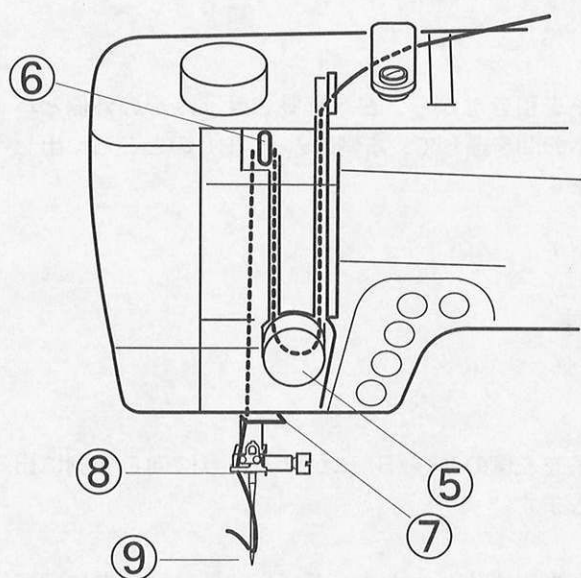
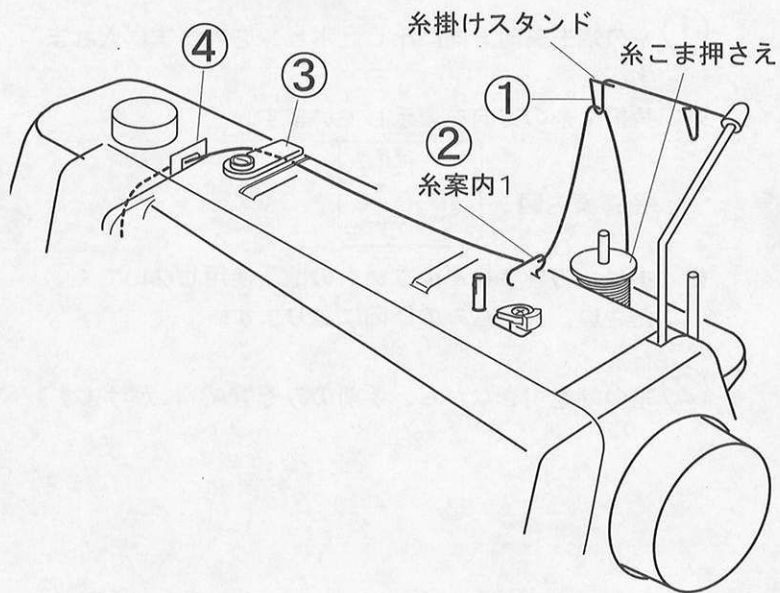
③ 糸を引きながら、左へ移動させ、みぞの外側とバネの間を通して、左側のみぞ (B) のところに出します。

④ 糸を左側のみぞ (B) にかけるように向こう側に出します。

※ 糸を引き出したとき、ポビンは反時計方向に回転します。時計方向に回転した場合、ポビンを上下逆に入れかえてください。

⑤ 下糸は、10cmくらい引き出して、角板を左側から合わせて取り付けます。

●上糸の準備をしましょう



★上糸をかけます

【準備】

- 1 押さえ上げは、あげておきます。
- 2 電源を入れ、「上下停針ボタン」を押して針を上にあげます。
- 3 電源スイッチを切ります。

※ こま巻きの場合、糸こまが外れないように、必ず、糸こま押さえを使用してください。

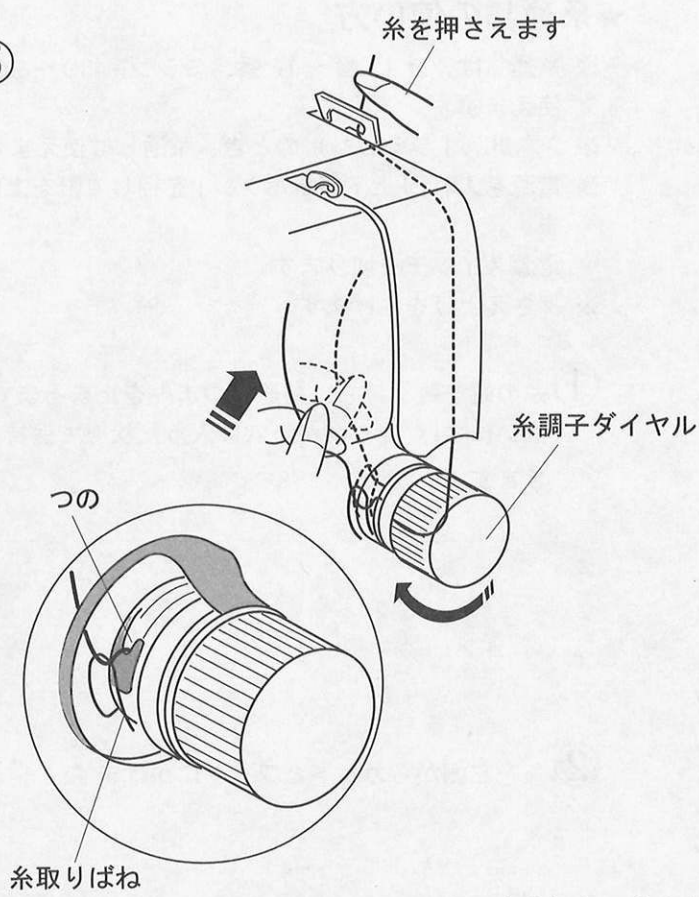
- ① 糸こまから引き出した糸を糸掛けスタンドに通します。

- ② 糸案内1 にかけます。

- ③ 糸こまからの糸を両手で持ち、下に押し込むようにして糸案内カバーのスキマに通します。

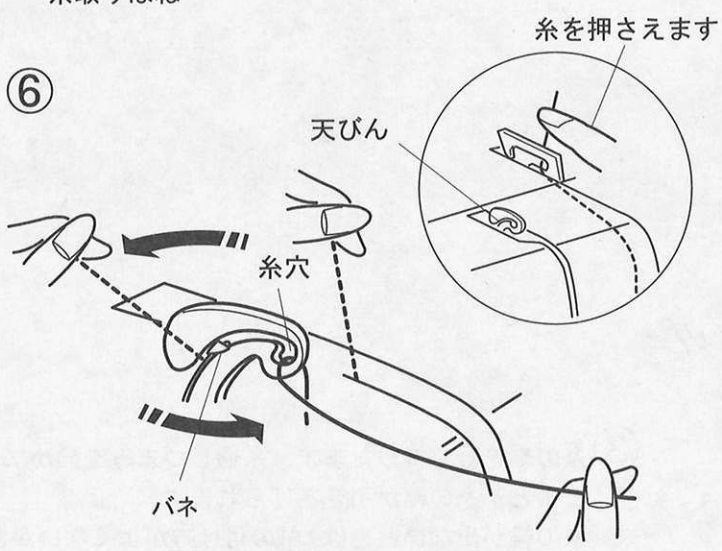
- ④ 糸案内2に糸をかけ、みぞにそって手前に糸を引き出します。

⑤



⑤ 糸を指で押さえ、糸調子ダイヤルの下をまわし、左上に引きあげて、糸取りばねにかけます。
 ※ 図の様に、確実につのに糸がかかっていることを確認してください。

⑥



⑥ 糸を指で押さえ、天びんに右からうしろへまわし、バネを通過させて糸穴に入れ、まっすぐおろします。

アーム糸案内

⑦

⑦ アーム糸案内に右からかけます。

⑧

針棒糸かけ

⑧ 針棒糸かけに左からかけます。

⑨

⑨ 糸通しを使って針に糸を通します。
 (糸通しの使い方は、18ページをごらんください。)

★糸通しの使い方

※ 糸通しは、針 11 番～16 番、ミシン糸 50～90 番に
使えます。

※ 2 本針（オプション）のとき、糸通しは使えません。

※ 電源を入れ、「上下停針ボタン」を押して針を上にあげ
ます。

電源スイッチを切ります。

※ 押さえ上げをさげます。

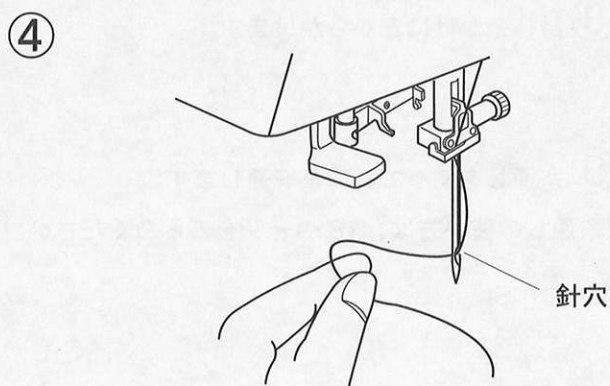
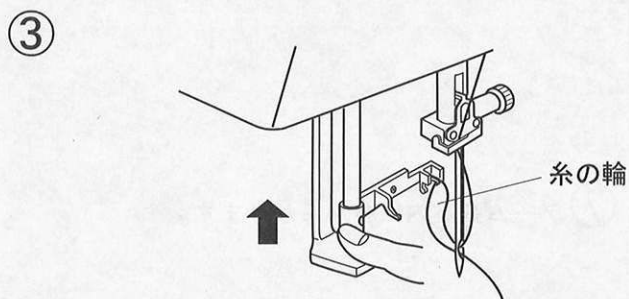
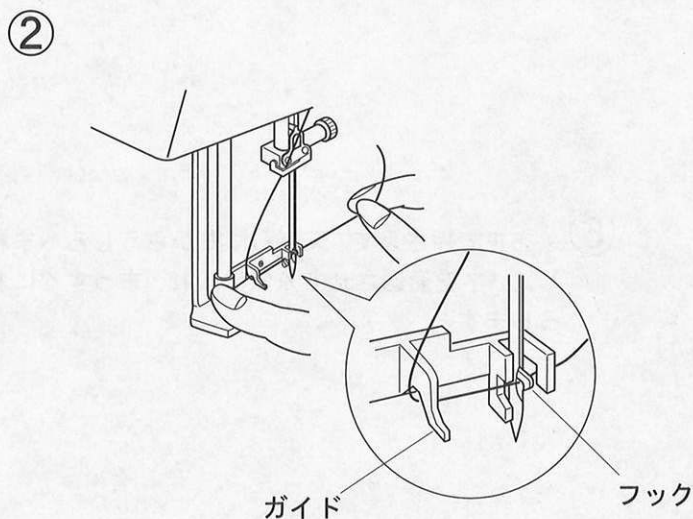
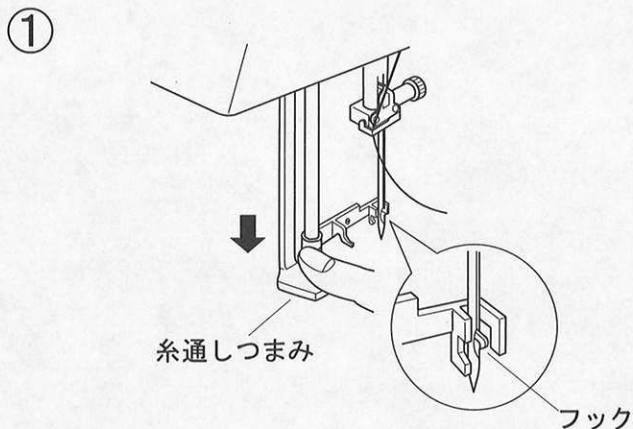
① 糸の端を軽く持ち、糸通しつまみを止まるまでいっ
ぱいにさげ、フックが針穴に入った状態で保持してお
きます。

② 糸を左側からガイドとフックにかけます。

③ 糸の端を軽く持ったまま、糸通しつまみを静かにも
どすと、糸の輪が引きあげられます。

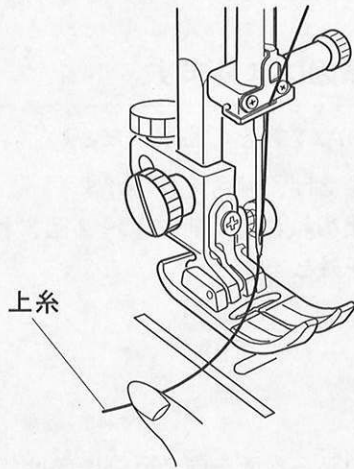
※ 糸の輪が出ないときは、針の付け方がよくないか、ま
たは、針が曲がっています。針の取りかえ方
(20 ページ) を確認ください。

④ 糸の輪を糸通しから外し、針穴から端を引き出しま
す。



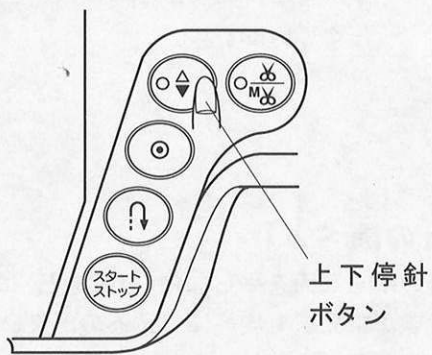
★下糸の引きあげ方

①

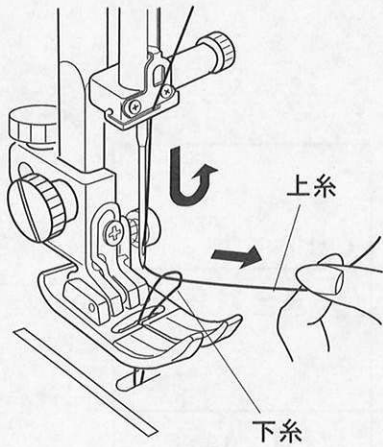


- ① 押さえをあげ、上糸の端を指で押さえておきます。

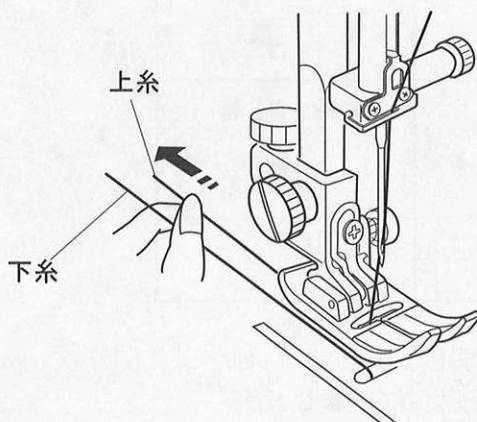
②



- ② 電源スイッチを入れ、「上下停針ボタン」を押して針をさげ、もう1度押して針をあげます。上糸を軽く引くと、下糸の輪が引き出されます。

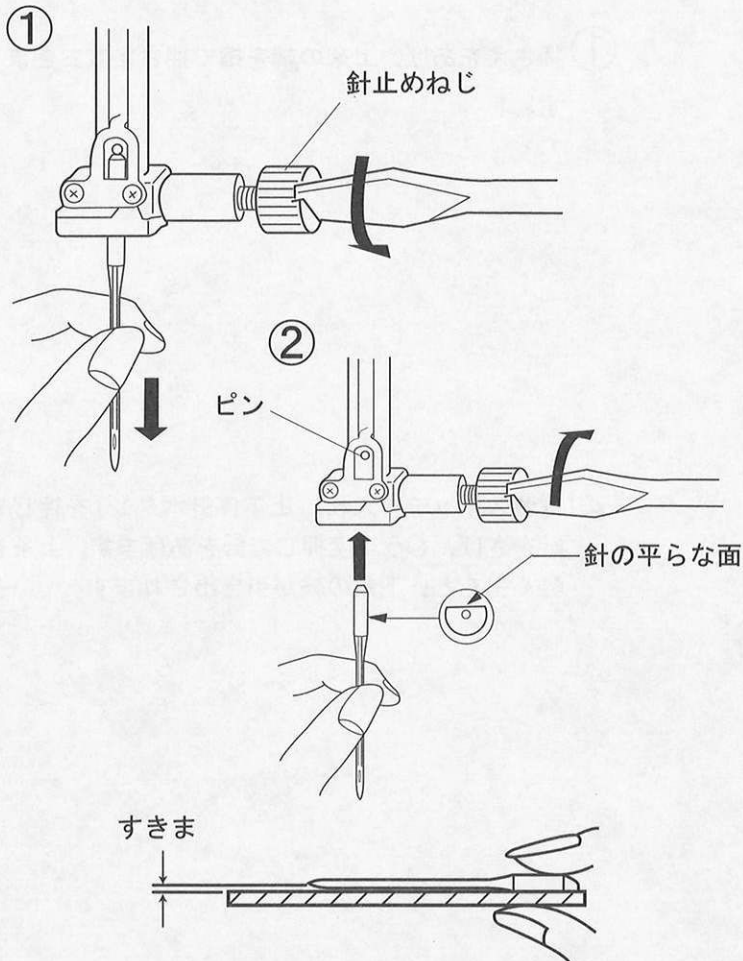


③



- ③ 上糸と下糸を押さえの下から向こう側に約10cmほど引き出して、そろえておきます。

●針の取りかえ方



⚠ 注意

針の交換は、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。

けがの原因になります。

オルガン HAX1 針をご使用ください。

- ① 針をあげ、押さえをさげます。
針止めねじを手前に1～2回まわしてゆるめ、針を外します。
- ② 針の平らな面を向こう側に向けて、ピンにあたるまで差し込み、針止めねじをねじまわしてかたくしめます。

【針の調べ方】

針の平らな面を平らな物(針板など)に置いたとき、すきまが針先まで均等に見えるのが良い針です。
針先が曲がったり、つぶれているものは使わないようにしてください。

●布に適した糸や針を選ぶ目安

布		糸		針 (HA × 1)
うすい布	ローン ジョーゼット トリコット	ポリエステル、ナイロン	90～100番	9番～11番
普通の布	シーチング ジャージー 一般ウール	絹糸	50番	11番～14番
		綿糸	60番	
		ポリエステル	60番～90番	
		綿糸	50番	14番
厚い布	デニム コート地 ツイード	絹糸	50番	14番～16番
		綿糸	40番～50番	
		ポリエステル	60番	
		ポリエステル	30番	16番
綿糸	30番			

※ 普通、上糸と下糸は同じ糸を使います。

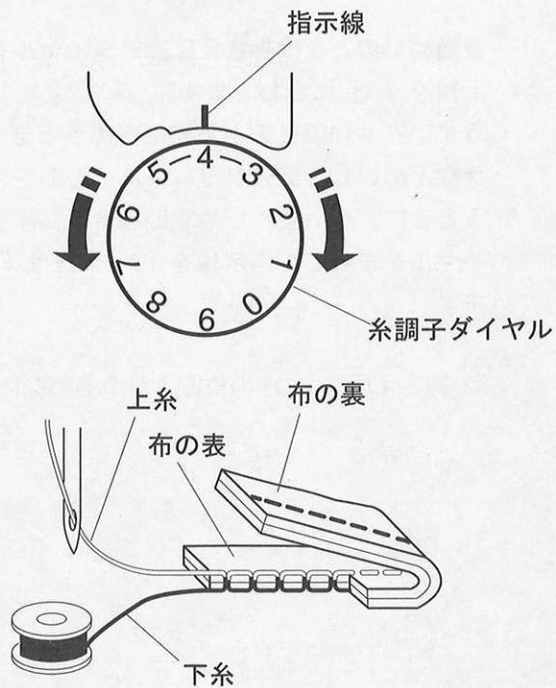
※ うすい布には細い糸と細い針、厚い布には太い糸と太い針を使いましょう。

※ 針や糸は、実際にぬう布のはぎれを使って、必ず試しぬいをして確かめてみましょう。

※ ニット針 (HAX1 SP#11)は、柄の部分青色をしています。伸縮性のある布(ニット地)や目とびしやすい布地などに使用してください。

●糸調子の合わせ方

【1】



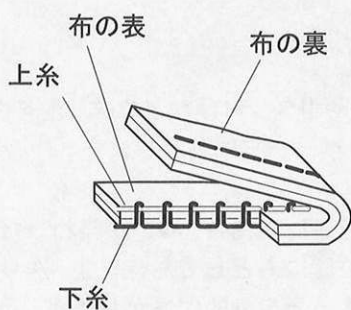
【1】 バランスのとれた糸調子

素材やぬい方によって、糸調子ダイヤルをまわして調節します。糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目がきたなくなり、布にしわがよったり、糸が切れたりします。

※ 直線ぬいのはきは、上糸と下糸が布のほぼ中央でまじわります。

※ ジグザグぬいのはきは、布の裏側に上糸が少し出るくらいになります。

【2】

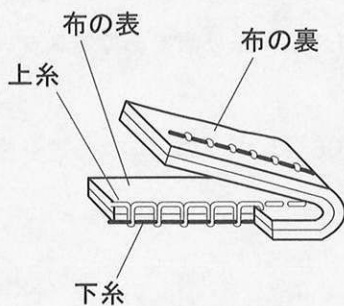


【2】 上糸が強すぎる時

下糸が布の表に引き出されます。

糸調子ダイヤルをまわして数値を小さくします。

【3】

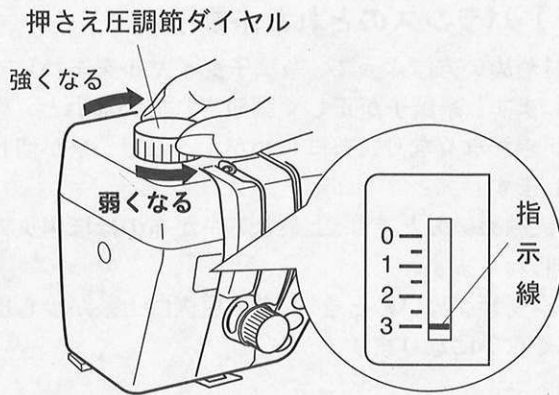


【3】 上糸が弱すぎる時

上糸が布の裏に引き出されます。

糸調子ダイヤルをまわして数値を大きくします。

●押さえ圧調節ダイヤルの使い方



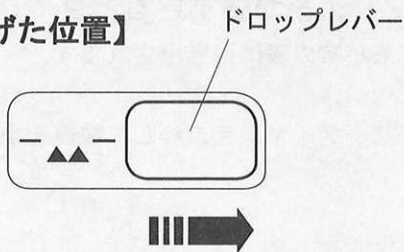
普通ぬいときは押さえ圧調節ダイヤルをまわして指示線を「3」に合わせます。

うすい布や伸縮性のある布地をぬうときや、アップリケなどぬいしろ部分が重なりあうものをカーブしてぬうときに、ぬいずれしやすい場合は、押さえ圧調節ダイヤルをまわして指示線を「2」または「1」に合わせます。

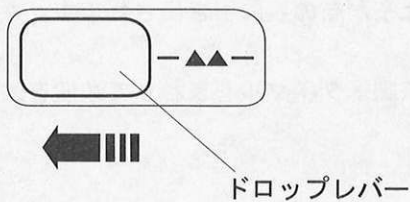
※ 押さえ圧は、「0」の位置よりゆるめないでください。

●送り歯のさげ方

【送り歯をさげた位置】




【送り歯をあげた位置】



しつけぬいやボタン付けなどで送り歯をさげるときは、ドロップレバーを右に動かします。

※ 送り歯をさげた場合、ぬいが終わったら、送り歯をあげる位置にもどしておきます。送り歯は、ミシンが回転すると自動的にあがります。

※ 送り歯をさげた状態でスタートしたとき 

表示した場合、送り歯をあげてスタートしてください。

模様# 06 (しつけぬい) は、送り歯をさげてぬいます。

◎実用ぬい1

●直線ぬい

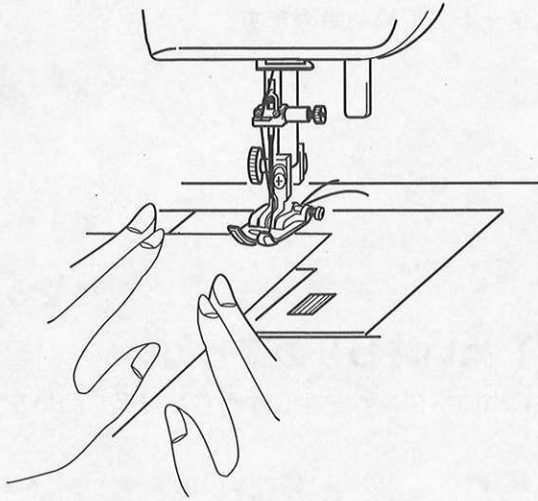
01
—
|
—
○
または
02
—
|
—
○



ミシンのセット

模様 01 または 02
押さえ A:基本押さえ
糸調子 2 ~ 6

【1】

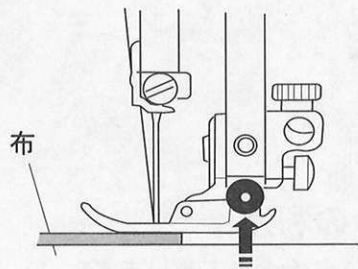


【1】ぬい始め

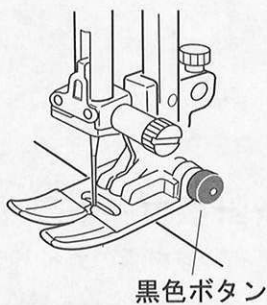
上糸と下糸を押さえの下を通して向こう側に引き出し、押さえをさげてぬい始めます。

【2】

① ②



③



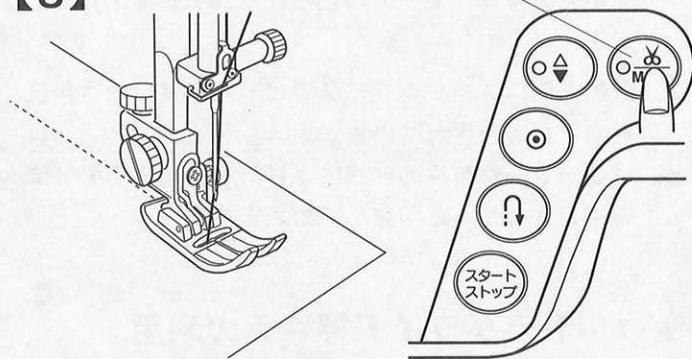
黒色ボタン

【2】厚い布の布端のぬい始め

- ① ぬい始めの位置に針をさし、基本押さえの黒色ボタンを押しこみます。
- ② 黒色ボタンを押したままで押さえをさげます。
※ 黒色ボタンを押した状態で押さえをさげると、押さえが水平に固定され、段部をスムーズにぬうことができます。
- ③ 黒色ボタンから手をはなし、ぬい始めます。
押さえが完全に布の上になると、黒色ボタンの押しこみは自動的に解除されます。
※ 布厚は、0.6cm までの布を使用してください。0.6cm 以上の布をぬうと針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

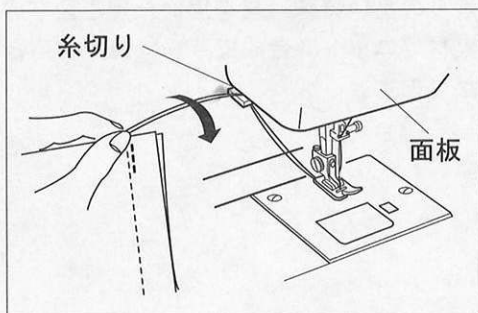
【3】

糸切りボタン



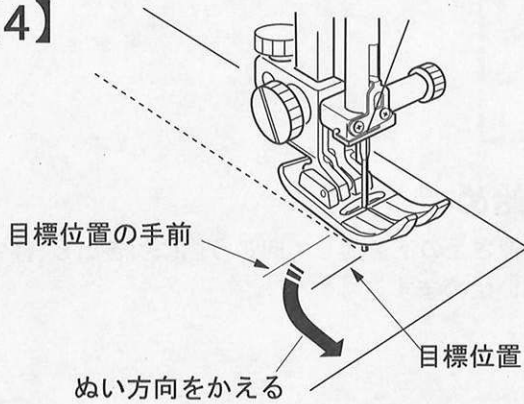
【3】ぬい終わり

ミシンを止め、「糸切りボタン」を押して糸を切ります。



※ 30番および30番より太い糸、または、特殊糸を切るときには面板に付いている糸切りを使用してください。布を手前に返すようにして、糸切りで糸を切ります。

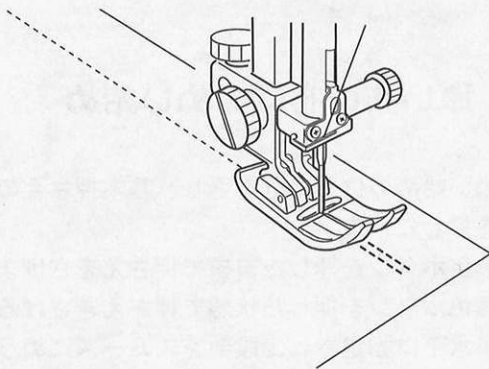
【4】



【4】ぬい方向をかえるには


目標位置の手前でミシンを止め、「上下停針ボタン」で目標位置までぬって針を布にさし、押さえをあげます。針を布にさしたまま、ぬい方向をかえて押さえをさげ、ミシンをスタートしてぬい始めます。

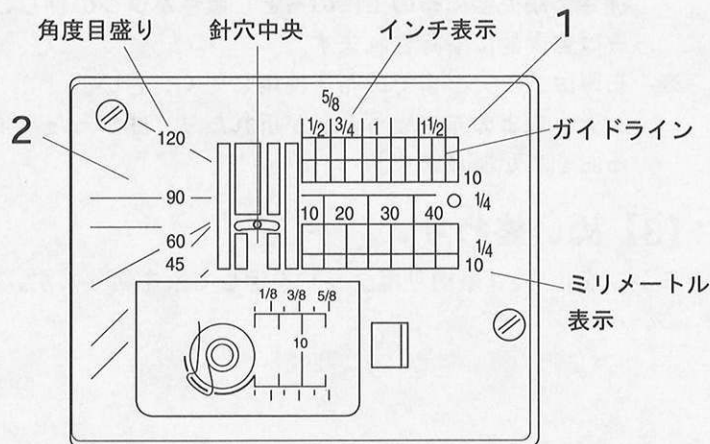
【5】



【5】ぬい終わりの返しぬい

「返しぬいボタン」を押しながら数針返しぬいをします。

※ 模様 03  のぬい終わりの位置で「返しぬいボタン」を1度押すと、自動的に返しぬいをしたあと、再びぬい終わりの位置まで進んで止まります。(27ページをごらんください。)



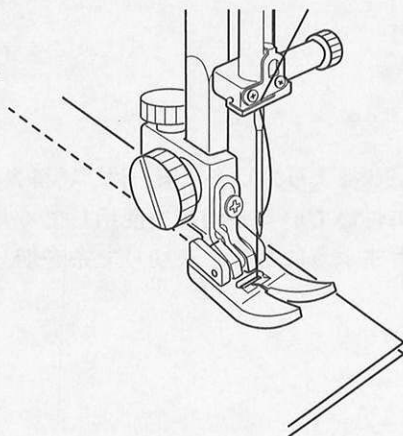
★針板ガイドラインの利用

布端を針板のガイドラインに合わせてぬいます。


- 1 針板右側には針穴中央からの長が表示されています。
※ ガイドラインの数字は針穴中央からガイドラインの間かくを「ミリメートル」と「インチ」で示しています。
- 2 針板左側にはパッチワークのピース作りに使う角度目盛りが表示されています。
※ パッチワーク布片の形状により針板の角度目盛りに布端を合わせると印なしでぬえます。

★ウルトラグライド押さえの利用

非常に滑りの良い特殊素材を用いた押さえなので、滑りの悪い素材（ニット、合成皮革）に使用するときれいにぬいあがります。

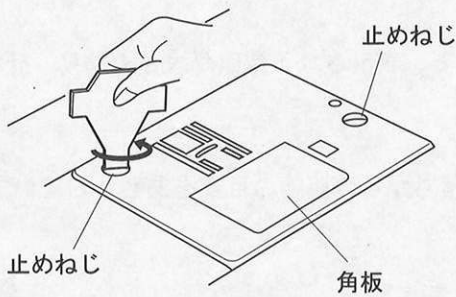


★直線針板の利用

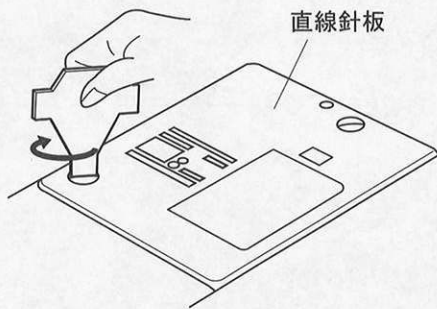
01 — ⊕		ミシンのセット 模様 01、03、04 押さえ H 直線押さえ 糸調子 2～6
--------------	-----------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------

【1】

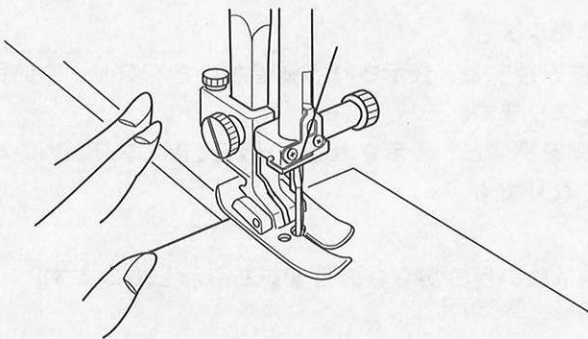
①



②



【2】



【1】直線針板の取り付け

⚠ 注意

- 針板を取りかえるときには、必ず、電源スイッチを切ってから取りかえてください。
- 直線針板を使用のときは、模様#01、#03、#04以外の模様は選択しないでください。

針が針板に当たり針折れしてけがの原因になります。

①

止めねじ2ヶを外し、針板を外します。

②

角板を直線針板に取り付け、止めねじで直線針板を取り付けます。

【2】ぬい

直線押さえを取り付けます。

⚠ 注意

直線押さえを使用するときは、模様#01、#03、#04以外の模様は選択しないでください。また、針が押さえにあたらないことを確認してください。

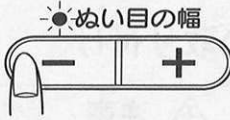
けがの原因になります。

※ぬいが終わったら、もとの針板や押さえにもどしておいてください。

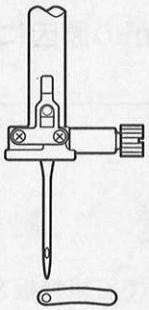
★直線模様の針落ち位置とぬい目のあ らさをかえるとき

【1】

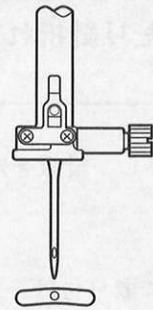
3.5



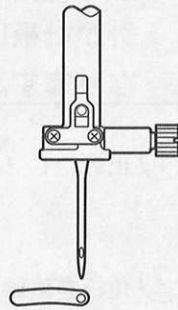
0.0



3.5



7.0



【1】直線模様の針落ち位置をかえるとき

「ぬい目の幅調節ボタン」で針落ち位置をかえることができます。

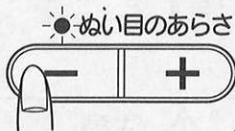
「-」側を押すと、表示される数値が小さくなり、針が左へ移動します。

「+」側を押すと、表示される数値が大きくなり、針が右へ移動します。

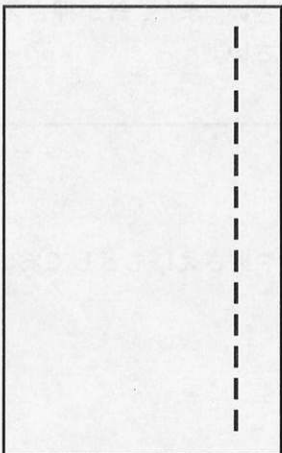
※数値は左針落ちからの距離の目安をあらわしています。

【2】

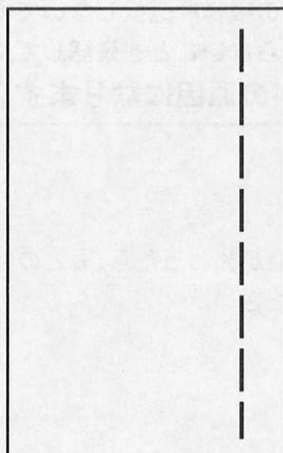
2.2



1.0



5.0



【2】ぬい目のあ らさをかえるとき

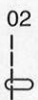
「ぬい目のあ
らさ調節ボタン」でぬい目のあ
らさをかえるこ
とができます。


「-」側を押すと、表示される数値が小さくなり、ぬい目が細かくなります。

「+」側を押すと、表示される数値が大きくなり、ぬい目があ
らくなります。

※数値はぬい目のあ
らさの目安をあらわしています。

【1】

02




ミシンのセット
模様 02
押さえ A:基本押さえ
糸調子 2 ~ 6





★その他の直線状模様

【1】 直線ぬい

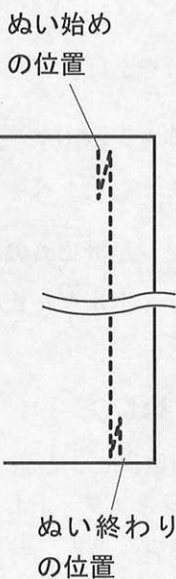
端ぬいに使用します。

【2】

03




ミシンのセット
模様 03
押さえ A:基本押さえ
糸調子 2 ~ 6



【2】 自動返しぬい

ぬい始めとぬい終わりにしっかりしたほつれ止めを自動的に行うときに使用します。

(ぬい始め)

ミシンをスタートすると、ぬい始めに自動的に返しぬいをしたあと、直線ぬいをします。

(「スタート・ストップボタン」使用時のぬい終わり)


ぬい終わりにきたらミシンを止め、「返しぬいボタン」を1度押します。自動的に返しぬいをしたあと、再びぬい終わりの位置まで進んで止まります。


(フットコントローラーを使用するとき)

ぬい終わりの位置にきたらミシンを止め、「返しぬいボタン」を1度押します。フットコントローラーを踏むと、自動的に返しぬいをしたあと、再びぬい終わりの位置まで進んで止まります。

※ミシンを運転したまま「返しぬいボタン」を押しても、同じように自動的に返しぬいをして止まります。

【3】

04





ミシンのセット
模様 04
押さえ A:基本押さえ
糸調子 2 ~ 6




【3】 三重ぬい

伸縮性のある強いぬい目なので、補強ぬいに便利です。

【4】

05




ミシンのセット
模様 05
押さえ A:基本押さえ
糸調子 3 ~ 6



【4】 伸縮ぬい

布が伸びても糸が切れにくい伸縮性のあるぬい目です。

●しつけぬい

06
|
CP

06

ミシンのセット

模様 06

押さえ Q: フリーキルト押さえ

糸調子 1~3

※送り歯をさげてください。(22ページをごらんください。)

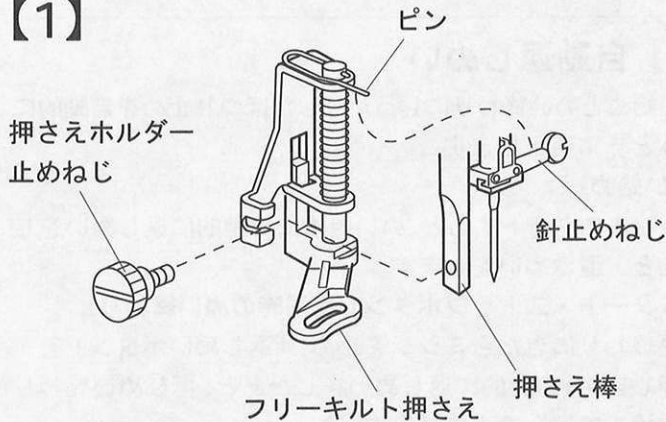
※押さえ圧調節ダイヤルを「1」に合わせます。(22ページをごらんください。)

⚠ 注意

押さえの交換は、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。

けがの原因になります。

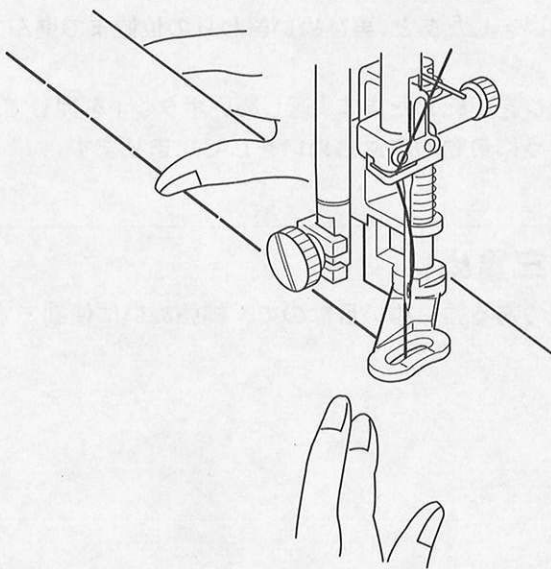
【1】



【1】フリーキルト押さえの取り付け方

- ① 針をあげ、押さえ上げをあげます。
- ② 押さえホルダー止めねじを外し、押さえホルダーを外します。(11ページをごらんください。)
- ③ ピンが針止めの上ののるように押さえ棒に取り付け、押さえホルダー止めねじをドライバーでしっかりしめます。

【2】



【2】ぬい方

布を前後にピンと張ってぬいます。

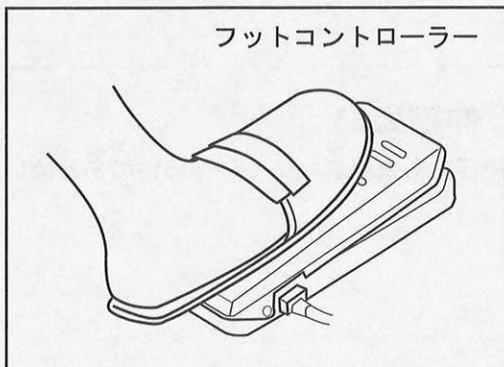
ミシンをスタートします。

1針ぬって止まります。

ぬい目をつまんで布を向こう側に引きます。

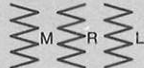
※フットコントローラーを使用すると、両手が使えて便利です。

フットコントローラー



●ジグザグぬい

07 08 09



07

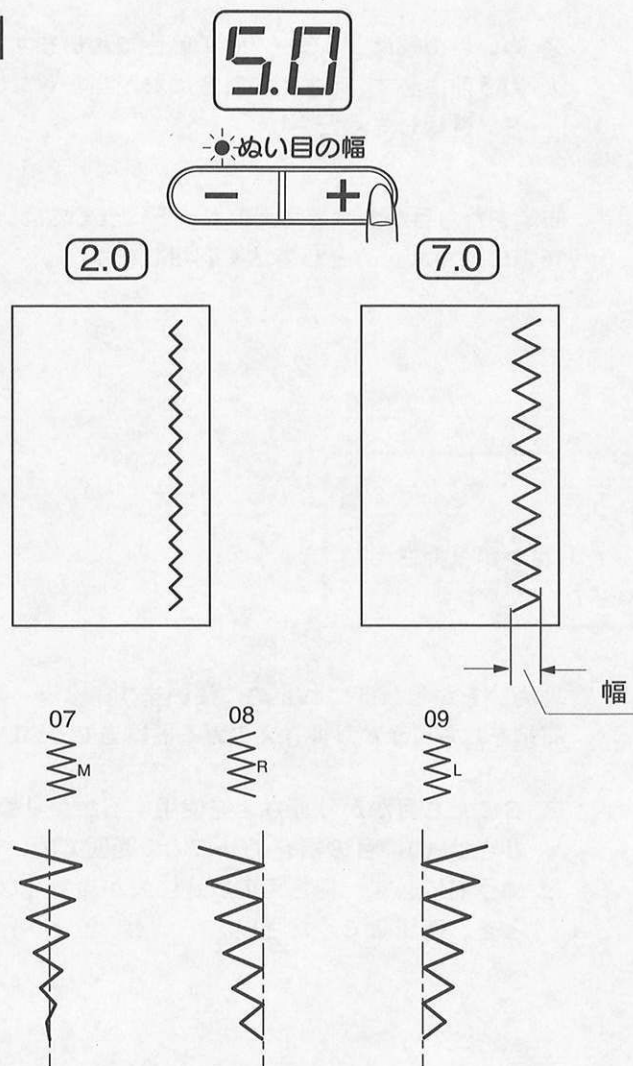
ミシンのセット

模様 07、08、09

押さえ A: 基本押さえ

糸調子 3 ~ 7

【1】



【1】ぬい目の幅をかえるとき

「ぬい目の幅調節ボタン」「-」側を押すと、表示される数値が小さくなり、ぬい目の幅はせまくなります。

「ぬい目の幅調節ボタン」「+」側を押すと、表示される数値が大きくなり、ぬい目の幅は広くなります。

ぬい中でも調節できます。

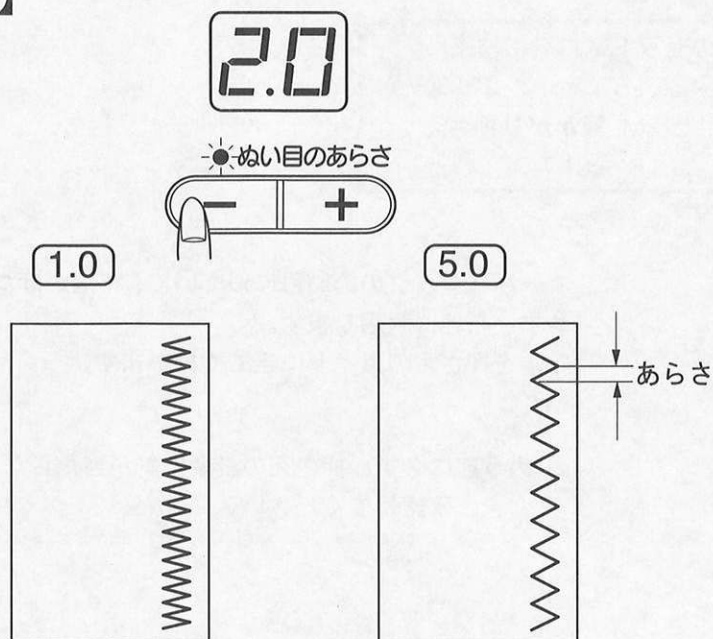
※数値はぬい目の幅の目安をあらわしています。

※模様07は中針落ちが固定で、ぬい目の幅を変更すると、左右の針落ちがかわります。

模様08は右針落ちが固定で、ぬい目の幅を変更すると、左針落ちがかわります。

模様09は左針落ちが固定で、ぬい目の幅を変更すると、右針落ちがかわります。

【2】



【2】ぬい目のあかさをかえるとき

「ぬい目のあかさ調節ボタン」「-」側を押すと、表示される数値が小さくなり、ぬい目のあかさが細かくなります。

「ぬい目のあかさ調節ボタン」「+」側を押すと、表示される数値が大きくなり、ぬい目のあかさがあらかくなります。

ぬい中でも調節できます。

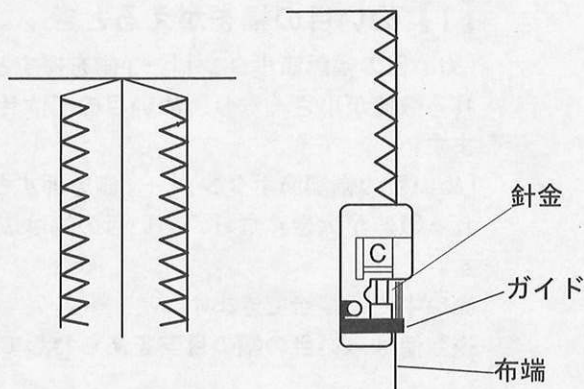
※数値はぬい目のあかさの目安をあらわしています。

●たち目かがり

08


08

ミシンのセット
 模様 08
 押さえ C: たち目かがり押さえ
 糸調子 3 ~ 7



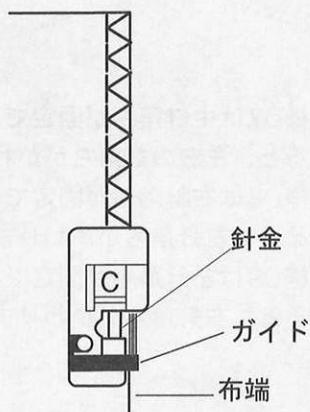
※ ぬい目の幅は、5.0 ~ 7.0 の範囲でぬいます。
 ※ ぬう前に必ず、押さえの針金に針が当たらないことを、確認してください。

布端をたち目かがり押さえのガイドに当ててぬいます。
 布端のほつれ止めとして広く利用します。

12


12

ミシンのセット
 模様 12
 押さえ C: たち目かがり押さえ
 糸調子 3 ~ 7



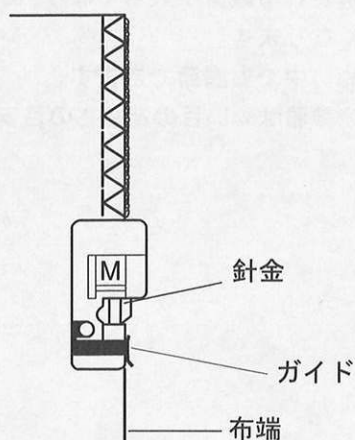
地ぬいをかねたほつれ止めに使います。
 布端をたち目かがり押さえのガイドに当ててぬいます。

※ C : たち目かがり押さえを使用するかがりぬいのはきは、ぬい目の幅を5.0~7.0の範囲でぬいます。
 ※ ぬう前に必ず、押さえの針金に針が当たらないことを、確認してください。

15


15

ミシンのセット
 模様 15
 押さえ M: 縁かがり押さえ
 糸調子 6 ~ 8



オーバーロックのぬい目に似ていて、布端がほつれやすい布地に利用します。
 布端を押さえのガイドに当ててぬいます。

※ ぬう前に必ず、押さえの針金に針が当たらないことを、確認してください。

●トリコットぬい

10
または
11

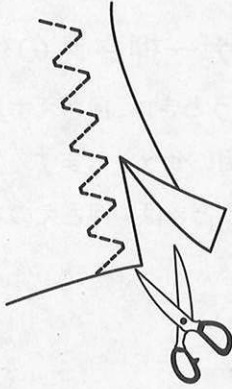


ミシンのセット

模様 10、11

押さえ A: 基本押さえ

糸調子 3 ~ 6



ほつれやすい布や伸縮性のある布のほつれ止め、布端の反り防止などに利用します。

ぬいしろを少し多めにとってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。

●ニットステッチ

14

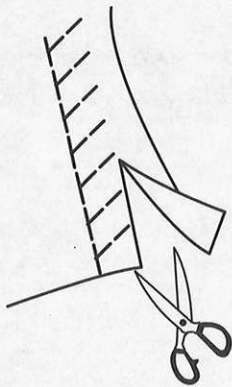


ミシンのセット

模様 14

押さえ A: 基本押さえ

糸調子 3 ~ 6



ニット地のかがりぬいに利用します。

ぬいしろを少し余分にとってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。

●ファスナー付け

01
—
⊕



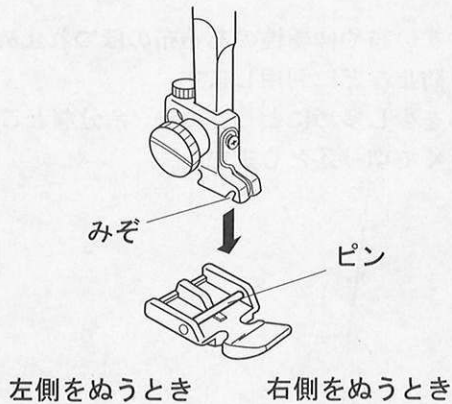
ミシンのセット

模様 01

押さえ E: ファスナー押さえ、A: 基本押さえ

糸調子 2 ~ 6

【1】



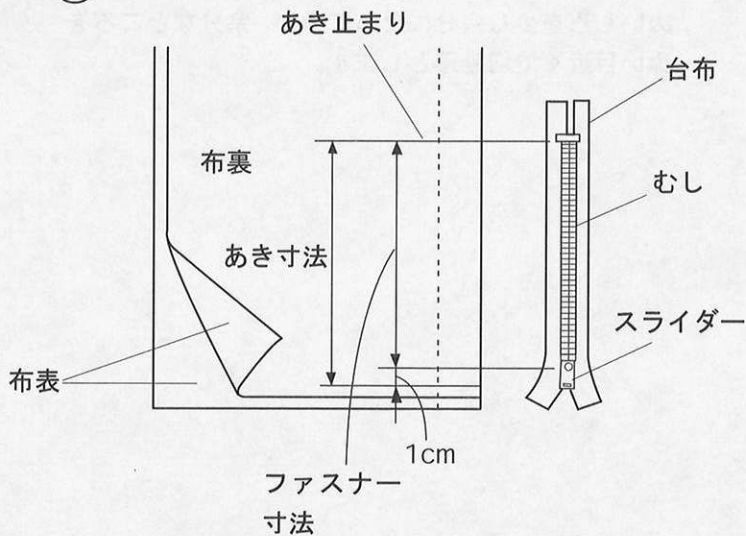
【1】ファスナー押さえの付け方

むしの左側をぬうときは、押さえホルダーのみぞにピンを合わせて右側にセットします。

むしの右側をぬうときは、押さえの左側にセットします。

【2】

①

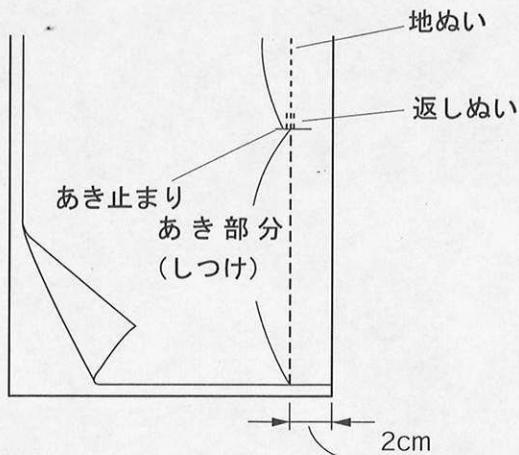


【2】準備 (例: 左脇あきのぬい方)

① ファスナーのあき寸法を確かめます。
あき寸法はファスナー寸法に 1 cm プラスした寸法です。

②

③

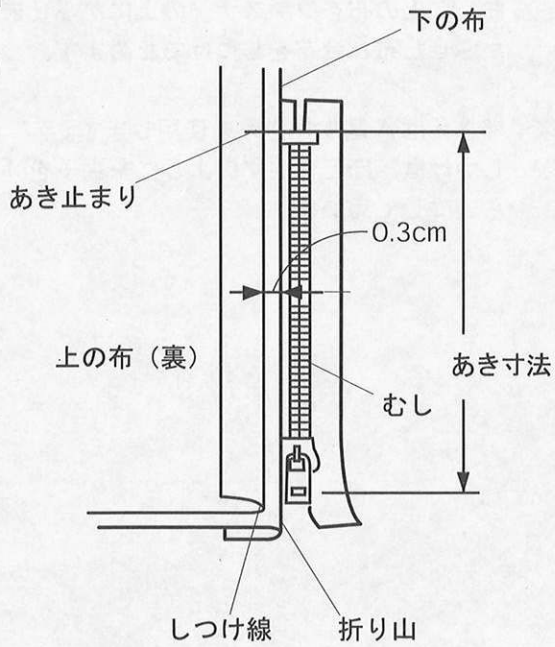


② 地ぬいとしつけをします。
布を中表に合わせて、あき止まりまで地ぬいをします。
※ 地ぬいの部分は A: 基本押さえを使ってぬいます。

③ あき部分は、ぬい目のあかさ 0.5cm でしつけをします。
※ しつけは、ほどこきやすいように糸調子を「1」くらいにしてぬいます。

【3】

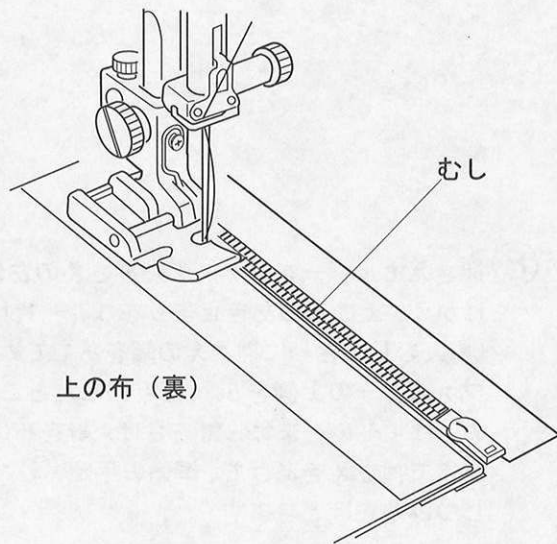
④



【3】ぬい方

④ ぬいしろを割り、下の布のぬいしろを0.3cm出してアイロンで折り目をつけ、折り山をむしのきわにあてます。

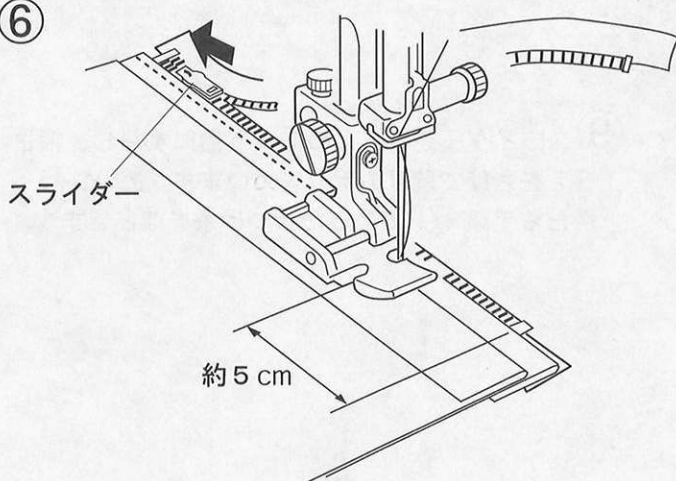
⑤



⑤ 押さえホルダーをファスナー押さえの右側にセットして、むしのきわに押さえの端をあてて、あき止まりからぬいます。

※ ぬい始めのほつれ止めは、数針返しぬいをします。

⑥

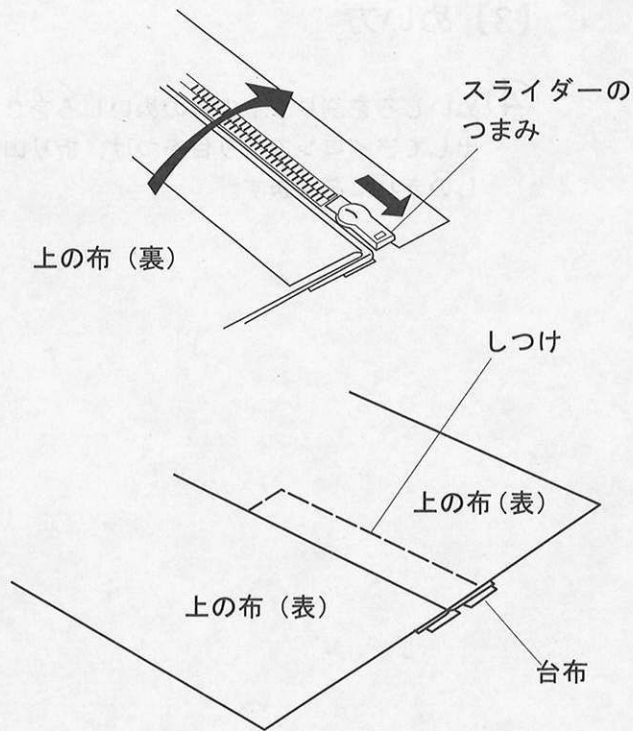


⑥ ファスナーの端から約5cmほど手前でミシンを止め、針を布にさします。

押さえをあげてスライダを押さえの向こう側にずらし、押さえをさげて残りの部分をぬいます。

※ ぬい終わりのほつれ止めは、数針返しぬいをします。

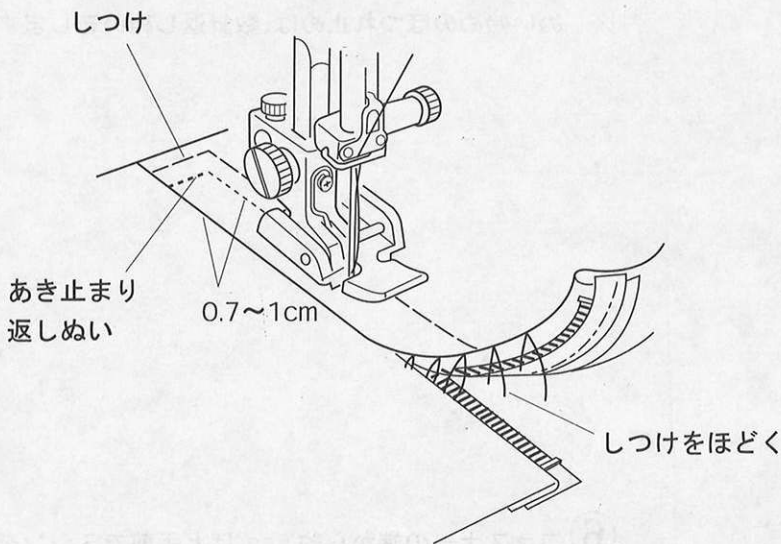
⑦



⑦ ファスナーをとじ、スライダ－のつまみを上にたおし、上の布をファスナーの上にかぶせます。かぶせた布と台布をしつけで止めます。

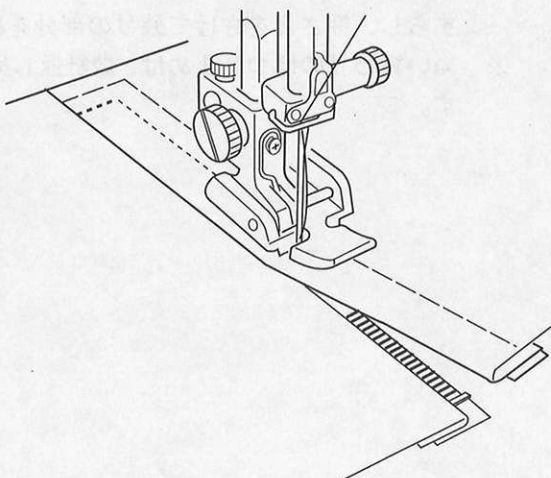
- ※ 押さえはA:基本押さえを使用します。
- ※ しつけは、ほどこしやすいように糸調子を「1」くらいにしてぬいます。

⑧



⑧ 押さえホルダーをファスナー押さえの左側につけかえ、上の布のあき止まりを0.7~1cm返しぬいし、むしのきわに押さえの端をあててぬいます。ファスナーの上側を5cmほど残したところで止め、はずみ車をまわし針をさげ、針を布にさしたままで押さえをあげて、準備の手順③でぬったしつけ糸をほどこします。

⑨



⑨ スライダ－を押さえの向こう側にずらし、押さえをさげて残りの部分をぬいます。ぬい終わったら手順⑦でぬったしつけ糸をほどこします。

●三つ巻きぬい

01
—
○



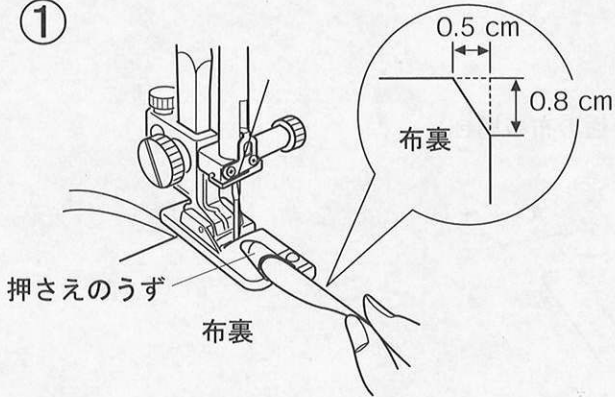
ミシンのセット

模様 01

押さえ D: 三つ巻き押さえ

糸調子 2 ~ 6

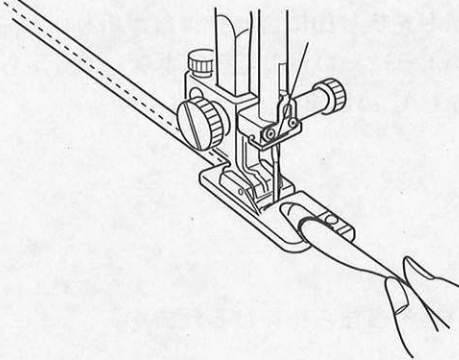
①



①

布を巻き込みやすくするため角を少し切ります。
押さえのうずの中に布が針にとどくところまで入れて、
針をさして押さえをさげます。

②



②

上糸と下糸をそろえて向こう側に引きながら、手で
はずみ車を手前に3~4回まわします。
正しく巻き込まれたら、親指と人さし指で布をつまみ、
布端を立てて、左寄りに引きぎみに持ち上げながらぬ
います。

●シェルタック

18
—
—
—



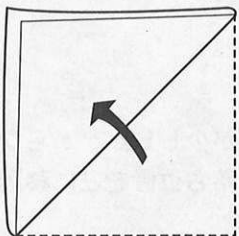
ミシンのセット

模様 18

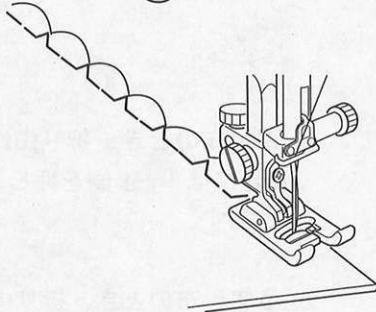
押さえ F: サテン押さえ

糸調子 6 ~ 8

①



②



①

布をバイヤスに2つ折りにします。

②

右の針落ちが布の折り山のきわにおりるように
してぬいます。

●くけぬい (まつりぬい)

16 17
 } または
 }

16

ミシンのセット

模様 16、17

押さえ G: くけぬい (まつりぬい) 押さえ

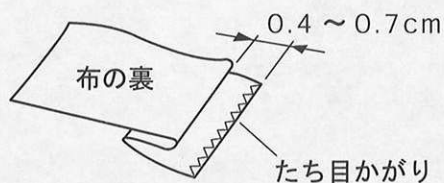
糸調子 1 ~ 4

※伸縮性のある布をぬうときは、模様# 17 を選びます。

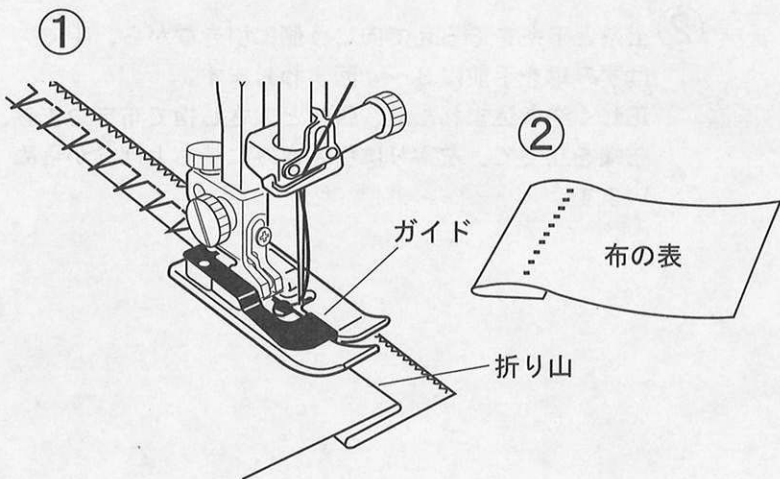
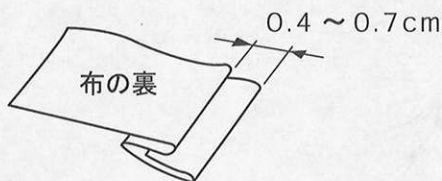
※模様# 16、# 17 はぬい目の幅は変化せず、ガイドからの針落ち位置がかわります。

【布の折り方】

(厚い布の場合)

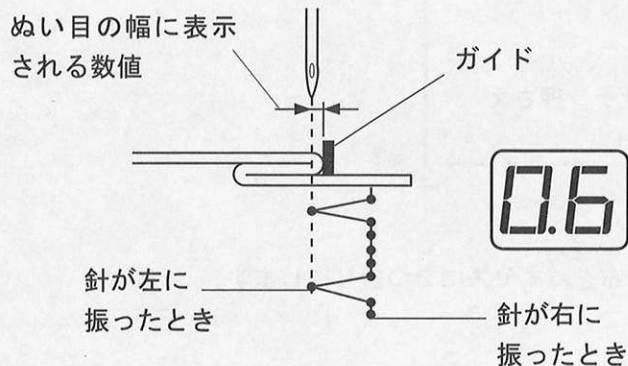


(うすい布、普通の布の場合)



① ガイドを折り山に合わせ、針が折り山から外れないようにぬい目の幅調節ボタンで針落ち位置を調節してぬいます。

② ぬい終わったら布をひろげます。

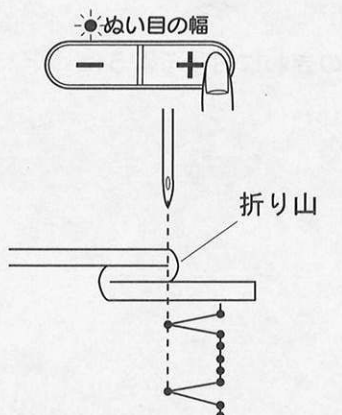


【針落ち位置をかえたいとき】

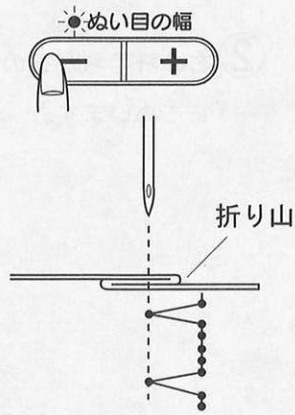
「ぬい目の幅調節ボタン」を押します。
 ぬい目の幅表示部の数値は、G: くけぬい押さえのガイドと、左側ぬい目との距離を示します。

※ 厚い布のとき、折り山に針が少ししかかからないときには「+」側を押し、針落ち位置を左に移動させます。

※ うすい布のとき、折り山に針がかかりすぎるときには「-」側を押し、針落ち位置を右に移動させます。









(折り山に針が少ししかかからないとき針落ち位置を左に移動)



(折り山に針がかかりすぎるとき針落ち位置を右に移動)

◎実用ぬい2

●ボタンホールの種類と用途

<p>21 </p> <p>スクエアボタンホール 普通の布から厚い布まで一般的な使用目的のボタンホールです。</p>	<p>24 </p> <p>キーホールボタンホール 普通の布から厚い布に使われる一般的なボタンホールです。 大きく厚めのボタンはキーホールボタンホールがよく使われます。</p>
<p>22 MEM </p> <p>スクエアボタンホール (メモリーボタンホール) 普通の布から厚い布まで一般的な使用目的のボタンホールです。 ※R: オートマチックボタンホール押さえを使用できない場所のボタンホールぬいに使います。(42ページをごらんください。)</p>	<p>25 </p> <p>ニットボタンホール 伸縮性のある布に適したボタンホールです。 そのぬい目の形から飾りボタンホールとしても使えます。</p>
<p>23 </p> <p>片ラウンドボタンホール 普通の布からうすい布に使います。 ブラウス、子供服でよく使われます。</p>	<p>26 </p> <p>ニットボタンホール ニットに適したボタンホールです。 そのぬい目の形から飾りボタンホールとしても使えます。</p>

※メモリーボタンホールをのぞくボタンホールは、R: オートマチックボタンホール押さえにボタンをセットするだけで、自動的に最適なボタンホールをぬうことができます。

※ボタンの直径 1.0 ~ 2.5cm までのボタンホールができます。

※伸縮性のある布には、裏に伸びにくい芯地を貼ります。

※必ず、試しぬいをして正しくぬえることを確認してください。

※模様# 21 ~ # 30 でぬい終わりに自動糸切りをセットしたい場合は、模様選択後、「糸切りボタン」を長く押し、糸切り LED を点灯させ、糸切り記憶させます。

●スクエアボタンホール

21

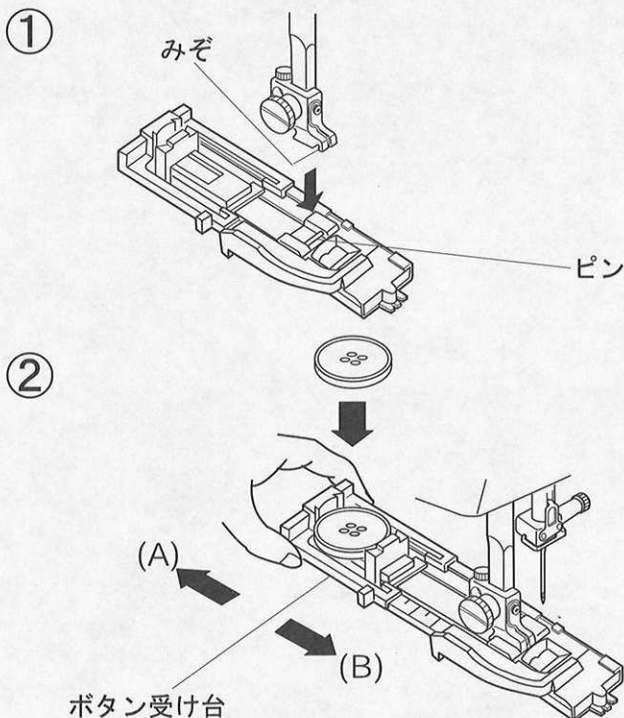



ミシンのセット

模様 21

押さえ R: オートマチックボタンホール押さえ

糸調子 1 ~ 5

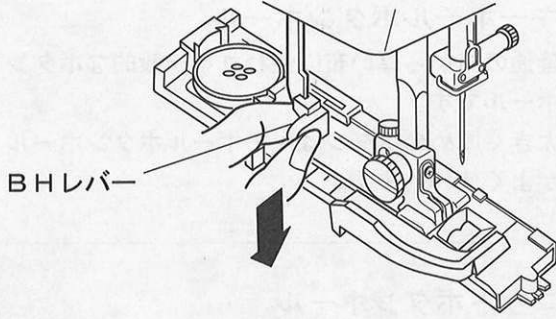


- ① 「上下停針ボタン」を押して針をあげ、押さえをあげます。
 押さえホルダーのみぞと押さえのピンを合わせ、押さえをさげてセットします。

- ② ボタン受け台を (A) の方向へ引き、ボタンを乗せて (B) 方向にもどしてはさみ込みます。

※ ボタン受け台のすきまをあけて位置決めをすると、その分大きいボタンホールができます。

③



③ BHレバーを止まるまでいっぱい引きさげます。

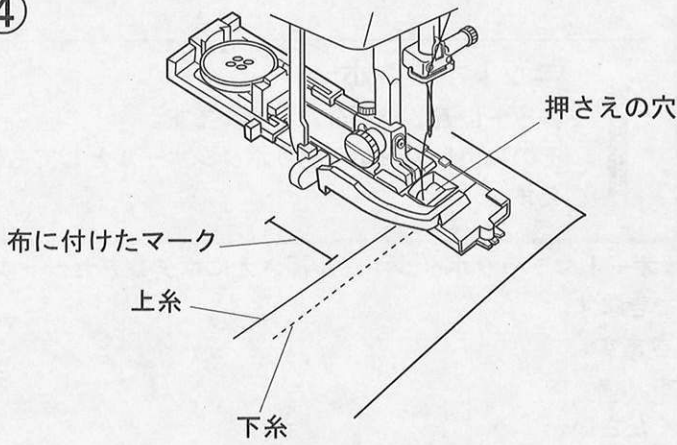
※ BHレバーをさげないでボタンホールをぬうと



表示され、ミシンが止まります。

BHレバーを引きさげて再スタートします。

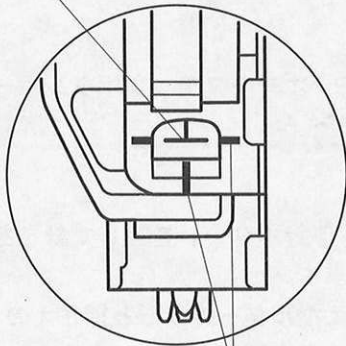
④



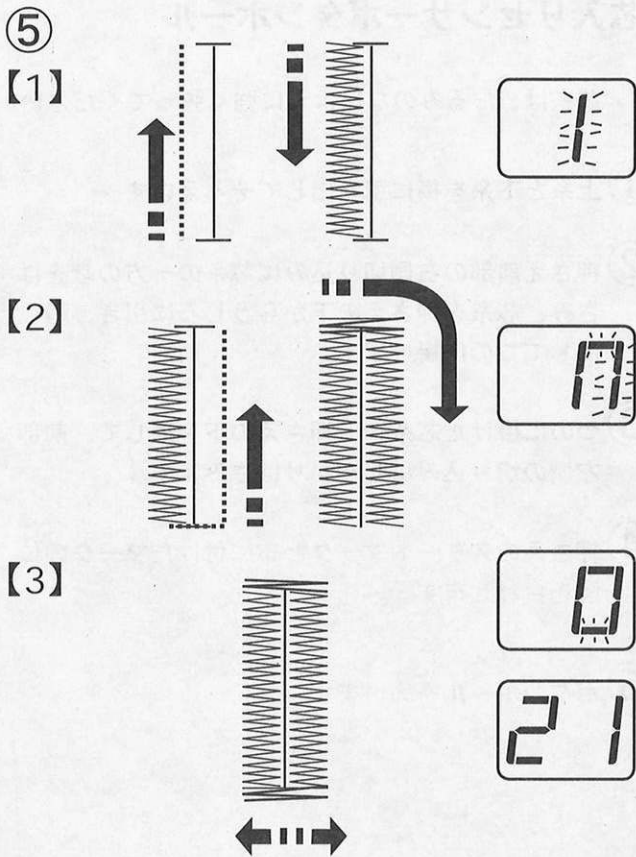
④ 押さえをあげて上糸を押さえの穴から下に通し、横に引き出して下糸とそろえます。

布を入れ、押さえのスタートマークと布に付けたマークの位置を合わせ、針をさして押さえをさげます。

布に付けたマーク



スタートマーク



- ⑤ ミシンをスタートさせます。
ボタンホールをぬい終わったところで自動的
止まります。

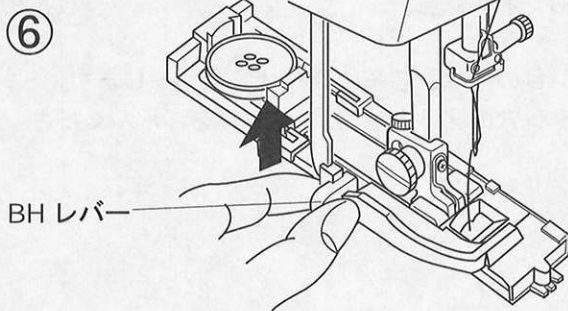
【ぬい順序】

- 【1】 第1ステップ... 下ぬいをし、左側のライン
タックをぬいます。
【2】 第2ステップ... 下ぬいのあと、かんぬきと右
側のラインタックをぬいます。
【3】 第3ステップ... かんぬきと止めぬいをして自
動的に止まります。

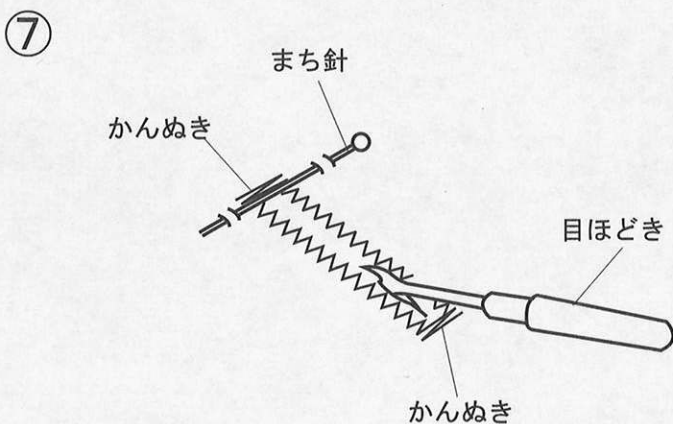
※ 引き続きスクエアボタンホールをする場合、「糸
切りボタン」を押して糸を切り、押さえをあげま
す。そのままの状態別の場所に押さえをさげ
スタートします。

★重ねぬい

ボリューム感のあるボタンホールができます。
1度目のボタンホールをぬい終わったら、押さえをさ
げたまま、スタートすると自動的に重ねぬいをしま
す。



- ⑥ ぬい終わったら、BHレバーを止まるまでいっ
ぱいに押しあげてもどしてください。



- ⑦ 片方のかんぬきの内側にまち針をわたして、目
ほどきでかがった糸を切らないようにボタン穴
を切り開きます。

★芯入りセンサーボタンホール

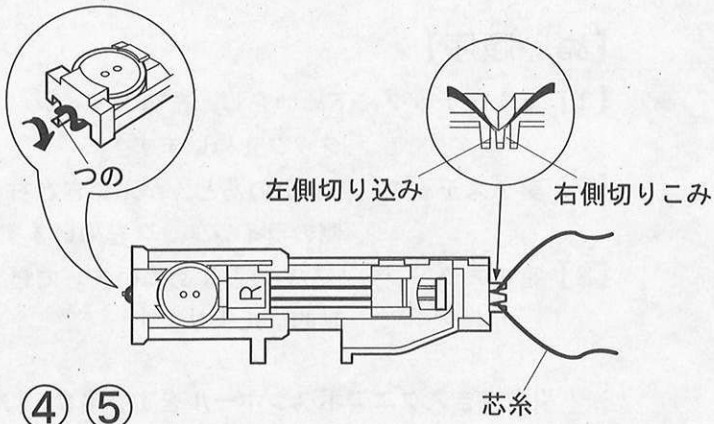
※ 芯糸は、たるみのないように強く張ってください。

- ① 上糸と下糸を横に引き出してそろえます。
- ② 押さえ前部の右側切り込みに芯糸の一方の端をはさみ、芯糸を押さえの下からうしろに引き、輪にしてつのに掛けます。
- ③ つのに掛けた芯糸を、押さえの下を通して、前部左側の切り込みにしっかりはさみます。
- ④ 押さえのスタートマークと布に付けたマークの位置を合わせます。
- ⑤ ボタンホールをぬいます。

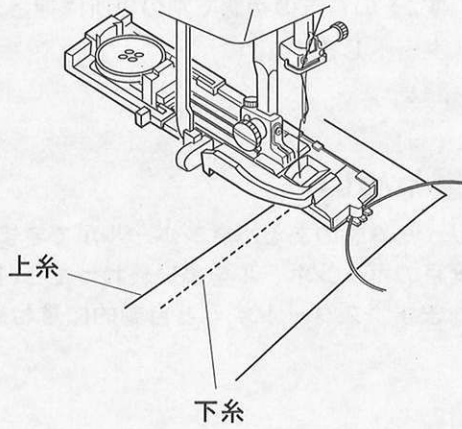
- ⑥ 左側の芯糸を引いてたるみをなくし、余分な芯糸を切ります。

※ ぬい目の幅は、芯糸に合わせてセットします。
 ※ ボタン穴の開け方は、39ページをごらんください。

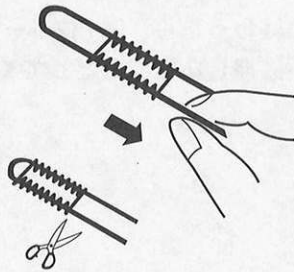
① ② ③



④ ⑤



⑥

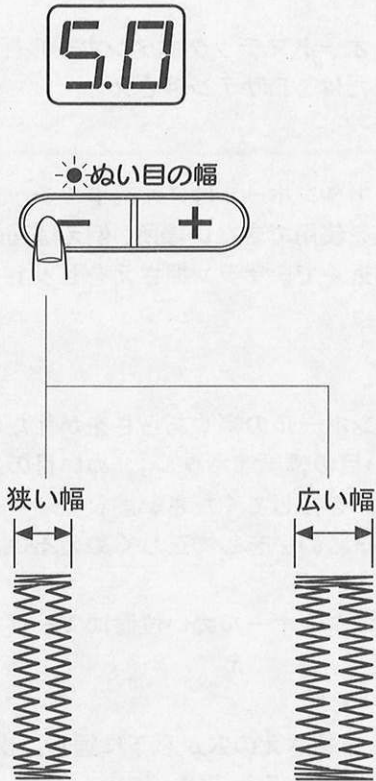


★ボタンホールの幅をかえるとき

「ぬい目の幅調節ボタン」で調節します。

「+」側を押すと幅は広がります。

「-」側を押すと幅は狭くなります。

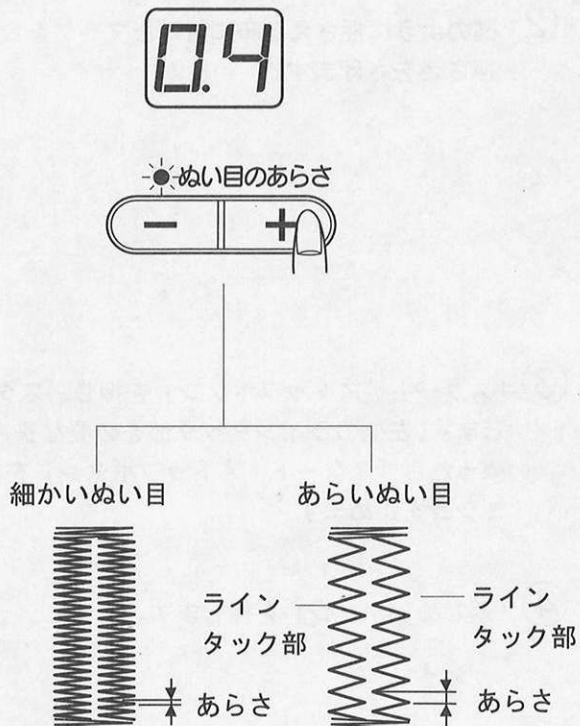


★ぬい目のあらしをかえるとき

「ぬい目のあらし調節ボタン」で調節します。

「+」側を押すとあらしはあらかくなります。

「-」側を押すとあらしは細かくなります。



※ 試しぬいをスタートしてからボタンホール幅、あらしをかえたい場合、ラインタック部で止めてから行ってください。

※ 電源を切ったときや、他の模様を選択したとき、ボタンホール幅、送りのセットはキャンセルされます。

●メモリーボタンホール

22
MEM
I

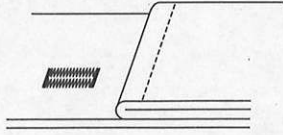
22

ミシンのセット

模様.....22

押さえ.....R: オートマチックボタンホール押さえ
または、F: サテン押さえ

糸調子.....1~5



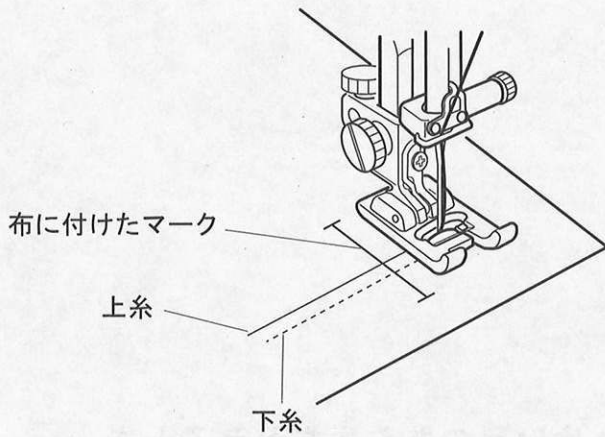
メモリーボタンホールはR:オートマチックボタンホール押さえを使用できない場所、例えば図のような厚い布の段部近くでF:サテン押さえをセットして使用します。

※ ボタンホールの幅やあらしをかえたいときは、「ぬい目の幅調節ボタン」、「ぬい目のあらし調節ボタン」を押してください。

※ 必ず試しぬいをして正しくぬえることを確認してください。

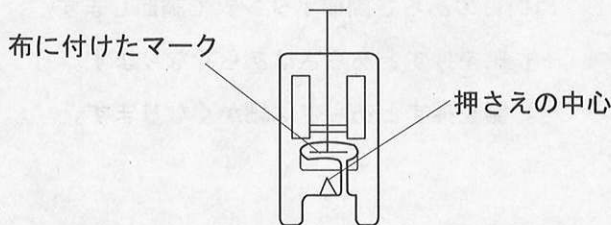
※ 布のボタンホールぬい位置にマークを付けてください。

①



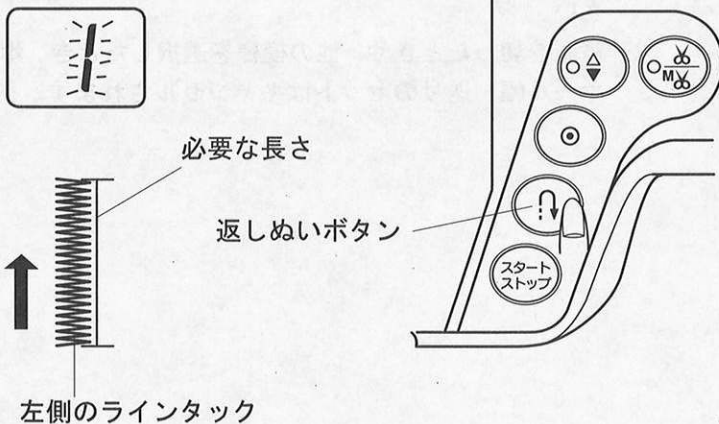
① 上糸を押さえの穴から下に通し、横に引き出して下糸とそろえます。

②



② 図のように押さえと布に付けたマークを合わせ、押さえをさげます。

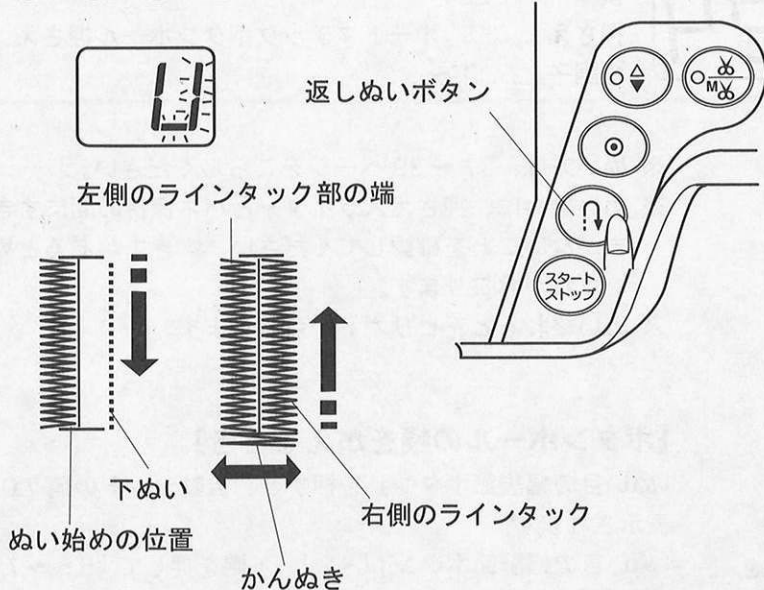
③ ④



③ 「スタート/ストップボタン」を押し、スタートします。左側のラインタック部を必要な長さまでぬったら「スタート/ストップボタン」を押し、ミシンを止めます。

④ 「返しぬいボタン」を押します。

⑤ ⑥ ⑦ ⑧

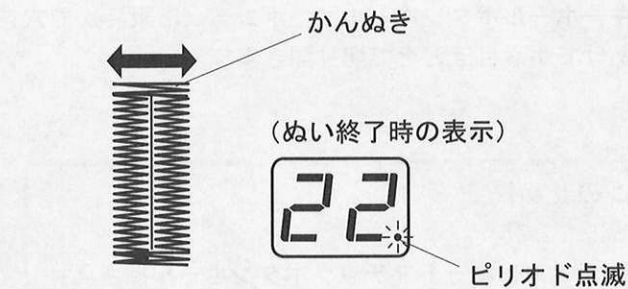
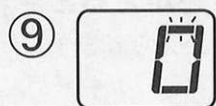


⑤ 「スタート/ストップボタン」を押し、スタートします。
右側のラインタック部の下ぬいをします。ぬい始めの位置にもどったら「スタート/ストップボタン」を押し、ミシンを止めます。

⑥ 「返しぬいボタン」を押しします。

⑦ 「スタート/ストップボタン」を押し、スタートします。かんぬきと右側ラインタック部をぬいます。
左側のラインタック部の端までぬったら「スタート/ストップボタン」を押し、ミシンを止めます。

⑧ 「返しぬいボタン」を押しします。



⑨ 「スタート/ストップボタン」を押し、スタートします。
かんぬきと止めぬいをし、自動的に止まります。

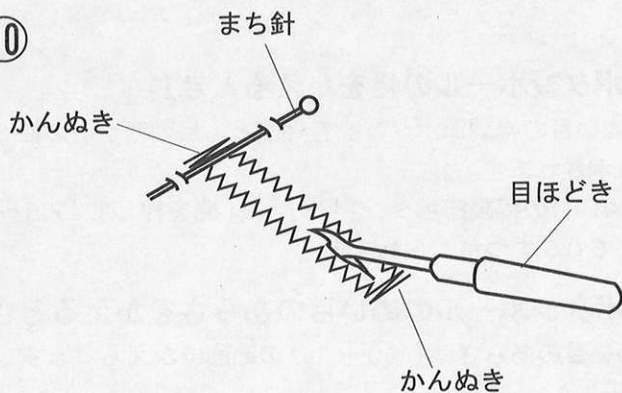
(2度目のぬい表示)



※ 引き続きメモリーボタンホールをぬう場合、ミシンは1度ぬったボタンホールの大きさを記憶しています。ミシンをスタートすると2度目からは同じ大きさのボタンホールが自動的にできます。

※ 異なる大きさのボタンホールをぬうときには記憶ボタンを押し、ピリオドを消してから手順①～⑨を行って新しい大きさを記憶します。

⑩



⑩ 片方のかんぬきの内側にまち針をわたして、目ほどきでかがった糸を切らないように切り開きます。

●キーホールボタンホール

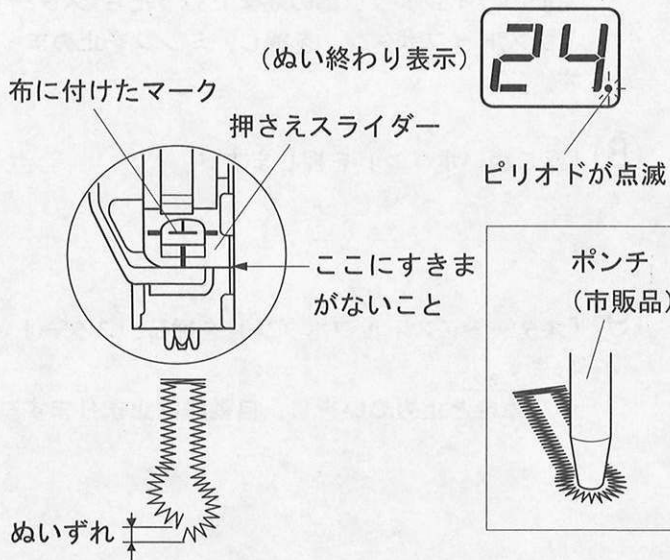
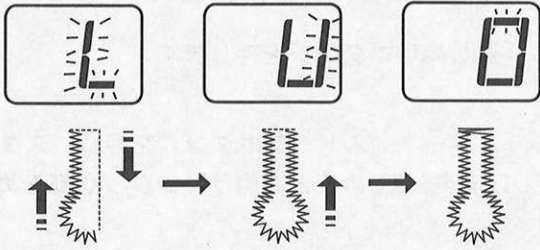
24


24

ミシンのセット

模様 24

押さえ R: オートマッチックボタンホール押さえ
 糸調子 1 ~ 5



※ ぬい方は、37 ~ 39 ページをごらんください。

※ ぬい始めに、押さえスライダとバネ保持の間にすきまがないことを確認してください。すきまがあるとぬいずれがおこります。

※ ぬい終わると、ピリオドが点滅します。

【ボタンホールの幅をかえるとき】

「ぬい目の幅調節ボタン」を押すと、自動セットの値 7.0 が表示されます。

「ぬい目の幅調節ボタン」「+」「-」側を押して「5.5 ~ 7.0」まで 0.5 ずつかえられます。

【ボタンホールのぬい目のあさをかえるとき】

ぬい目のあさは 0.30 ~ 1.0 の範囲でかえられます。

※ キーホールボタンホールは、ポンチ (市販品) で穴をあけてから目ほどこきで切り開きます。

●ニットボタンホール

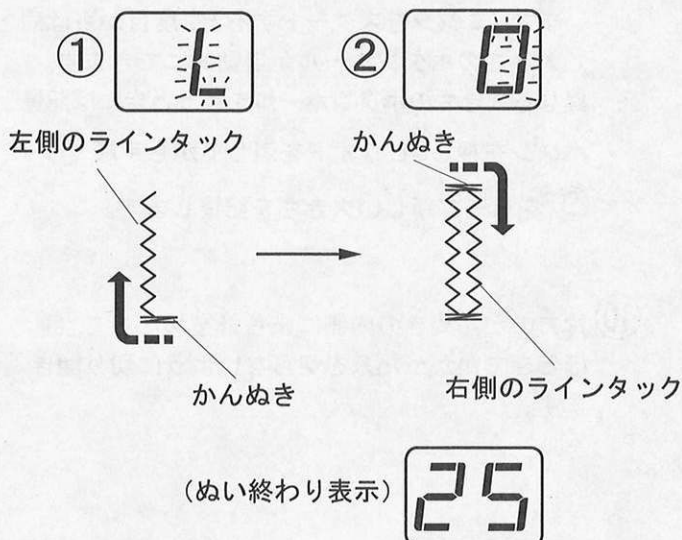
25


25

ミシンのセット

模様 25

押さえ R: オートマッチックボタンホール押さえ
 糸調子 1 ~ 5



【ぬい順序】

① 左側のラインタック部とかんぬきをぬいます。

② かんぬきと右側のラインタック部をぬい、止めぬいをして自動的に止まります。

※ ぬい終わると、模様番号が表示されます。

【ボタンホールの幅をかえるとき】

「ぬい目の幅調節ボタン」を押すと、自動セットの値 5.0 が表示されます。

「ぬい目の幅調節ボタン」「+」「-」側を押して「2.5 ~ 7.0」まで 0.5 ずつかえられます。

【ボタンホールのぬい目のあさをかえるとき】

ぬい目のあさは 0.50 ~ 1.0 の範囲でかえられます。

※ 左右のぬい目あさがそろわないときは「模様の形の整え方」(63 ページをごらんください。)

●セツパぬい

27



27

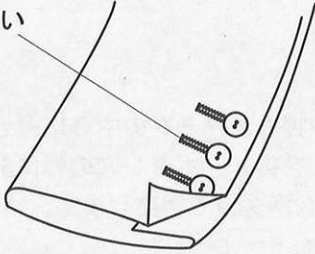
ミシンのセット

模様.....27

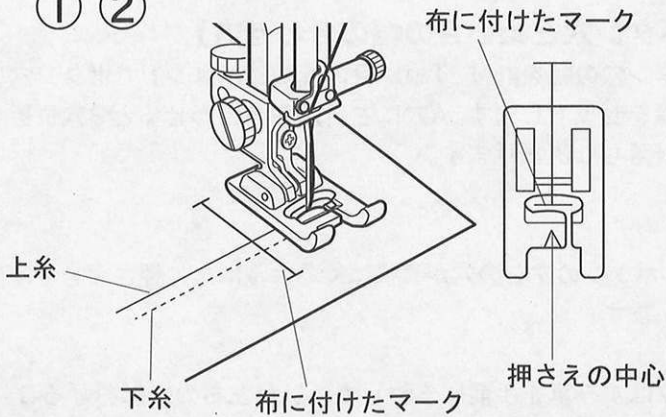
押さえ.....F: サテン押さえ

糸調子.....1~5

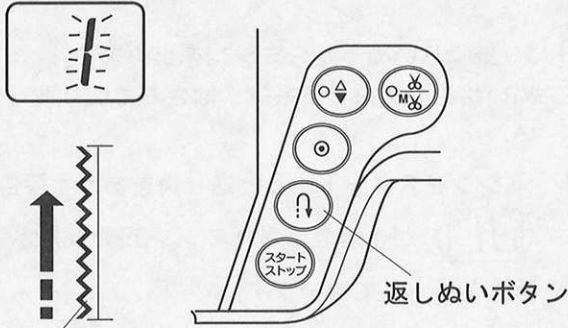
セツパぬい



① ②

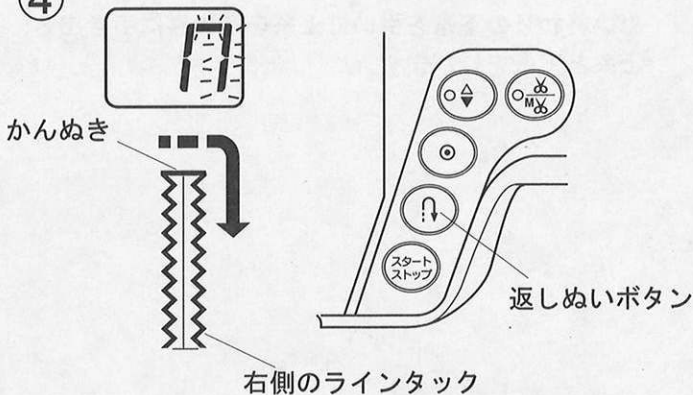


③



左側のラインタック

④



右側のラインタック



(ぬい終わり表示)

ピリオドが点滅



(2度目のぬい表示)

セツパぬいは、ジャケットの袖の部分、あきみせ袖になっているものにボタンホールに見立てた模様を付けるときに利用します。

※ 必ず試しぬいをして正しくぬえることを確認してください。

※ 布のぬい位置にマークを付けてください。

① 上糸を押さえの下に通し、横に引き出して下糸とそろえます。

② 図のように押さえと布に付けたマークを合わせます。

③ 左側のラインタック部を必要な長さまでぬったら止めて、「返しぬいボタン」を押します。

④ ミシンをスタートさせてかんぬきと右側のラインタック部をぬいます。ぬい始めの位置にもどったら止めて「返しぬいボタン」を押します。

再びミシンをスタートすると、止めぬいをして自動的に止まります。

※ ぬい終わると、ピリオドが点滅します。

※ 引き続きぬう場合、ミシンは1度ぬった模様を記憶しています。

ミシンをスタートすると2回目からは同じ大きさのぬいが自動的にできます。

※ 異なる大きさの模様をぬうときには「記憶ボタン」を押し、ピリオドを消してから新しい大きさを記憶します。

●ボタン付け

07
M

07

ミシンのセット

模様 07

押さえ F: サテン押さえ

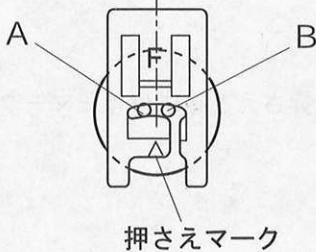
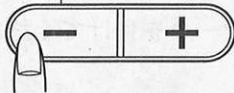
糸調子 3 ~ 7

※送り歯をさげます。
(22 ページをごらんください。)

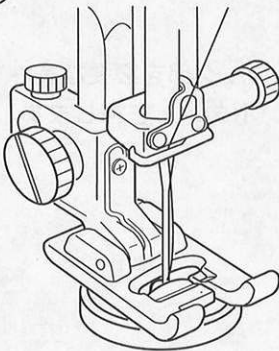
①

5.0

●ぬい目の幅

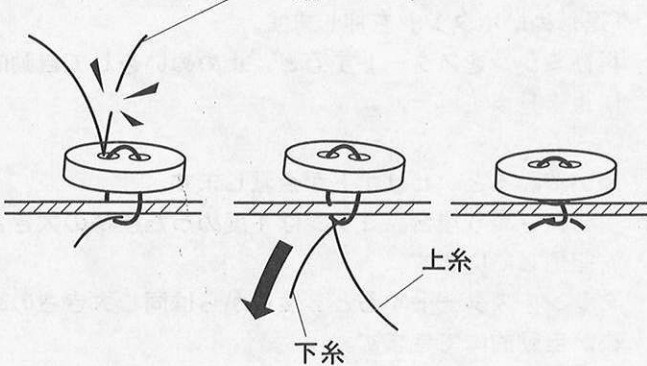


② ③ ④



⑤

ぬい始めの上糸



- ① ボタンをサテン押さえマークの中心に置き「ぬい目の幅調節ボタン」を押し、ボタン穴の幅に針がおりるように「-」「+」ボタンで調節します。

【ボタン穴とぬい目の幅の合わせ方】

ボタン穴の幅を計り、「ぬい目の幅調節ボタン」でボタン穴の幅をセットします。A穴に左針落ちを合わせるとB穴位置の針落ちは決まります。

- ② ボタンの左右の穴が真横にくるようにして押さえをさげます。

- ③ はずみ車を手前にまわして、針が左右の穴におりることを確かめます。

- ④ 10針くらいぬったらミシンを止めます。

※ ぬい始めの上糸と下糸は、はさみで切り取ってください。

※ ミシンをスタートすると送り歯をあげる警告画面 (DL) が1度表示されミシンが動きません。再スタートしてぬいます。

- ⑤ 押さえをあげて布を引き出し、上糸と下糸を10cmくらい残して切ります。ぬい終わりの下糸を引いて上糸を布の裏に引き出し、上糸と下糸を結びます。

ダーニング

28



28

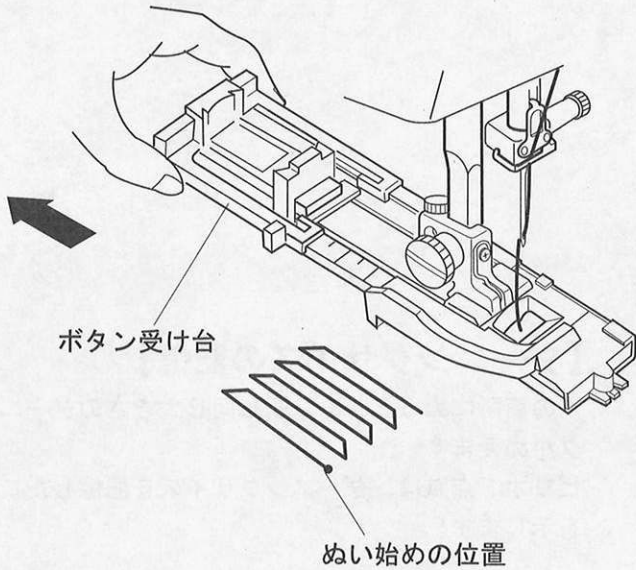
ミシンのセット

模様 28

押さえ R: オートマチックボタンホール押さえ

糸調子 3 ~ 6

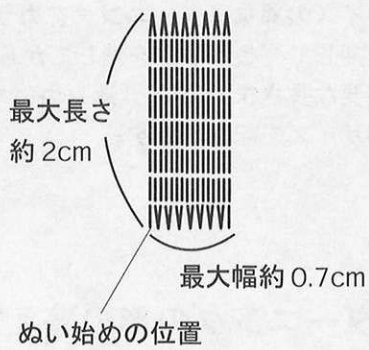
① ②



① ボタン受け台をいっぱい引き出します。

② 上糸を押さえの穴から下に通し、横に引き出して下糸とそろえます。

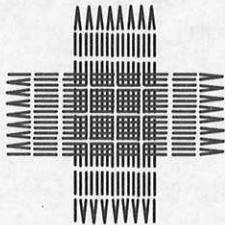
③



③ ぬい始めの位置に針をさし、押さえをさげ自動的に止まるまでぬいます。

※ 1回のぬいで、最大長さ約 2cm、最大幅約 0.7cm までぬえます。

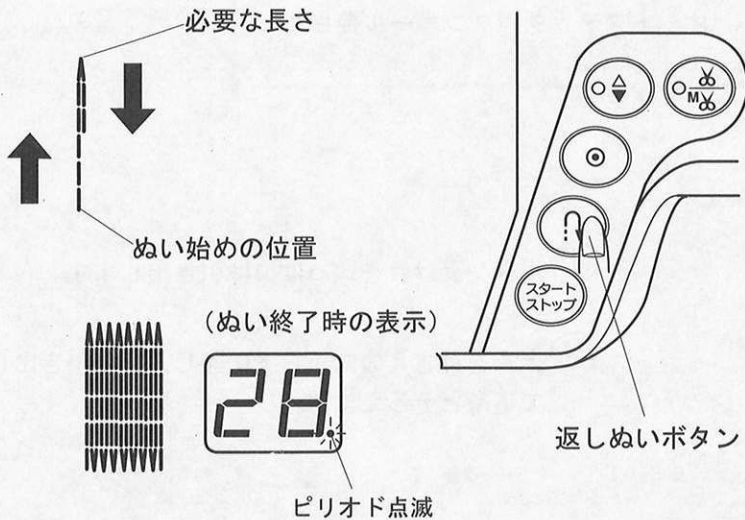
④



④ 布の向きをかえてくり返しぬいます。

【2cmより短い長さでぬう場合】

最初に必要な長さまでぬい、「返しぬいボタン」を押して、自動的に止まるまでぬいます。



【ダーニングサイズの記憶】

別の箇所にもうと、くり返し同じ大きさのダーニングがぬえます。

ピリオド点滅は、ダーニングサイズを記憶したことを示します。

【ダーニングサイズの変更】

サイズの異なるダーニングをぬう場合、「記憶ボタン」を押して、ピリオドを消してからスタートします。必要な長さまでぬい、「返しぬいボタン」を押して新しいサイズを記憶します。

【ダーニングの形の整え方】

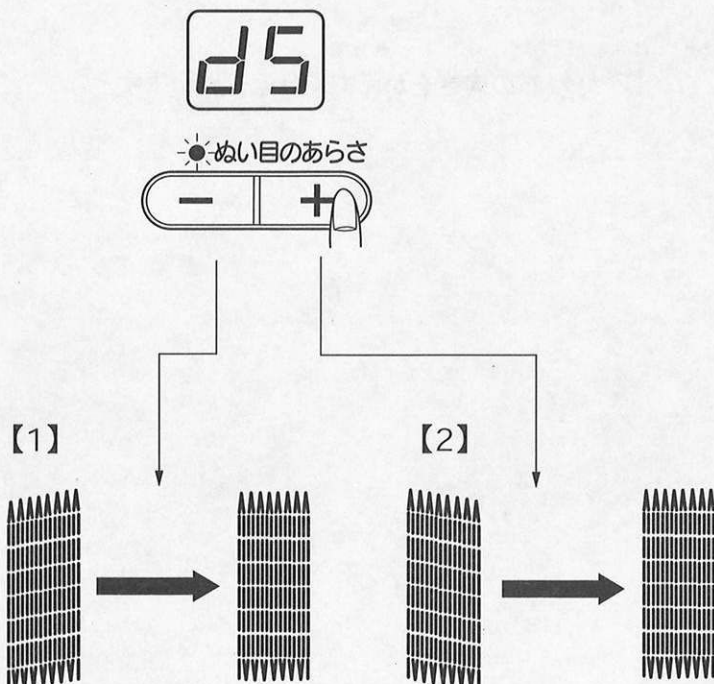
ダーニングのぬい始め（左側）と、ぬい終わり（右側）の高さがそろわないときは、「ぬい目のあらし調節ボタン」を押します。

自動セットの「d5」が表示されます。

【1】左側が低いとき「-」側を押します。

【2】右側が低いとき「+」側を押します。

「d1」～「d9」の範囲で調節してください。



●かんぬき止め

29



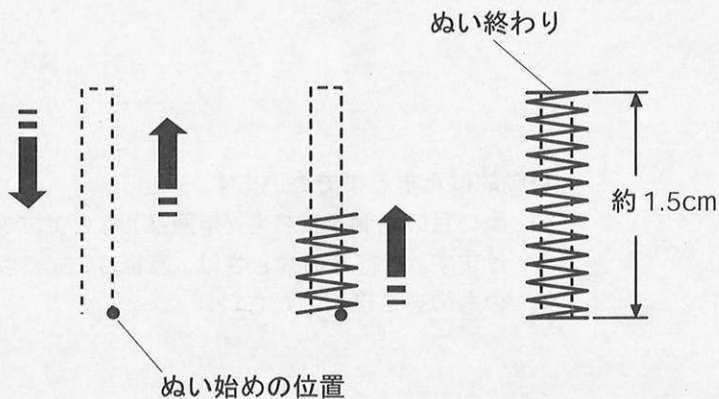
29

ミシンのセット

模様 29

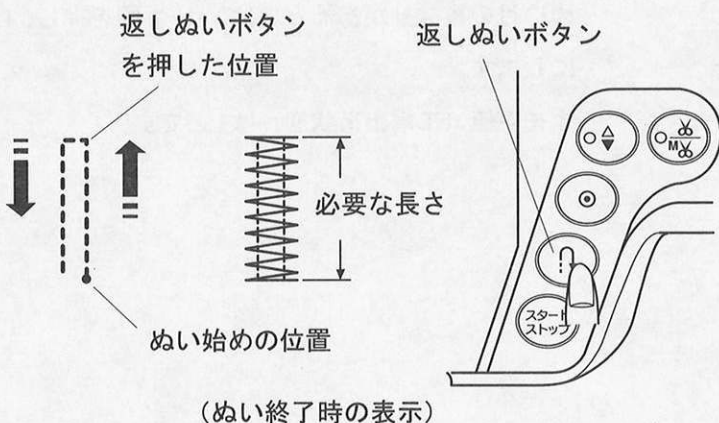
押さえ F: サテン押さえ

糸調子 3 ~ 6



ぬい目に力がかかって、ほつれやすい部分などに使うと、ぬい目がしっかりします。

1回のぬいで、オート値で約 1.5cm が自動的にぬえます。



(ぬい終了時の表示)



ピリオドが点滅

【1.5cm より短い長さでぬう場合】

必要な長さまでぬい、「返しぬいボタン」を押すと、その長さが決まります。

【かんぬき止めサイズの記憶】

別の箇所にぬうと、くり返し同じ長さのかんぬき止めがぬえます。

ピリオド点滅は、かんぬき止めサイズを記憶したことを示します。

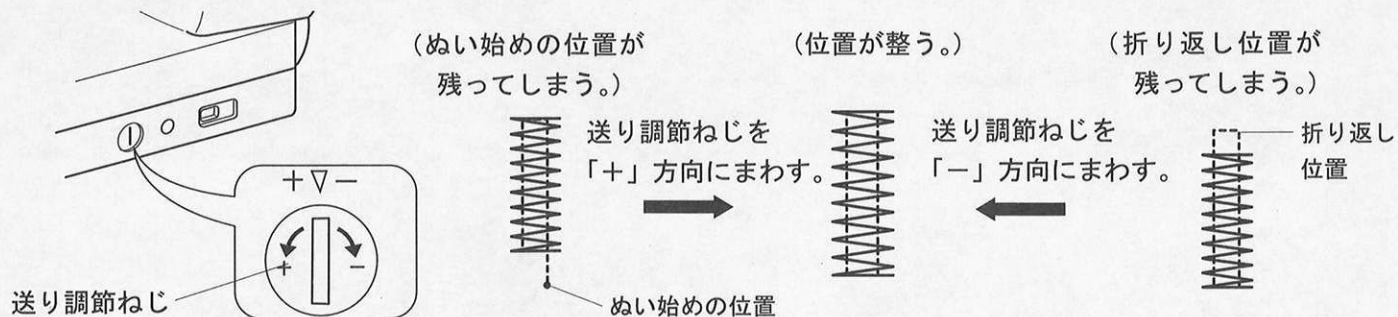
【かんぬき止めサイズの変更】

サイズの異なるかんぬき止めをぬう場合、「記憶ボタン」を押してピリオドを消し、スタートします。

必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押して新しいサイズを記憶します。

【模様位置ずれの整え方】

模様の位置がずれる場合には、実際にぬうときと同じ条件で試しぬいをしながら、送り調節ねじで調節してください。



注意： 送り調節ねじを使ったあとは、必ず、送り調節ねじをもとの位置にもどしてください。スーパー模様または、ニットボタンホールの形がくずれることがあります。調節方法は63ページをごらんください。

●アイレット

30



30

ミシンのセット

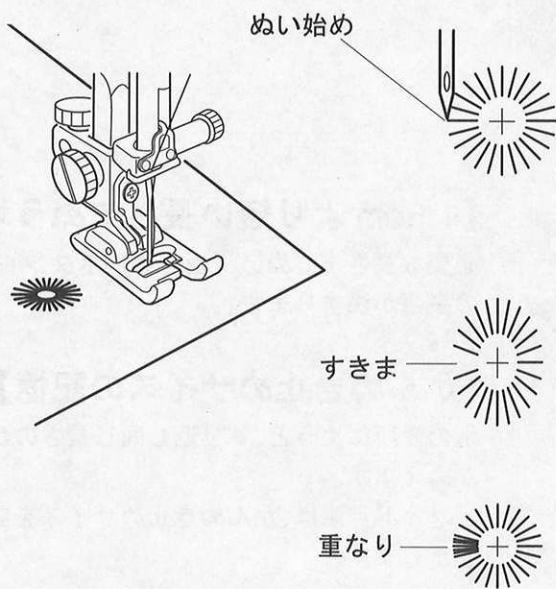
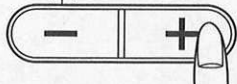
模様 30

押さえ F: サテン押さえ

糸調子 1 ~ 4

L2

ぬい目のあらかさ



自動的に止まるまでぬいます。

※ ぬい目の内側を目打ち（市販品）などで穴をあけます。目打ちの大きさは、直径0.25cm以下のものをご使用ください。

【アイレット形状の修正】

「ぬい目のあらかさ調節ボタン」を押すと、マニュアル調節画面「L2」が表示されます。布によってアイレットの形がくずれるときに調節します。

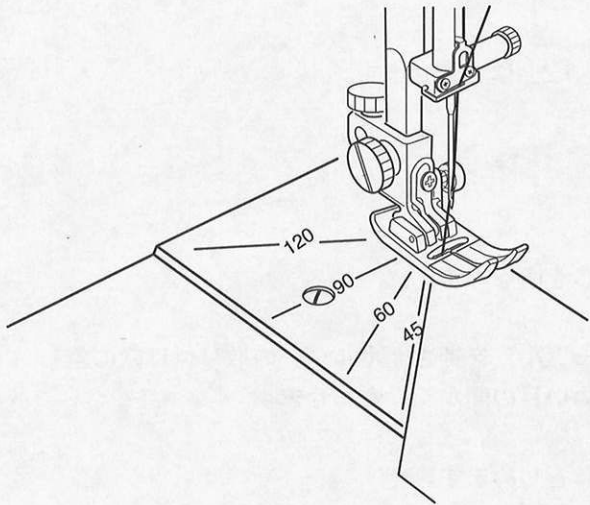
ぬい目にすきまがあるときは、「-」側を押し、L1にします。

ぬい目の重なりがあるときは、「+」側を押し、L3にします。

オート値（工場出荷状態）はL2です。

◎パッチワークキルト

●針板角度目盛りの利用



パッチワーク布片の形状により針板の角度目盛りに布端を合わせると、印なしでぬえます。

●地ぬい

01



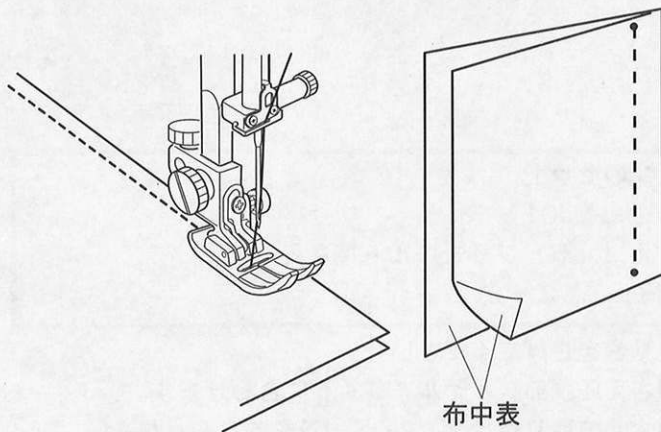
ミシンのセット

模様 01

押さえ A : 基本押さえ、または


O : パッチワークキルト押さえ(オプション)

糸調子 2 ~ 6



パッチワーク布片を中表に合わせぬい代を0.6~0.7cmとりはぎ合わせます。

※オプションのパッチワークキルト押さえを使用するとぬい代が自動的に決まりますので便利です。

※自動返しぬい付き模様  を使用すると便利です。

布中表

●パッチワーク

31



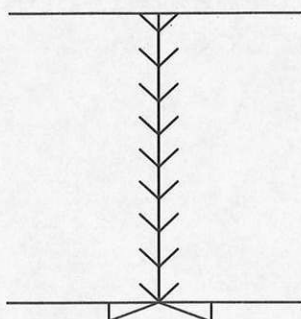
ミシンのセット

模様 31

押さえ F: サテン押さえ

糸調子 1 ~ 4

※その他、模様は# 32 ~ 34 などを使用ください。



布の表から地ぬいの線を中心にしてぬいます。

●とじぬい (ワンサイクルぬいの例)

35
*
*

35

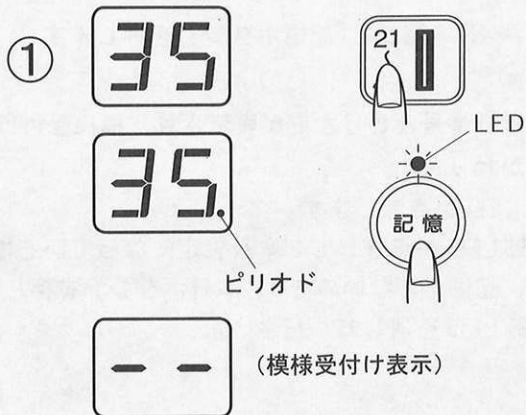
ミシンのセット

模様 35

押さえ F: サテン押さえ

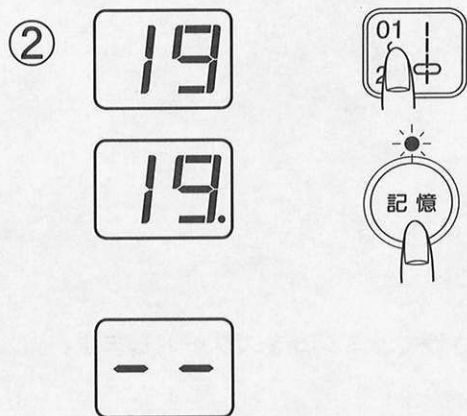
糸調子 3 ~ 6

※押さえ圧調節ダイヤルを「2 ~ 3」に合わせます。



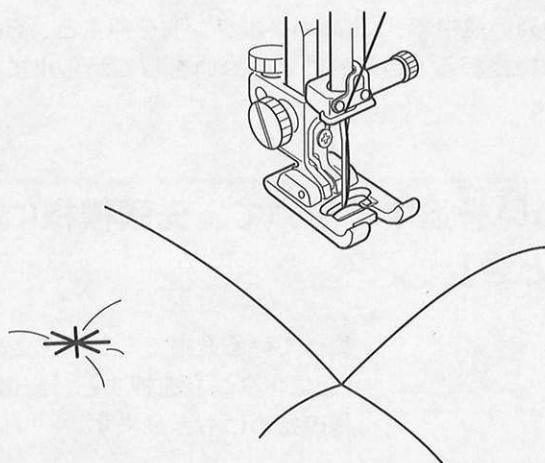
厚みのあるキルト綿で、キルトをとじる場合などに使用します。

- ① 模様# 35 を選んで、「記憶ボタン」を押します。
- ※ 記憶模様番号とピリオドが表示され、模様受け表示にかわります。
- ※ 記憶模様を入力、編集できることを示すため、記憶LEDが点滅します。



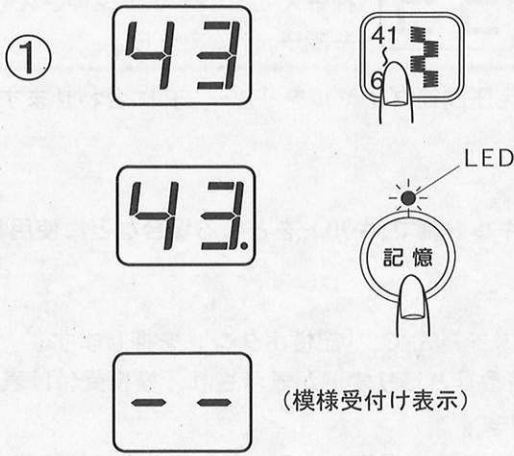
- ② 模様# 19 (止めぬい記憶) を選び、「記憶ボタン」を押します。
- ※ 止めぬい記憶後は、模様を記憶することはできません。

- ③ 押さえをさげて、ミシンをスタートします。模様を1つぬって自動的に止まります。



◎飾りぬい

●組み合わせ（記憶）連続模様ぬいの例



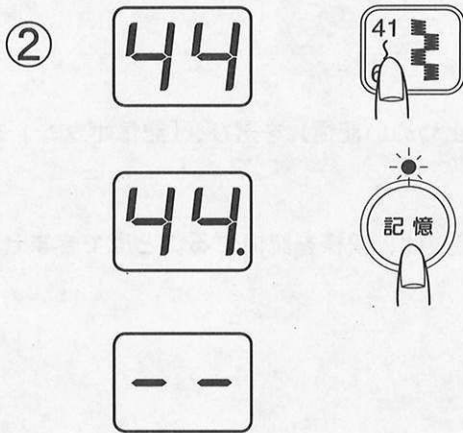
例. 模様# 43、# 44 の組み合わせ

① 模様# 43 を選び、「記憶ボタン」を押します。

※ 記憶模様番号とピリオドが表示され、模様受付け表示にかわります。

※ 記憶LEDが点滅します。

※ 2本針LEDが点灯して2本針設定になっている場合には、記憶できないので「2本針ボタン」を押して、2本針LEDを消してください。



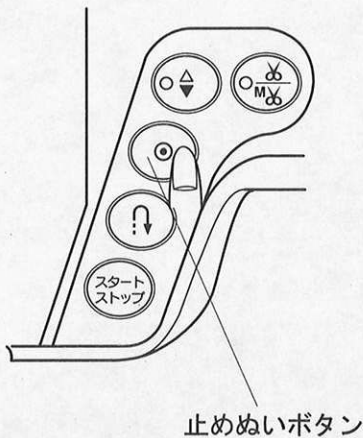
② 模様# 44 を選び、「記憶ボタン」を押します。

③ ミシンのセット
 押さえ F: サテン押さえ
 糸調子 1 ~ 4
 押さえ圧 3

③ 押さえをさげて、ミシンをスタートします。

【ぬい終わり】

模様のぬい途中で、「止めぬいボタン」を押すと、その模様をぬい終わると自動的に止めぬいをしてから止まります。



【記憶ぬいを途中でやめて、先頭模様にもどるとき】

ぬっている途中でミシンを止め、「記憶ボタン」を押すと、記憶模様の始めにもどります。

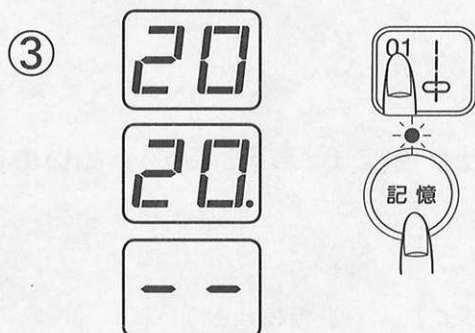
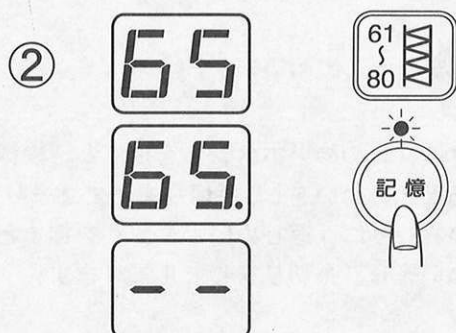
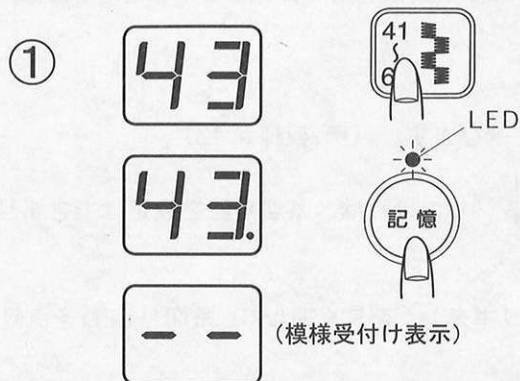


1 ミシンを止めた位置

2 記憶ボタンを押します。

3 ミシンをスタートすると、記憶した先頭模様からぬいます。

●自動糸切り記憶例



- ④ ミシンのセット
 押さえ F: サテン押さえ
 糸調子 1~4
 押さえ圧 3



例. 模様# 43、# 65、# 20の組み合わせ

- ① 模様# 43を選び、「記憶ボタン」を押します。

※ 記憶模様番号とピリオドが表示され、模様受付け表示にかわります。

※ 記憶LEDが点滅します。

- ② 模様# 65を選び、「記憶ボタン」を押します。

- ③ 模様# 20を選び、「記憶ボタン」を押します。

糸切りLEDが点灯します。

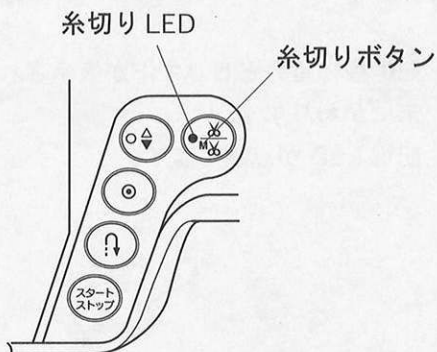
- ④ 押さえをさげて、ミシンをスタートします。

※ ぬい終わりは、自動的に止めぬいをしたのち、糸切りをして止まります。

①



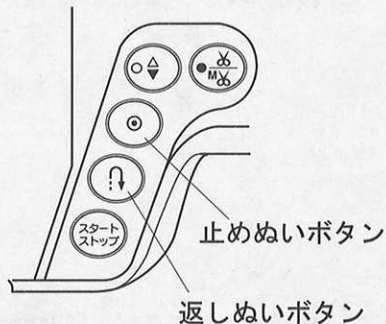
②



③



④



【その他の自動糸切り】

連続模様ぬい(模様を組み合わせしないとき)の自動糸切り

① 模様を選びます。(例.模様#43)

※ 模様 $\begin{matrix} 06 \\ | \\ \text{巾} \end{matrix}$ (しつけ) は、糸切り記憶設定はできません。

② 「糸切りボタン」を長く押して、糸切りLEDを点灯させます。

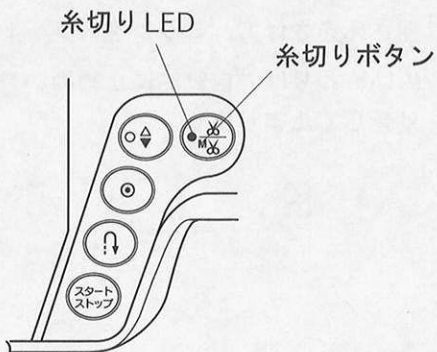
③ ミシンをスタートしてぬいます。

④ ぬい終わりに「止めぬいボタン」を押すと、模様を完成させたあと止めぬいをし、糸切りをして止まります。また、ぬい終わりに「返しぬいボタン」を押すと、すぐに止めぬいをし、糸切りをして止まります。

①



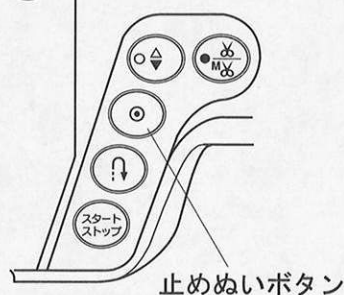
②



③



④



直線、ジグザグ模様 ($\begin{matrix} 01 & 02 & 07 & 08 & 09 & 10 \\ | & | & \text{M} & \text{M} & \text{M} & \text{M} \\ \text{巾} & \text{巾} & & & & \end{matrix}$) ぬいの自動糸切り

① 模様を選びます。(例.模様#01)

※ 模様 $\begin{matrix} 06 \\ | \\ \text{巾} \end{matrix}$ (しつけ) は、糸切り記憶設定はできません。

② 「糸切りボタン」を長く押して、糸切りLEDを点灯させます。

③ ミシンをスタートしてぬいます。

④ ぬい終わりに「止めぬいボタン」を押すと、数針止めぬいをし、糸切りをして止まります。

※ 自動糸切りを取り消す方法は3つあります。

- 1 「とりけしボタン」を押す方法。
- 2 他の模様を選ぶ方法。
- 3 「糸切りボタン」を長く押して取り消す方法です。点灯している糸切りLEDは消えます。

●エロンゲータぬい

43



43

ミシンのセット

模様 43

押さえ F: サテン押さえ

糸調子 1 ~ 4

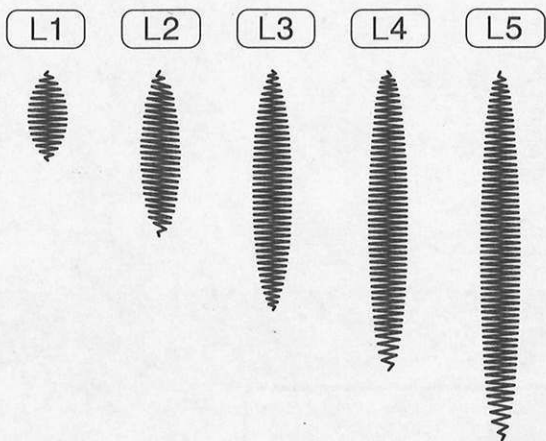
41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55

※模様は、 が使えます。

※エロンゲータぬいとは、密着模様を使い、ぬい目の幅、あらかさは同じままで模様の長さをかえてぬうことです。



LED



例. 模様 # 43

① 模様 # 43 を選びます。

② 「もようのながさボタン」を押すごとに、模様長さは1~5倍でかえられます。

※ もようのながさLEDが点灯します。

※ ぬい目の幅、あらかさをかえると、模様はさらに変化します。

③ ミシンをスタートしてぬいます。

※ ぬい途中で「止めぬいボタン」を押すと、その模様をぬい終わり、自動的に止めぬいをして止まります。

●ファゴティング

66



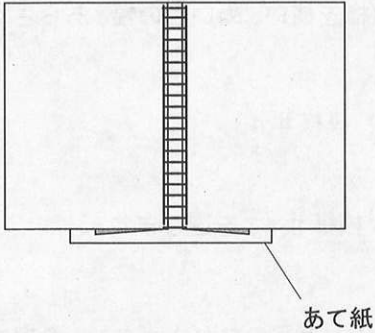
ミシンのセット

模様 66

押さえ F: サテン押さえ

糸調子 1 ~ 4

66



布端と布端の間かくを0.3~0.4cmあけて、下にあて紙をします。

布の表からぬいます。

最後にあて紙を取ります。

●スモッキング

67



ミシンのセット

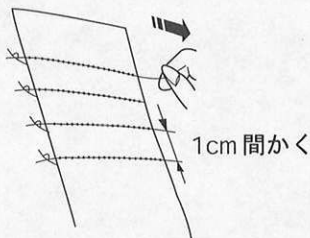
模様 67

押さえ F: サテン押さえ

糸調子 1 ~ 4

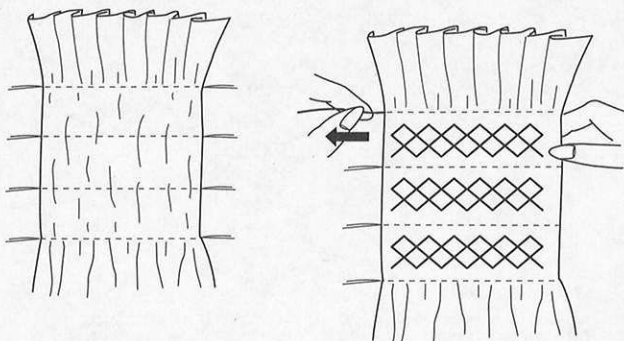
67

※その他、模様は# 68 ~ 70などを使用してください。



【直線ぬい】

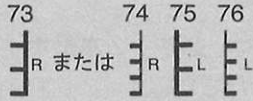
上糸の調子を弱くして、ぬい目のあらかさが0.3~0.4cmの直線を1cm間かくで数本ぬいます。



【模様ぬい】

上糸と下糸を布の片側で結び、反対側から下糸を引いてひだをよせ、上糸と下糸を結びます。直線ぬいと直線ぬいの間に模様ぬいをしてから直線ぬいの糸を抜き取ります。

●アップリケ



73

ミシンのセット

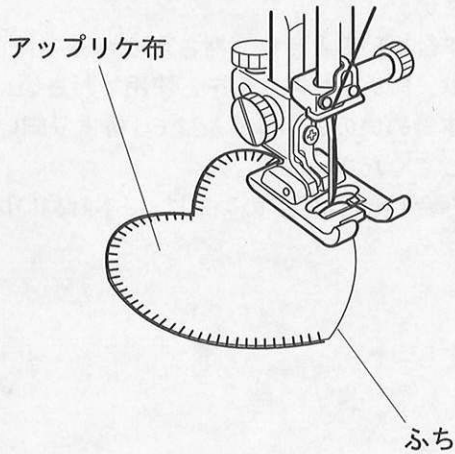
模様 73 または 74 ~ 76

押さえ F: サテン押さえまたは、

アップリケ押さえ (オプション)、F2: サテン押さえ (オプション)

糸調子 1 ~ 4

※押さえ圧調節ダイヤルを「2」に合わせます。

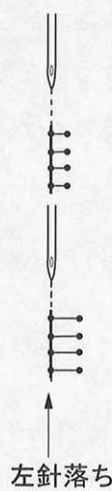


アップリケ布をのり付けするか、しつけで止めます。
 アップリケ布が針の左にくるようにしてぬいます。
 ※カーブのところや方向転換するところでは、ミシンを止め、「上下停針ボタン」を押して、針を下位置にしたままで方向をかえるときれいに仕上がります。

(模様 73、74)



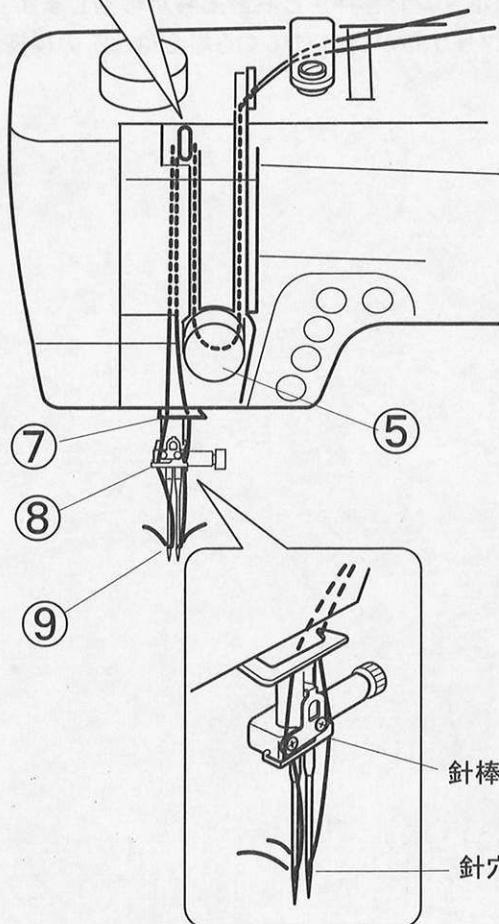
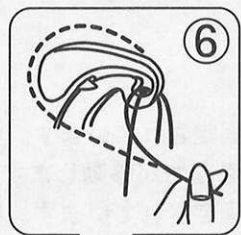
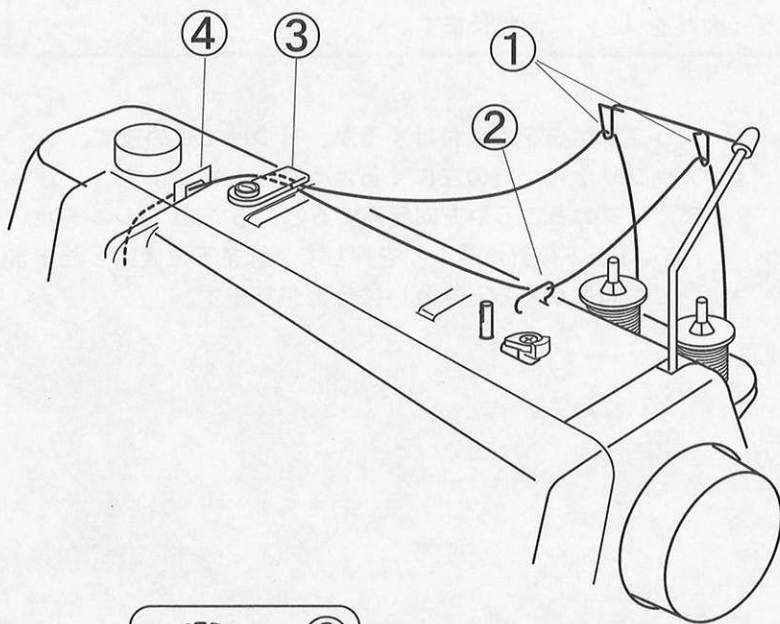
(模様 75、76)



※模様 73、74 は右針落ちが固定されています。「ぬい目の幅調節ボタン」を押すと左針落ちが移動します。
 ※模様 75、76 は左針落ちが固定されています。「ぬい目の幅調節ボタン」を押すと右針落ちが移動します。
 (アップリケ布が針の右にくる場合は、この模様が便利です。)

◎ 2本針ぬい

【1】



※2本針は、オプションです。

※2本針ぬいを行うときには、必ず「2本針ボタン」押し、試しぬいをしてください。

※2本針設定した状態で、「模様選択ボタン」を押すと、2本針に適さない模様番号は表示されません。

※針の取りかえは、電源スイッチを切って行ってください。

※2本針ぬいのはきは、押さえはA:基本押さえ、または、F:サテン押さえをご使用ください。

※2本針ぬいのはきは、糸は60番より細い糸を使用してください。

※組み合わせ（記憶）ぬいでは、2本針ぬいはできません。

【1】 糸の通し方

2つの糸こまから引き出した2本の糸は、途中でよじれないように左の糸は、①、③～⑨の順序でかけ、右の糸は、①～⑨の順序で正しくかけてください。

①～⑦の糸の通し方は、1本針のときと同じです。

(16、17ページをごらんください。)

⑧ 針棒糸掛けに左右に分けてかけます。

⑨ 2本針に左右に分けて糸を通します。

※ 針穴に糸を通すときは、糸通しは使えませんが、針の手前から向こう側に、手で通してください。

【2】

(例)

43


43

ミシンのセット

模様 43

押さえ F: サテン押さえ

糸調子 1 ~ 4

※ 2本針を使用

【2】ぬい

模様を選び、「2本針ボタン」を押します。

ぬい目の幅は、3.0mmに制限されます。

直線系の模様の場合は、基線位置が2.0～5.0表示に制限されます。


※ぬい方向をかえるときは、針を上げて布の方向をかえてください。

※2本針ぬいに適さない模様を選択したあとに「2本針ボタン」を押すと、「ピピピッ」と禁止音がします。



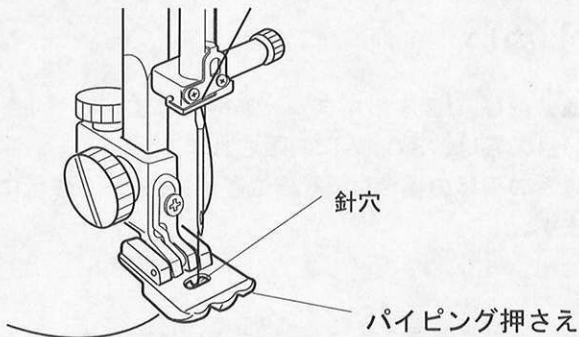
2本針ボタン

◎パイピング

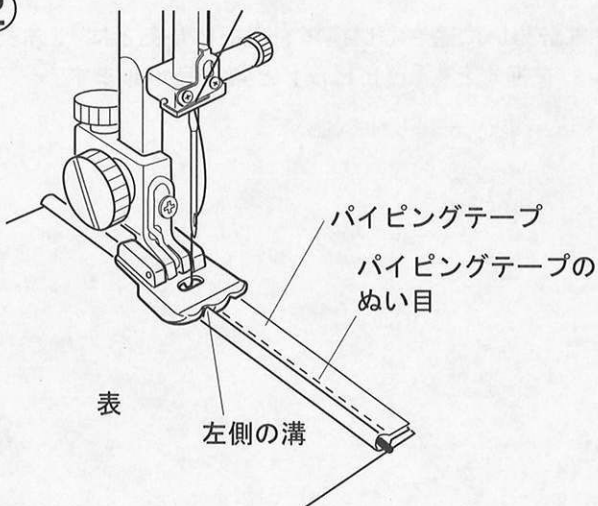
01 — ⊕		ミシンのセット 模様 01 押さえ パイピング押さえ 糸調子 2 ~ 6
--------------	-----------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------

【1】

①



②



【1】パイピングテープ（市販品）

のぬい合わせ方

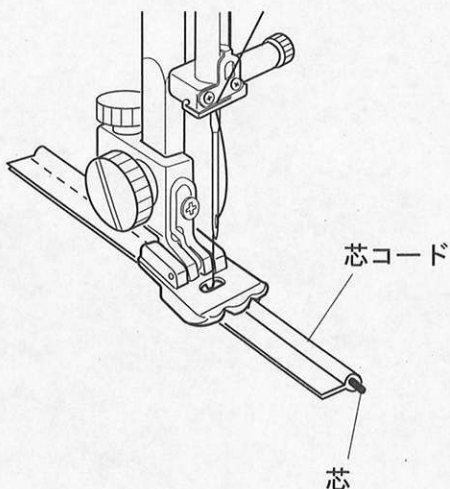
① 上糸は、パイピング押さえの針穴の上から下に向けて通して押さえの下に引き出しておきます。

② パイピング押さえの左側の溝を使って、パイピングテープを布地にぬい合わせます。

※ ぬい合わせるときの針落ちの位置は、「ぬい目の幅調節ボタン」でパイピングテープのぬい目とほぼ一致するように調節します。

パイピング押さえを使用すると、直線、あるいは曲線に裁断した布地の縁にそってパイピングテープをきれいにぬい合わせることができます。

【2】



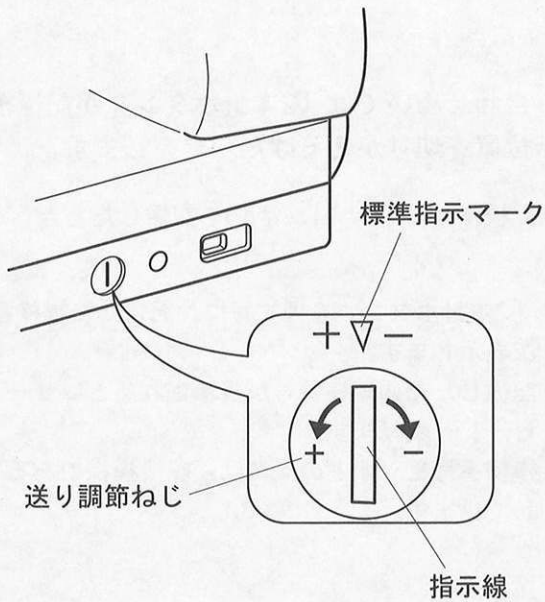
【2】パイピングテープの作り方

市販のパイピングテープが入手できない場合、あるいは、オリジナルなパイピングテープを作る場合には芯になるコードを用意して作ります。

パイピング押さえの溝は、左右どちらでも使用できます。

※ 針落ち位置は、「ぬい目の幅調節ボタン」で芯コードのきわをぬうように調節してください。

◎模様の形の整え方

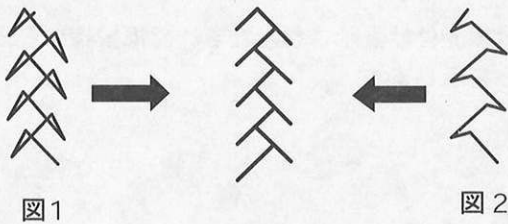


布の種類、厚さ、ぬいの速さなどによっては、模様の形がくずれる場合があります。実際にぬうときと同じ条件で試しぬいをしながら、送り調節ねじで調節してください。

※標準指示マークと指示線が一致する位置が模様を正しくぬえる目安の位置です。

【1】

(例) 模様# 64



【1】スーパー模様の形の整え方

模様が伸びたり、つまったりして形が整わないときは、次の方法で調節します。

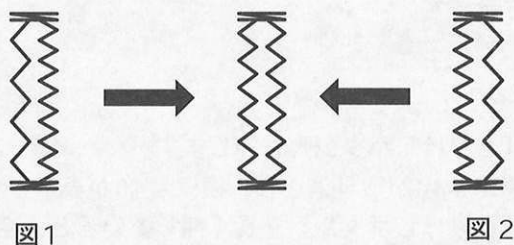
図1のように、模様がつまっているときは、送り調節ねじを「+」方向にまわします。

図2のように、模様が伸びているときは、送り調節ねじを「-」方向にまわします。

※スーパー模様は、前進ぬいと後進ぬいがある模様です。
※押さえは、F:サテン押さえを使用します。

【2】

模様# 25



【2】ボタンホール (模様25) の左右のぬい目あらしの整え方

※押さえは、R:オートマチックボタンホール押さえを使用します。

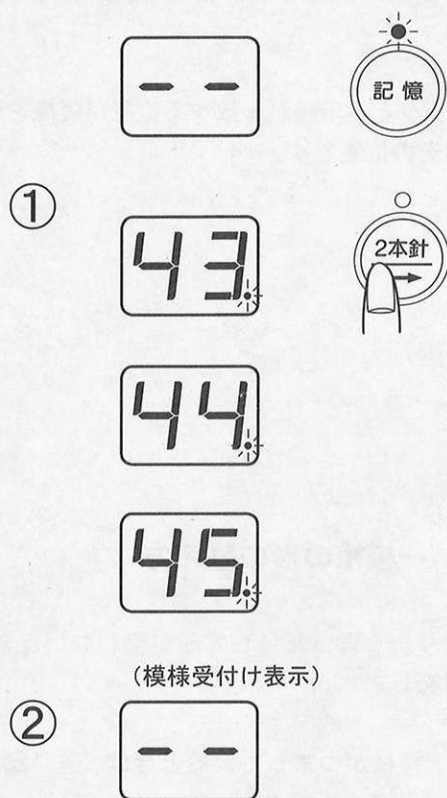
図1のように、左側があらいつきは、送り調節ねじを「+」方向にまわします。

図2のように、右側があらいつきは、送り調節ねじを「-」方向にまわします。

※ぬい目あらしの調節が終わったら再度、ボタンホールを選びなおしてください。

◎編集機能 1

●組み合わせ（記憶）模様の確認



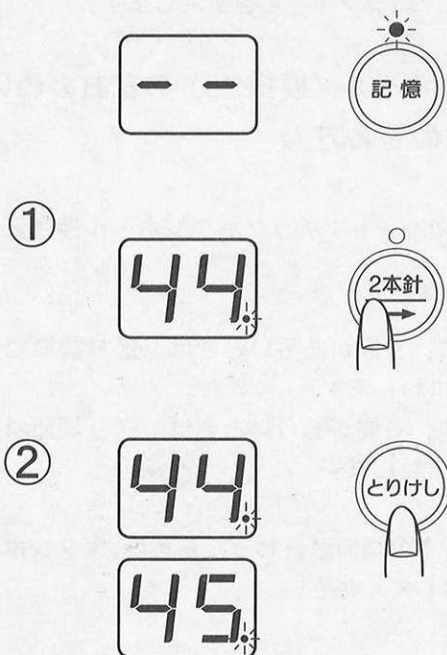
組み合わせぬいでは「2本針ボタン」が記憶模様順の表示位置を切りかえるはたらきをします。

(例) 模様#43、#44、#45を記憶したとき

- ① 「2本針ボタン」を押す毎に、記憶した模様番号を順次表示します。
記憶した先頭模様番号が表示されるとブザーが「ピピピー」と鳴ります。
※ 模様番号ピリオドの点滅は、記憶模様であることを示しています。

- ② 模様受け表示されたとき、記憶模様の最後であることを示します。

●組み合わせ（記憶）模様の削除

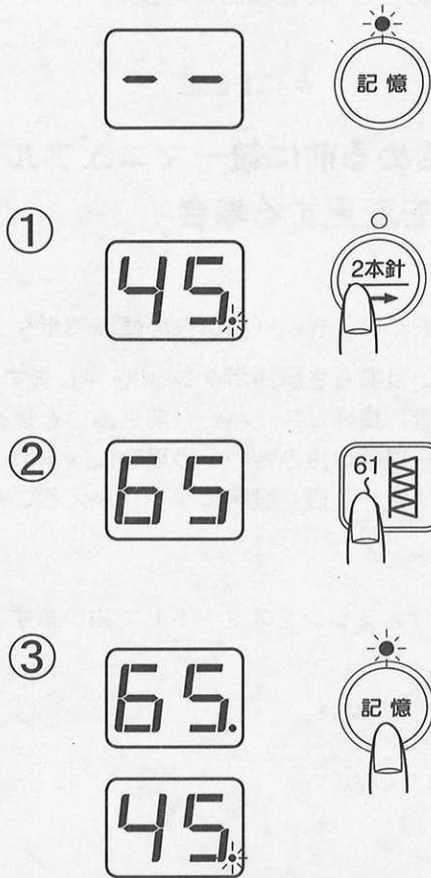


(例) 模様#43、#44、#45を記憶し、模様#44を削除するとき

- ① 「2本針ボタン」を押して、削除する模様番号を表示させます。
- ② 「とりけしボタン」を押します。
※ 模様#44が取り消され、模様#45が表示されます。
※ 「とりけしボタン」を長く押し続けていると、全て削除され模様#01表示になります。同時に、記憶LEDは消えます。
※ 組み合わせ（記憶）模様をしたのち、ぬいを中止して他の模様をぬう場合には、必ず「とりけしボタン」を長く押し、記憶LEDを消します。

●組み合わせ（記憶）模様の挿入

（例）模様#43、#44、#45を記憶し、
模様#44と#45の間に模様#65を挿入



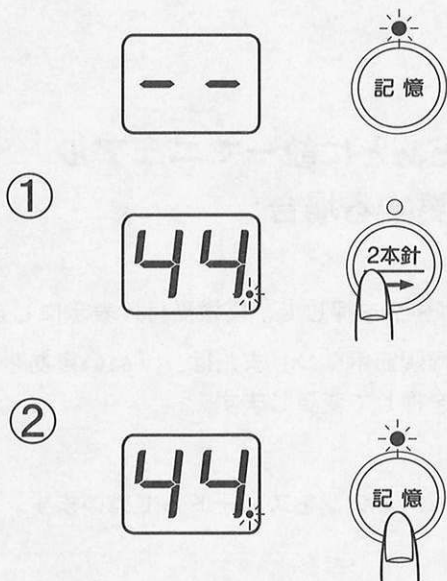
① 「2本針ボタン」で挿入したい場所の次の模様番号を表示させます。

② 模様#65を選びます。

③ 「記憶ボタン」を押します。
※ 挿入した次の模様が表示されます。

●模様のコピー（記憶）

（例）模様#43、#44、#45を記憶し、模様#44と
#45の間に模様#44を1つコピー（記憶）



① コピーしたい模様を表示させます。

② 「記憶ボタン」を1回押します。
（押した数だけコピーできます。）

◎編集機能 2

●統一マニュアル

組み合わせた複数模様全体を1つの模様として、ぬい目の幅、ぬい目のあらしを一括調節（同じ幅、あらしでぬい上げる）する方法です。

【1】

(模様受け表示)

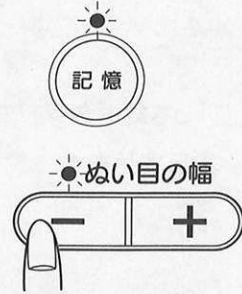
①



(ぬい目の幅7.0表示)



(ぬい目の幅5.0表示)



(例) 模様#43、#35、#43を記憶

【1】ぬい始める前に統一マニュアル値を変更する場合

- ① 模様受け表示のとき、「ぬい目の幅調節ボタン」または、「ぬい目あらし調節ボタン」を押します。
※ サテン（密着）模様とスーパー（前進ぬいと後進ぬい）がある模様）模様の組み合わせの場合には、ぬい目のあらしは、「オート値」設定になり、かえることはできません。

②

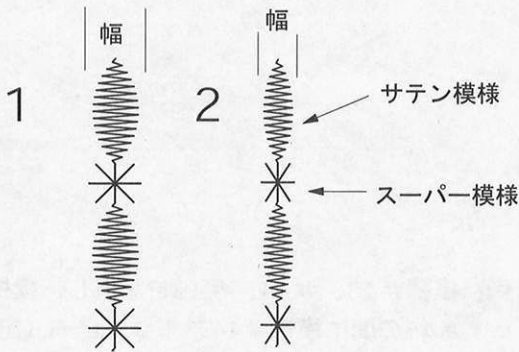
ミシンのセット

押さえ F: サテン押さえ
糸調子 1 ~ 4

- ② 押さえをさげ、ミシンをスタートしてぬいます。

1 幅「7.0」のぬい

2 幅「5.0」のぬい



【2】

(ぬい終わり表示)



(模様受け表示)



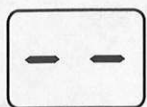
この表示にして
値を変更します。

【2】ぬったあとに統一マニュアル値を変更する場合

- ① 「2本針」ボタンを押して、模様受け表示にします。「ぬい目の幅調節ボタン」または、「ぬい目あらし調節ボタン」を押して変更します。
- ② 押さえをさげ、ミシンをスタートしてぬいます。

●個別マニュアル

組み合わせた個々の模様について、ぬい目の幅、ぬい目のあかさ、模様長さを異なるサイズでぬいたい場合に調節する方法です。



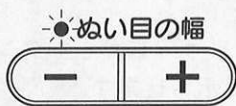
(例) 模様#43、#44を記憶し、模様#44のぬい目幅を変更

①



① 「2本針ボタン」を押して、変更する模様番号を表示させます。(模様#44)

②



② 「ぬい目の幅調節ボタン」を押し、幅を変更します。

③

ミシンのセット

押さえ F: サテン押さえ
糸調子 1 ~ 4

③ 押さえをさげ、ミシンをスタートしてぬいます。

※ 模様を記憶入力するときに、「ぬい目の幅」、「ぬい目あかさ」、「もようのがさ」を調節した状態で、その模様を記憶することもできます。

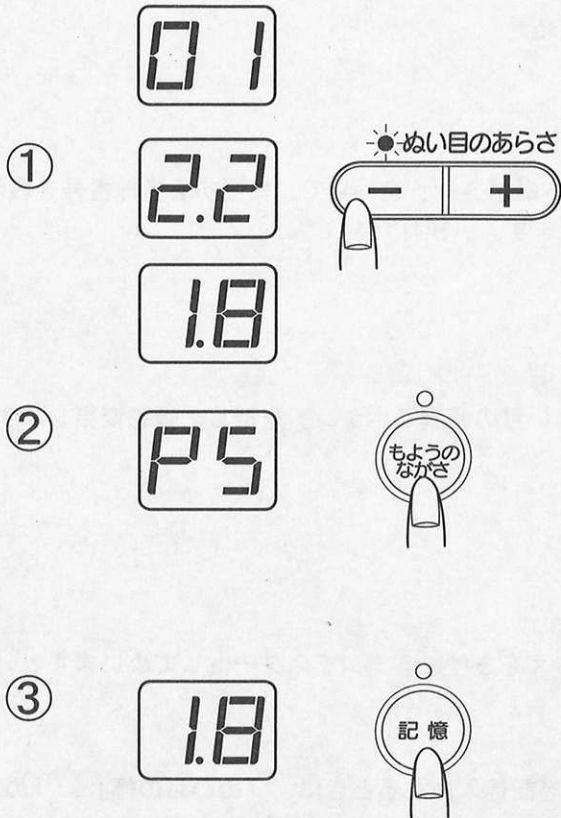


◎編集機能3

●ぬい目の幅、ぬい目のあかさオート値変更

オート値（工場出荷状態）を変更し記憶しておくこと、電源を入れ直したとき、変更した値でぬうことができます。
（パーソナルセットPS機能）

（例）模様#01のぬい目のあかさ変更



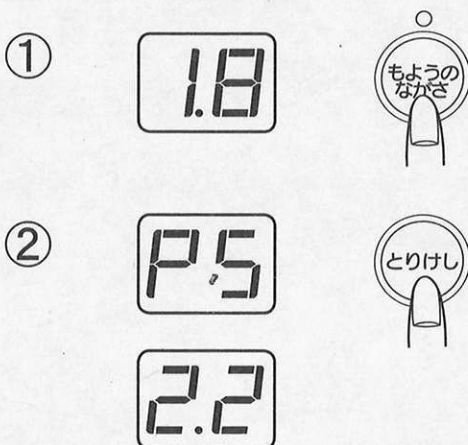
- ① 「ぬい目のあかさ調節ボタン」 「－」側を押して、あかさを「2.2」から「1.8」に変更します。

- ② 「もようのがさボタン」を長く押して、表示窓にPS表示させます。

※ PS表示されているときに、「もようのがさボタン」を長く押すともともどります。

- ③ 「記憶ボタン」を押して、記憶します。

【オート値を工場出荷状態にもどす場合】

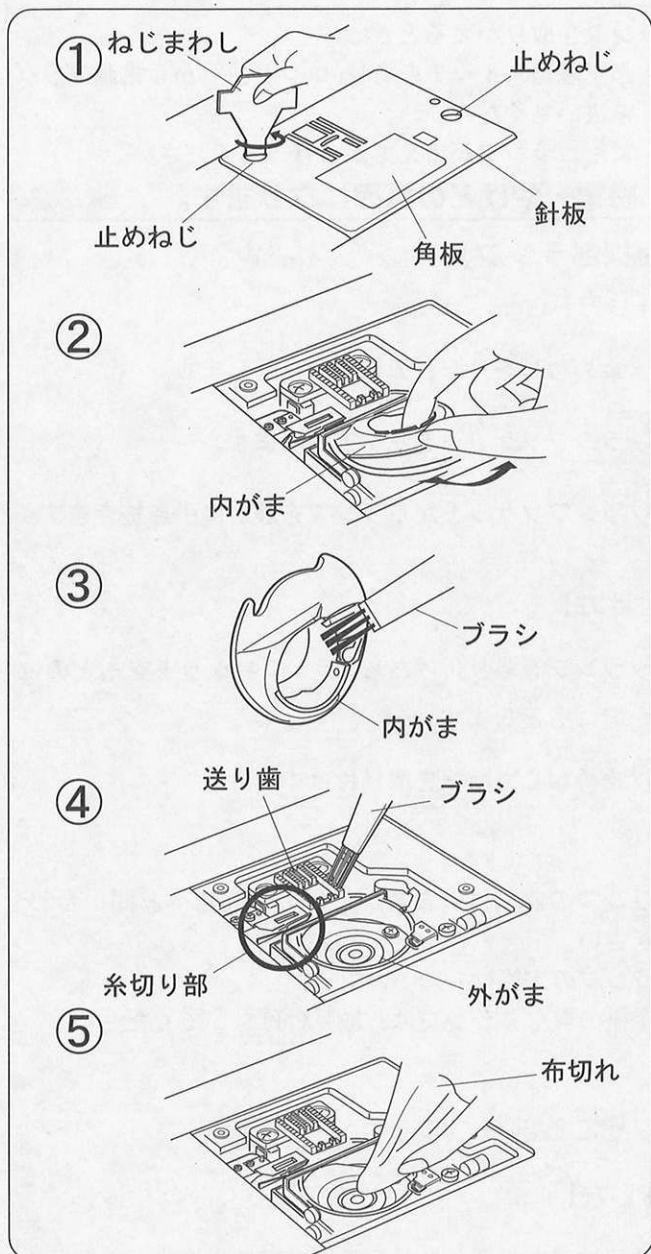


- ① 「もようのがさボタン」を長く押して、表示窓にPS表示させます。

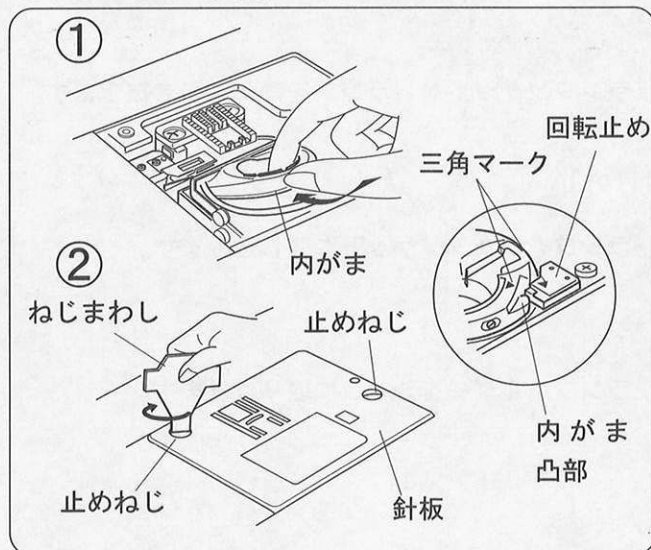
- ② 「とりけしボタン」を押すと、オート値にもどります。

◎ミシンの手入れ

●かまと送り歯、糸切り部の掃除



●内がまと針板の組み付け



△注意

- お手入れのときは、必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 説明されている場所以外は、分解しないでください。**感電・火災・ケガの原因になります。**

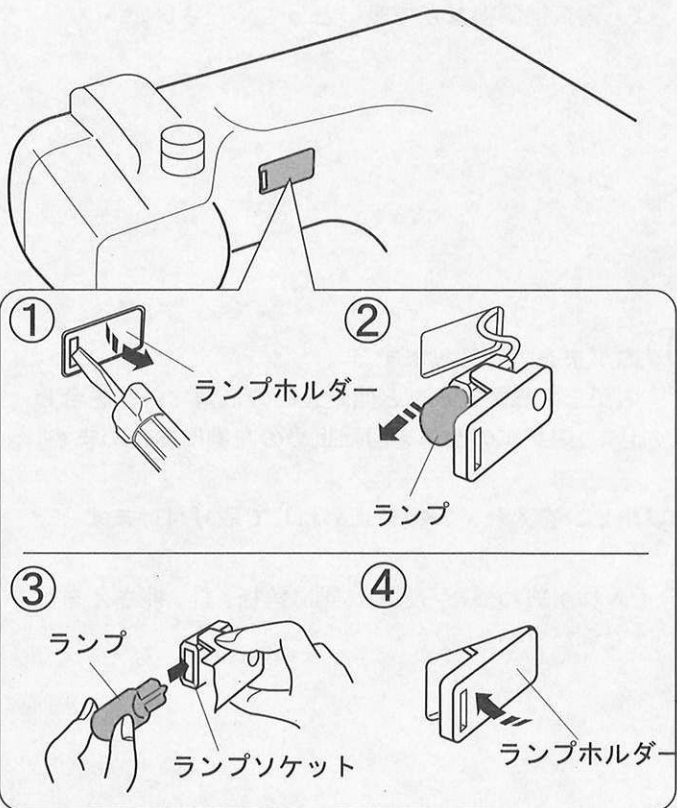
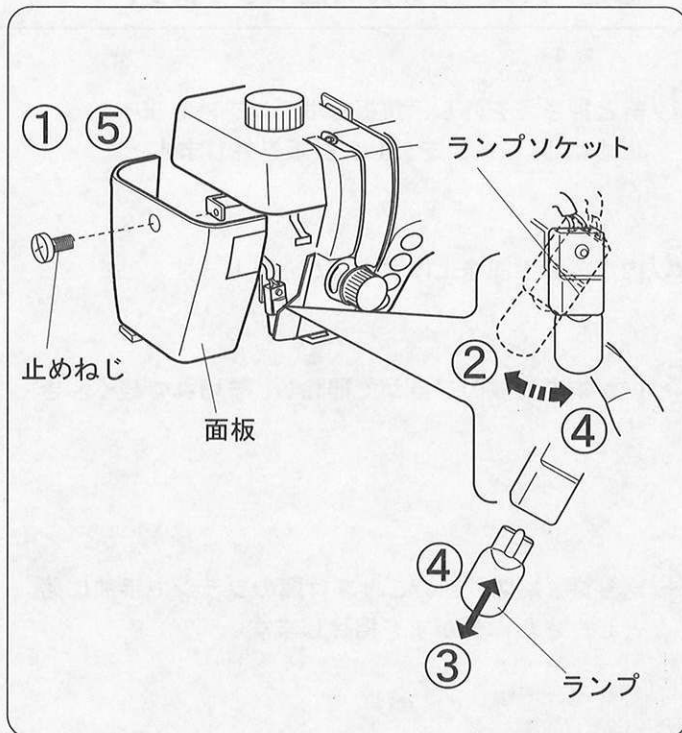
- ①** 針と押さえを外し、角板とボビンを外します。止めねじ（2ヶ）を外し、針板を外します。
- ②** 内がまの手前を上へ引きながら外します。
- ③** 内がまを付属のブラシで掃除し、布切れで軽くふきます。
- ④** 送り歯、糸切り部のごみを付属のブラシで手前に落とし、さらに外がまを掃除します。
- ⑤** 外がまの中央部を布切れで軽くふきます。

※ 付属のブラシで掃除しにくい乾いた糸くずやほこりは、電気掃除機などで吸い取ってください。

- ①** 内がまを差し込みます。内がまの三角マークと回転止めの三角マークを合わせて、内がまの凸部を回転止めの左側におさめます。
- ②** ボビンを入れ、針板を止めねじで取り付けます。

※ 手入れが終わったら、忘れずに角板、針、押さえを付けてください。

●ランプの取りかえ方



⚠ 注意

ランプを取りかえるときは、

- 必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- また、ランプが冷えてから行ってください。

感電・やけどの原因になります。

【面板部ランプ】

【外し方】

- ① 止めねじを外し、面板を取り外します。
- ② ランプソケットを左へまわします。
- ③ ランプソケットからランプを静かに引き抜きます。

【付け方】

- ④ ランプを取り付けたら、ランプソケットをもとの位置にもどします。
- ⑤ 止めねじで面板を取り付けます。

※ランプの購入は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

ランプの定格は12V 5Wです。

定格の異なるランプは、取り付けないでください。

【ふところ部ランプ】

【外し方】







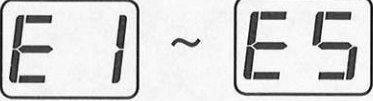
- ① ランプホルダーをドライバーで外します。
- ② ランプソケットからランプを静かに引き抜きます。

【付け方】

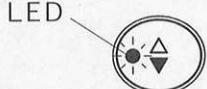
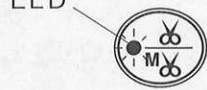
- ③ ランプをランプソケットに差し込みます。
- ④ ランプホルダーをマシンに取り付けます。

◎こんな表示が出た場合

警告音とともに下の表示があった場合2秒間表示、または、正しい操作が行われるまで表示されます。対処方法にしたがってください。

表 示	対 処 方 法
	<ol style="list-style-type: none"> 1 押さえ上げをさげないで、ミシンをスタートすると表示されます。押さえ上げをさげてスタートします。 2 ぬい終わらない前に押さえ上げをあげたとき表示され、ミシンが止まります。押さえ上げは、ぬい終わってからあげてください。特に、ニーリフトの操作には注意してください。 3 押さえ上げをさげないで「糸切りボタン」を押して、糸切りをしようとする则表示されます。押さえ上げをさげてから「糸切りボタン」を押します。
	<p>BH レバーをさげないでボタンホールをぬうと表示され、ミシンが止まります。 BH レバーを引きさげて再スタートします。</p>
	<p>糸巻きレバーを糸巻き位置にしないで「糸巻きボタン」を押したとき表示されます。糸巻きレバーを糸巻き位置にしてから「糸巻きボタン」を押します。</p>
	<ol style="list-style-type: none"> 1 しつけ模様で送り歯をあげたままスタートしたとき表示されます。送り歯をさげて、スタートします。 2 直線、ジグザグ等フリーキルト可能な模様で、送り歯をさげた状態でスタートしたとき、1回だけ表示されます。 3 ボタンホールなど禁止模様で、送り歯をさげた状態でスタートしようとしたとき表示されます。送り歯をあげてスタートします。
	<ol style="list-style-type: none"> 1 安全装置の作動により、ミシンモータが緊急停止したときと、その後15秒間のあいだに再スタートしようとする则表示されます。この時間はミシンの操作ができませんのでしばらくおまちください。糸がらみ等があったときには電源を切り、不要な糸を取り除いてください。 2 ぬい中にドロップつまみを操作すると表示され、ミシンが止まります。ぬい中には、ドロップつまみを操作しないでください。 3 糸巻き中に糸がらみ等で糸巻き軸がロックされると表示されます。電源を切り不要な糸を取り除いてください。
	<ol style="list-style-type: none"> 1 フットコントローラーを接続したまま、スタート・ストップボタンを押したときに表示ます。フットコントローラープラグを外して、再スタートしてください。 2 フットコントローラー使用中に、接続が外れたとき表示されミシンが止まりますので、プラグを接続して再スタートしてください。 3 フットコントローラーを踏みこんだまま電源を入れたときに表示されます。踏み込みを外してください。
	<p>ミシンが正しく作動しなかった場合に表示されます。 電源を切り、針板を外し、かまや送り歯、糸切りメスに糸がからんでいないか確認します。 直らない場合には、電源を切り、お買い上げの販売店へご連絡ください。</p>

◎ LED 点滅とブザー音の種類

表示	対処方法
 <p>LED</p>	<p>針が下位置で、電源を入れたときに表示されます。 「上下停針ボタン」を押して針をあげます。</p>
 <p>LED</p>	<ol style="list-style-type: none"> 糸切り途中で電源を切ったときや、糸切り中に糸がからんだとき、電源を切り不要な糸を取り除いたあと再度電源を入れたとき表示されます。 「糸切りボタン」を押して、糸切り動作を終了させてください。 糸切りを終える前に押さえをあげたとき表示されます。 押さえ上げをさげ、「糸切りボタン」を押して、糸切り動作を終了させてください。

★ブザー音の種類

ブザー音	内容
ピッ	正しい操作をしたときの受付音です。
ピピピッ	不正な操作をしたときの禁止音または、ミシン異常時の警告音です。
ピピピー	ボタンホール等のぬい終了音です。

◎ミシンの調子が悪いときの直し方

調子が悪い場合	その原因	直し方
上糸が切れる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外のところからみついている。 2. 上糸調子が強すぎる。 3. 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。 4. 針の付け方がまちがっている。 5. めい始めに、上糸・下糸を押えの下にそろえて引いていない。 6. 糸がかまなどからまっている。 7. 針にくらべて糸が太すぎるか、細すぎる。 8. こま巻きの場合、糸こま押さえを使用していないため、糸こまに上糸が引っかかっている。 	<p>16～17ページ参照</p> <p>21ページ参照 20ページ参照 20ページ参照 23ページ参照 69ページ参照 20ページ参照</p> <p>糸こま押さえを付ける</p>
下糸が切れる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 下糸の通し方が、まちがっている。 2. 内がまの中に、ごみがたまっている。 3. ボビンにきずがあり、回転がなめらかでない。 	<p>15ページ参照 69ページ参照</p> <p>ボビンを交換する</p>
針が折れる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。 2. 針止めねじのしめつけが、ゆるんでいる。 3. めい終わったとき、布を手前に引いている。 4. 布にくらべて針が細すぎる。 5. 模様にあった押さえを使用していない。 	<p>20ページ参照 20ページ参照</p> <p>布を向こう側に出す 20ページ参照</p> <p>指定の押さえに交換する</p>
めい目がとぶ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。 2. 布に対して、針と糸が合っていない。 3. 伸縮性のある布や目とびのしやすい布地などのとき、ニット針を使っていない。 4. 上糸のかけ方がまちがっている。 5. 品質の悪い針を使用している。 	<p>20ページ参照 20ページ参照 20ページ参照</p> <p>16～17ページ参照</p> <p>針を交換する</p>
めい目がしわになる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸調子が合っていない。 2. 上糸下糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の部分からみついている。 3. 布にくらべて針が太すぎる 4. 布にくらべてめい目があらずすぎる。 5. 押さえ圧が合っていない。 <p>※特にうすい布をぬうときは、下側に紙をあててぬってください。</p>	<p>21ページ参照 15、16～17ページ参照</p> <p>20ページ参照</p> <p>めい目を細かくする 22ページ参照</p>
布送りがうまくいかない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 送り歯に糸くずがたまっている。 2. めい目が細かすぎる。 3. 送り歯があがっていない。 	<p>69ページ参照</p> <p>めい目をあらくする 22ページ参照</p>
めい目に輪ができる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸調子が弱すぎる。 2. 糸にくらべて針が太すぎるか、細すぎる。 	<p>21ページ参照 20ページ参照</p>
ミシンが動かない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源のつなぎ方がまちがっている。 2. かまに、糸やごみがたまっている。 3. ボビンに糸がからまっている。 4. 押さえ上げがさがっていない。 	<p>6ページ参照 69ページ参照</p> <p>ボビンの糸を確認する 10ページ参照</p>
ボタンホールがうまくいかない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 布に対して、めい目のあさが合っていない。 2. 伸縮性のある布のとき、伸びない芯地を使っていない。 3. BHレバーがさがっていない。 	<p>41ページ参照 37ページ参照 38ページ参照</p>
音が高い	<ol style="list-style-type: none"> 1. かまの部分に、糸くずが巻きこまれている。 2. 送り歯に、ごみがたまっている。 	<p>69ページ参照 69ページ参照</p>
めいずれがおこる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 押さえ圧が合っていない。 	<p>22ページ参照</p>
糸切りLEDが点滅する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 糸切りを終える前に押えをあげている。 2. 糸くずがたまっている。 	<p>糸切りボタンをもう一度押す 69ページ参照</p>

※電源投入時や、静かな部屋で使った場合「ウーン」という小さな音がする場合があります。

内部の制御モータから発生しているもので、ぬい作業上はとくに問題はありません。

※長時間使うと、表示窓と選択ボタンの部分の温度が少し高くなります。内部の制御部の発熱によるもので、ぬい作業上はとくに問題はありません。

修理サービスのご案内

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 無料修理保証期間内（お買い上げ日より一年間です）およびそれ以降の修理につきましても、お買い上げの販売店が承りますのでお申し付けください。

修理用部品の保有期間

- 当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後8年間を基準として保有し、必要に応じて販売店に供給できる体制を整えています。

無料修理保証期間経過後の修理サービス

- 使用説明書に従って、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過した後も、修理用品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスをします。
ただし、次のような場合は修理できないときがあります。
 - 1) 保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
 - 2) 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
 - 3) お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
 - 4) お買い上げ店、又は当社の指定した販売店以外で修理、分解、または改造したために不調、故障または損傷したとき。
 - 5) 過度なご使用により不調、故障、または損傷したとき。
- 長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。
- 有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げ店が別に定める技術料の合計になります。

お客様の相談窓口

修理サービスについてのお問い合わせやご不審のある場合は
下記にお申しつけください。

株式会社 ジューキ

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1丁目11番11号（第2フナトビル）

TEL. 03-3265-2851

仕 様	
使用電圧	100V 50/60Hz
消費電力	60W（ランプ2個 / 12V 5W）
外形寸法	幅49.4cm、高さ32.0cm、奥行22.0cm
質 量	12kg（本体）
使用針	家庭用 HA × 1
最高ぬい速度	毎分700針 フットコントローラー使用時 毎分1000針（直線ぬい）

仕様および外観は改良のため予告なく変更
することがありますのでご了承下さい。

baby lock
Excim-mode
 3300

株式会社 ジューキ

本社 / 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-11 TEL 03(3265)2851(代表)

札幌 011 (737) 6821 仙台 022 (239) 3705 新潟 0250 (43) 4451
 東京 03(5825)9020 名古屋 052 (917) 3671 大阪 06 (6768) 3651
 倉敷 086 (473) 0355 広島 082 (227) 5781 福岡 0942 (44) 7921

修理等のご依頼はお買い上げの販売店を通じてご連絡ください。

お客様へ _____
 お買い上げ日、販売店名を記入させていただきますと、修理などのときに便利です。

お買い上げ日	年 月 日
販売店名	
	TEL